

<資料>

国内経済の概況

【経済情勢に関する報告】

○経済・物価情勢の展望 2022年4月（5月2日、日本銀行）

- ・わが国の景気は、新型コロナウイルス感染症や資源価格上昇の影響などから一部に弱めの動きもみられるが、基調としては持ち直している。海外経済は、国・地域ごとにばらつきを伴いつつ、総じてみれば回復している。そうしたもとで、輸出や鉱工業生産は、供給制約の影響を残しつつも、基調としては増加を続けている。企業収益は全体として改善しているが、業況感は、感染症や資源価格上昇の影響などから、このところ改善が一服している。設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。雇用・所得環境をみると、一部で改善の動きもみられるが、全体としてはなお弱めとなっている。個人消費は、感染症によるサービス消費を中心とした下押し圧力が和らぐもとで、再び持ち直しつつある。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は高水準ながら弱めの動きとなっている。
- ・わが国経済の先行きを展望すると、資源価格上昇による下押し圧力を受けるものの、感染症や供給制約の影響が和らぐもとで、外需の増加や緩和的な金融環境、政府の経済対策の効果にも支えられて、回復していくとみられる。原油や天然ガス、石炭等の資源価格や小麦等の穀物価格は、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた供給不安の高まりなどを背景に、このところ大幅に上昇している。資源・穀物価格の上昇は、これらの大部分を輸入に頼るわが国において、海外への所得流出（交易利得の悪化）をもたらし、エネルギーや食料品の価格上昇を通じて、家計の実質所得や企業収益に対する下押し要因として作用する。もっとも、政府による原油価格高騰対策や、行動制限下で積み上がってきた貯蓄が、所得から支出へのマイナスの影響を緩和するとみられるほか、家計部門、企業部門ともに、感染症や供給制約の影響が緩和するもとで、ペントアップ需要を含めた自律的な需要の増加が継続すると予想されることから、景気の回復が続くと考えられる。すなわち、家計部門では、感染状況が改善し、ワクチンや治療薬の普及などにより感染抑制と消費活動の両立も進むもとで、個人消費は、ペントアップ需要の顕在化を主因に、回復していくとみられる。企業部門をみると、海外経済が、ウクライナ情勢による減速圧力を受けつつも総じてみれば回復を続けるもとで、輸出や生産は、供給制約の影響の緩和が見込まれる自動車関連やグローバル需要が拡大しているデジタル関連を中心に増加するとみられる。企業収益は、原材料コストの上昇が下押し圧力として作用するものの、内外需要が増加するもとで、為替円安もあって、業種・規模間のばらつきを伴いつつ、全体として高水準を維持すると予想される。

○月例経済報告 令和4年5月（5月25日、内閣府）

- ・景気は、持ち直しの動きがみられる。
- ・先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、中国における感染再拡大の影響やウクライナ情勢の長期化などが懸念される中で、供給面での制約や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。
- ・住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。持家の着工は、弱い動きとなっている。貸家の着工は、おおむね横ばいとなっている。分譲住宅の着工は、底堅い動きとなっている。総戸数は、3月は前月比6.3%増の年率92.7万戸となった。なお、首都圏のマンション総販売戸数は、おおむね横ばいとなっている。先行きについては、当面、横ばいで推移していくと見込まれる。
- ・対米ドル円レート（インターバンク直物中心相場）は、128円台から127円台まで円高方向に推移した後、130円台まで円安方向に推移し、その後127円台まで円高方向に推移した。
- ・長期金利（10年物国債利回り）は、0.2%台で推移した。

○短観 2022年3月（4月1日、日本銀行）

- ・3月調査の木材・木製品業の業況判断は、12月調査に対して、大企業・中堅企業で「良い」の幅が縮小（大企業：+25→+20、中堅企業：+28→+24）したものの、中小企業は拡大（-5→-3）。また、先行きは、大企業・中堅企業で「良い」の幅が大きく縮小（大企業：+20→±0、中堅企業：+24→-8）、中小企業は縮小（-3→-7）との見通しである。

短観(概要) — 2022年3月 —

第192回 全国企業短期経済観測調査

本件の対外公表は
4月1日(金) 8時50分

2022年4月1日
日本銀行調査統計局

I. 全国企業

調査対象企業数

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,837社	5,525社	9,362社	99.1%
うち大企業	964社	864社	1,828社	98.7%
中堅企業	1,026社	1,595社	2,621社	98.8%
中小企業	1,847社	3,066社	4,913社	99.4%

< 回答期間 > 2月24日 ~ 3月31日

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2021年度		2022年度		
		上期	下期	上期	下期	
米ドル円 (円/ドル)	2021年12月調査	109.09	108.83	109.36	—	—
	2022年3月調査	110.00	109.05	110.96	111.93	111.92
ユーロ円 (円/ユーロ)	2021年12月調査	127.70	127.92	127.49	—	—
	2022年3月調査	128.01	128.11	127.92	128.18	128.17

1. 業況判断

計表中の計数は、2022年3月の調査対象企業見直し後の新ベース。

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	大企業						中堅企業						中小企業					
	2021年12月調査		2022年3月調査				2021年12月調査		2022年3月調査				2021年12月調査		2022年3月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
製造業	17	13	14	-3	9	-5	6	6	3	-3	1	-2	-1	-1	-4	-3	-5	-1
繊維	0	6	0	0	-6	-6	-12	-17	-5	-21	-4	-42	-38	-44	-2	-40	4	
木材・木製品	25	7	20	-5	0	-20	28	8	24	-4	-8	-32	-5	-10	-3	2	-7	-4
紙・パルプ	11	-4	-3	-14	-11	-8	3	13	7	4	6	-1	-12	-7	-21	-9	-21	0
化学	31	20	28	-3	16	-12	20	6	11	-9	4	-7	11	1	0	-11	-7	
石油・石炭製品	27	6	27	0	7	-20	-10	0	-5	5	-5	0	2	-9	-7	-9	-26	-19
窯業・土石製品	9	14	0	-9	-7	-7	-9	0	-6	3	-9	-3	3	7	1	-2	-12	-13
鉄鋼	10	6	10	0	-10	-20	11	1	-4	-15	2	6	27	19	13	-14	13	0
非鉄金属	15	15	21	6	15	-6	22	8	14	-8	4	-10	25	17	29	4	17	-12
食料品	2	-1	-5	-7	-6	-1	-9	-10	-14	-5	-16	-2	-21	-6	-25	-4	-14	11
金属製品	6	-6	3	-3	0	-3	21	9	12	-9	3	-9	4	12	1	-3	5	4
はん用機械	30	20	31	1	30	-1	23	19	33	10	17	-16	7	-1	6	-1	1	-5
生産用機械	40	39	43	3	36	-7	18	17	23	5	12	-11	8	6	1	-7	3	2
業務用機械	25	13	22	-3	13	-9	14	10	19	5	19	0	20	12	16	-4	14	-2
電気機械	29	25	24	-5	24	0	23	16	19	-4	15	-4	12	6	9	-3	7	-2
造船・重機等	-23	-23	-23	0	-19	4	-15	-5	-17	-2	-15	2	-9	-12	-7	2	-6	1
自動車	-8	3	-15	-7	-1	14	-17	10	-25	-8	4	29	-19	4	-15	4	-3	12
素材業種	18	12	16	-2	4	-12	7	2	2	-5	-2	-4	2	-2	-3	-5	-9	-6
加工業種	16	14	12	-4	12	0	6	7	4	-2	3	-1	-2	0	-5	-3	-2	3
非製造業	10	9	9	-1	7	-2	2	0	0	-2	-3	-3	-3	-6	-6	-3	-10	-4
建設	16	14	14	-2	8	-6	14	-2	14	0	2	-12	11	2	10	-1	-3	-13
不動産	26	22	20	-6	21	1	12	8	13	1	8	-5	10	2	10	0	1	-9
物品賃貸	23	13	23	0	17	-6	19	11	13	-6	9	-4	-4	-2	-3	1	-2	1
卸売	17	13	20	3	8	-12	9	5	10	1	0	-10	-6	-9	-9	-3	-16	-7
小売	6	2	2	-4	5	3	-5	6	-4	1	-1	3	-23	-14	-23	0	-21	2
運輸・郵便	-2	-1	-2	0	-1	1	-14	-12	-18	-4	-20	-2	-13	-13	-21	-8	-20	1
通信	20	20	27	7	27	0	19	32	36	17	14	-22	24	27	17	-7	13	-4
情報サービス	33	26	38	5	29	-9	17	10	26	9	20	-6	18	12	24	6	17	-7
電気・ガス	-14	-14	-13	1	-12	1	-7	-9	-15	-8	-13	2	11	7	12	1	-4	-16
対事業所サービス	43	29	38	-5	22	-16	22	16	18	-4	16	-2	6	2	5	-1	0	-5
対個人サービス	-2	2	-14	-12	2	16	-18	-9	-17	1	-5	12	-27	-22	-30	-3	-17	13
宿泊・飲食サービス	-51	-30	-56	-5	-38	18	-55	-36	-75	-20	-54	21	-36	-26	-66	-30	-40	26
全産業	14	10	11	-3	8	-3	4	3	2	-2	-1	-3	-3	-4	-6	-3	-8	-2

	全規模合計				
製造業	6	4	2	-4	-2
非製造業	0	-2	-2	-2	-3
全産業	2	0	0	-2	-3

(注) 1. 回答率 = 業況判断の有効回答社数 / 調査対象企業数 × 100

2. 「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。

3. 「造船・重機等」は自動車以外の輸送用機械。

木材産業関係基本データの推移

年月	①為替(東京 スポット中心 相場月中平均) 円/\$	②製材工場 国産材 入荷量 千m3	③製材工場 製材品 生産量 千m3	④合板工場 国産材 入荷量 千m3	⑤合板工場 合板 生産量 千m3	⑥木材輸入量		⑦ 木 材 価 格							
								スギ			ホワイトウッド 集成柱 円/本	ハルブ向けチップ ^o		合板 針葉樹 円/枚	
						丸太 千m3	製材 千m3	中丸太 円/m3	正角 円/本	KD正角 円/本		針葉樹 円/m3	広葉樹 円/m3		
平成29年	112.16	12,465	9,287	3,750	3,211	3,266	6,170	13,092	1,905	2,188	1,867	6,257	10,891	1,271	
平成30年	110.39	12,526	9,218	4,201	3,216	3,926	5,871	13,575	2,023	2,200	1,875	6,382	11,014	1,287	
令和元年	109.01	13,069	9,175	4,530	3,324	3,019	5,700	13,458	2,046	2,207	1,860	6,586	11,219	1,294	
令和2年	106.78	11,551	8,135	4,131	2,993	2,301	5,000	12,683	2,064	2,205	1,805	6,745	11,386	1,251	
令和3年	109.80	13,019	9,035	4,735	3,215	2,639	4,856	16,125	2,210	3,496	3,121	6,666	11,377	1,363	
令和 2年	1	109.34	1,065	700	364	268	225	455	13,000	2,073	2,239	1,800	6,772	11,411	1,310
	2	109.96	1,086	688	384	270	239	373	13,100	2,073	2,239	1,800	6,772	11,411	1,310
	3	107.29	1,120	740	414	263	251	411	12,800	2,073	2,232	1,800	6,772	11,411	1,300
	4	107.93	1,022	723	342	242	204	485	12,300	2,073	2,229	1,800	6,772	11,411	1,280
	5	107.31	942	643	315	224	146	458	12,000	2,067	2,225	1,820	6,772	11,411	1,280
	6	107.56	940	675	324	230	202	533	11,600	2,067	2,225	1,820	6,726	11,411	1,260
	7	106.78	765	651	288	231	187	493	11,900	2,057	2,206	1,820	6,726	11,411	1,220
	8	106.04	793	584	274	215	216	404	12,800	2,057	2,206	1,800	6,726	11,411	1,220
	9	105.74	889	646	319	240	143	337	12,800	2,057	2,153	1,800	6,726	11,411	1,200
	10	105.24	960	725	356	264	155	350	13,100	2,057	2,166	1,800	6,726	11,352	1,200
	11	104.40	982	687	385	272	209	380	13,400	2,057	2,169	1,800	6,726	11,293	1,210
	12	103.82	987	673	367	272	125	323	13,400	2,057	2,169	1,800	6,726	11,293	1,220
令和 3年	1	103.70	932	618	335	252	219	322	13,500	2,057	2,176	1,850	6,726	11,411	1,230
	2	105.36	979	662	377	253	187	359	13,300	2,057	2,179	1,850	6,635	11,352	1,230
	3	108.65	1,065	781	422	272	247	381	13,400	2,067	2,206	1,850	6,635	11,352	1,230
	4	109.13	1,121	788	415	265	259	375	13,600	2,133	2,490	1,900	6,635	11,352	1,250
	5	109.19	1,020	738	382	254	213	371	15,500	2,163	2,864	2,300	6,635	11,352	1,270
	6	110.11	1,131	803	412	280	249	426	17,500	2,318	3,697	2,650	6,681	11,352	1,290
	7	110.29	1,156	798	382	277	215	451	17,800	2,361	4,190	2,950	6,681	11,352	1,330
	8	109.84	1,004	726	345	250	243	433	18,100	2,278	4,319	3,600	6,681	11,411	1,360
	9	110.17	1,143	773	398	276	219	433	18,100	2,278	4,415	4,300	6,681	11,411	1,410
	10	113.10	1,175	796	422	281	196	396	18,000	2,282	4,481	4,600	6,681	11,411	1,490
	11	114.13	1,222	803	440	285	218	458	17,500	2,278	4,475	4,800	6,681	11,352	1,540
	12	113.87	1,071	749	404	268	176	451	17,200	2,242	4,461	4,800	6,635	11,411	1,730
令和 4年	1	114.83	1,031	646	393	250	226	510	16,900	67,600	4,332	4,800	6,817	11,411	1,890
	2	115.20	1,100	689	463	259	810	434	17,600	65,800	4,329	4,800	6,817	11,411	1,980
	3	118.51	1,223	806	496	279	222	465	17,800	65,800	4,326	4,800	6,862	11,411	2,070
	4	126.04	1,155	791	500	258	849	396	17,500	-	4,326	4,800	6,908	11,528	-
	5	128.78							17,900	-	4,359	4,800	6,953	11,646	-

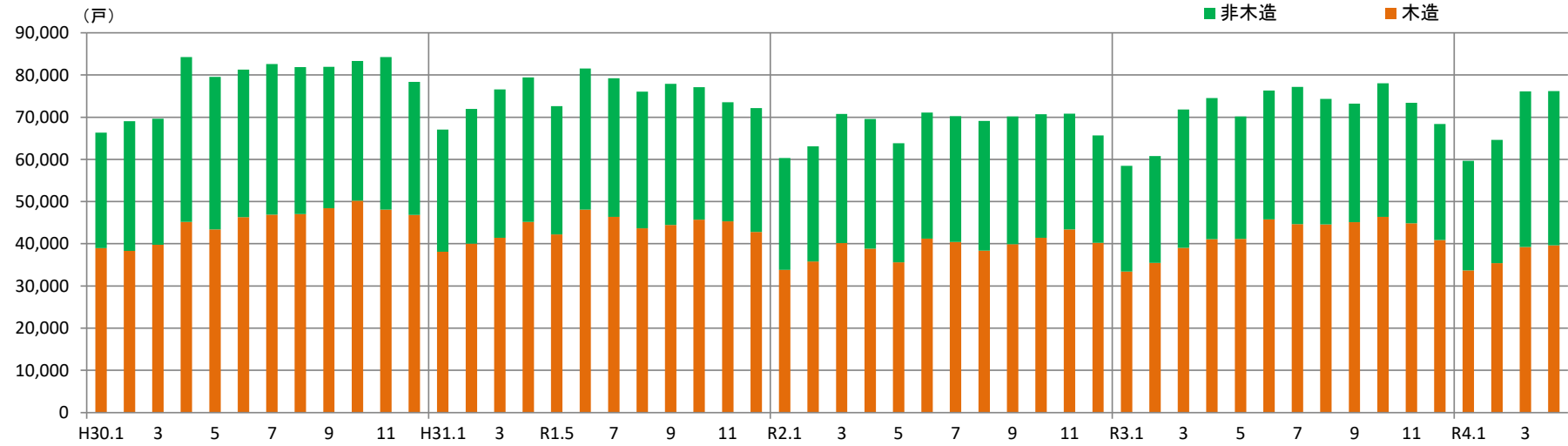
関連資料：①日本銀行「主要時系列統計データ表(月次)」②～⑤農林水産省「製材統計」「合板統計」、⑥農林水産省「農林水産物輸出入情報」、⑦農林水産省「木材価格」、うちホワイトウッド集成柱は「日刊木材新聞調べ」(※農林水産省「木材価格」は、平成30年1月から、平成28年の素材・木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。スギ正角及び針葉樹合板の価格は、令和4年1月から四半期毎(4月、7月、10月及び翌1月)の公表としている。)

全国の新設住宅着工戸数及び床面積

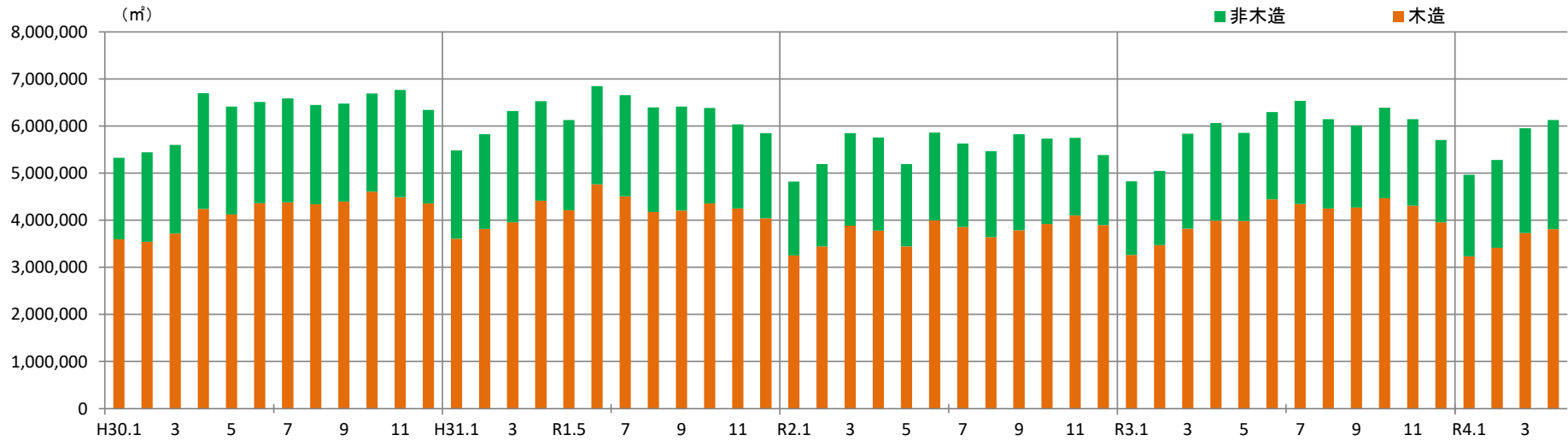
年月	新設住宅着工戸数(戸)							新設住宅着工床面積(㎡)							木造1戸あたりの床面積(㎡)	
	総数	木造			非木造	木造率	総数	木造			非木造	木造率				
		軸組	2×4	プレハブ				軸組	2×4	プレハブ						
平成29年	964,641	545,366	412,004	120,059	13,303	419,275	56.5	77,514,644	50,346,278	39,926,113	9,009,512	1,410,653	27,168,366	65.0	92.32	
平成30年	942,370	539,394	409,873	116,988	12,533	402,976	57.2	75,309,090	50,144,489	39,859,749	8,928,890	1,355,850	25,164,601	66.6	92.96	
令和元年	905,123	523,319	401,584	109,625	12,110	381,804	57.8	74,875,931	50,297,820	40,571,300	8,442,900	1,283,620	24,578,111	67.2	96.11	
令和2年	815,340	469,295	365,464	93,009	10,822	346,045	57.6	66,464,243	44,991,375	36,770,304	7,111,272	1,109,799	21,472,868	67.7	95.87	
令和3年	856,484	502,330	395,803	96,018	10,509	354,154	58.7	70,846,168	48,564,449	39,971,820	7,522,603	1,070,026	22,281,719	68.5	96.68	
令和2年	1	60,341	33,849	26,055	7,013	781	26,492	56.1	4,820,770	3,248,917	2,620,105	547,481	81,331	1,571,853	67.4	95.98
	2	63,105	35,824	27,778	7,285	761	27,281	56.8	5,193,980	3,441,666	2,795,594	562,944	83,128	1,752,314	66.3	96.07
	3	70,729	40,139	30,588	8,668	883	30,590	56.8	5,848,292	3,886,184	3,141,841	652,774	91,569	1,962,108	66.4	96.82
	4	69,568	38,849	30,323	7,717	809	30,719	55.8	5,758,259	3,778,505	3,111,171	584,346	82,988	1,979,754	65.6	97.26
	5	63,839	35,634	27,916	6,778	940	28,205	55.8	5,195,155	3,440,711	2,832,965	515,666	92,080	1,754,444	66.2	96.56
	6	71,101	41,218	32,981	7,280	957	29,883	58.0	5,861,263	3,997,158	3,324,681	568,703	103,774	1,864,105	68.2	96.98
	7	70,244	40,450	31,671	7,835	944	29,794	57.6	5,626,216	3,856,587	3,153,010	606,285	97,292	1,769,629	68.5	95.34
	8	69,101	38,410	29,952	7,485	973	30,691	55.6	5,465,808	3,642,719	2,981,974	566,528	94,217	1,823,089	66.6	94.84
	9	70,186	39,905	30,368	8,575	962	30,281	56.9	5,824,511	3,784,025	3,039,735	647,105	97,185	2,040,486	65.0	94.83
	10	70,685	41,424	32,239	8,248	937	29,261	58.6	5,735,154	3,919,067	3,199,895	626,706	92,466	1,816,087	68.3	94.61
	11	70,798	43,386	33,858	8,557	971	27,412	61.3	5,749,804	4,097,177	3,351,339	644,819	101,019	1,652,627	71.3	94.44
	12	65,643	40,207	31,735	7,568	904	25,436	61.3	5,385,031	3,898,659	3,217,994	587,915	92,750	1,486,372	72.4	96.96
令和3年	1	58,448	33,400	26,829	5,933	638	25,048	57.1	4,824,892	3,265,609	2,704,922	491,877	68,810	1,559,283	67.7	97.77
	2	60,764	35,448	28,162	6,575	711	25,316	58.3	5,045,477	3,472,987	2,880,801	522,114	70,072	1,572,490	68.8	97.97
	3	71,787	39,008	31,159	7,029	820	32,779	54.3	5,837,903	3,818,104	3,175,610	557,762	84,732	2,019,799	65.4	97.88
	4	74,521	41,056	32,479	7,803	774	33,465	55.1	6,064,027	3,990,470	3,297,172	610,379	82,919	2,073,557	65.8	97.20
	5	70,178	41,156	32,512	7,894	750	29,022	58.6	5,852,123	3,983,307	3,282,444	622,770	78,093	1,868,816	68.1	96.79
	6	76,312	45,750	35,804	8,888	1,058	30,562	60.0	6,294,542	4,445,256	3,635,103	703,298	106,855	1,849,286	70.6	97.16
	7	77,182	44,659	35,535	8,308	816	32,523	57.9	6,532,469	4,344,379	3,602,972	656,453	84,954	2,188,090	66.5	97.28
	8	74,303	44,587	34,974	8,662	951	29,716	60.0	6,147,403	4,250,531	3,475,752	674,933	99,846	1,896,872	69.1	95.33
	9	73,178	45,126	34,783	9,220	1,123	28,052	61.7	6,012,497	4,266,874	3,462,559	699,929	104,386	1,745,623	71.0	94.55
	10	78,004	46,399	35,967	9,364	1,068	31,605	59.5	6,389,681	4,464,298	3,640,818	715,764	107,716	1,925,383	69.9	96.22
	11	73,414	44,881	35,379	8,526	976	28,533	61.1	6,142,946	4,309,659	3,556,143	655,912	97,604	1,833,287	70.2	96.02
	12	68,393	40,860	32,220	7,816	824	27,533	59.7	5,702,208	3,952,975	3,257,524	611,412	84,039	1,749,233	69.3	96.74
令和4年	1	59,690	33,714	27,308	5,854	552	25,976	56.5	4,967,628	3,231,880	2,709,697	464,090	58,093	1,735,748	65.1	95.86
	2	64,614	35,407	28,502	6,194	711	29,207	54.8	5,282,200	3,415,577	2,850,919	492,813	71,845	1,866,623	64.7	96.47
	3	76,120	39,225	30,524	7,921	780	36,895	51.5	5,953,188	3,727,955	3,053,107	595,288	79,560	2,225,233	62.6	95.04
	4	76,179	39,625	31,172	7,625	828	36,554	52.0	6,125,363	3,806,828	3,130,071	594,109	82,648	2,318,535	62.1	96.07

資料：国土交通省「住宅着工統計 月次 第18表(新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」、「第29表(プレハブ新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」、「第43表(ツーバイフォー新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」

全国の新設住宅着工戸数



全国の新設住宅床面積

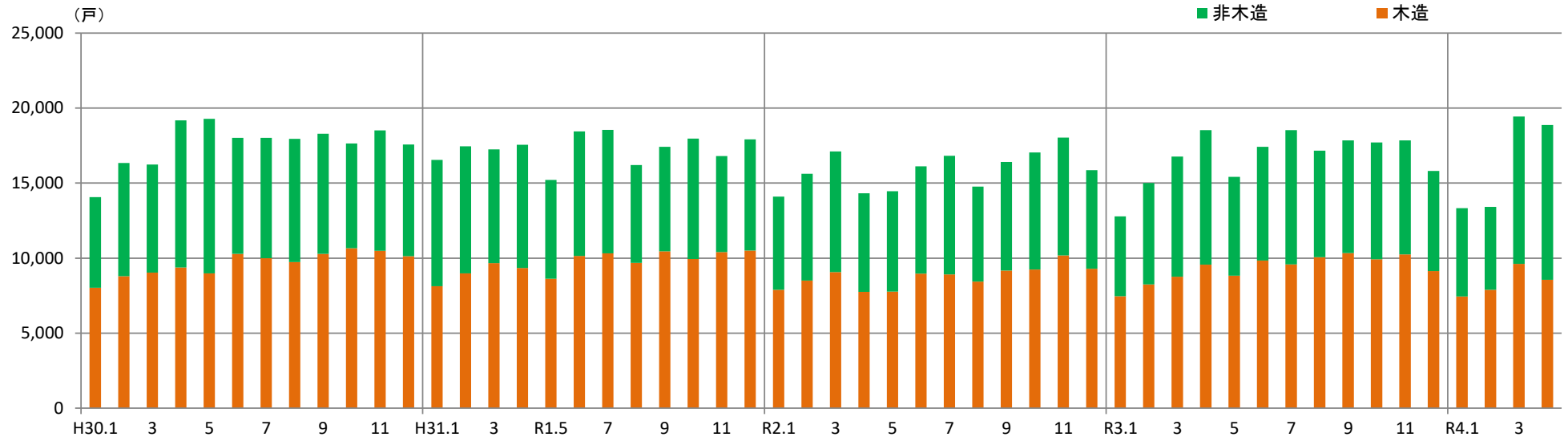


管内の新設住宅着工戸数及び床面積

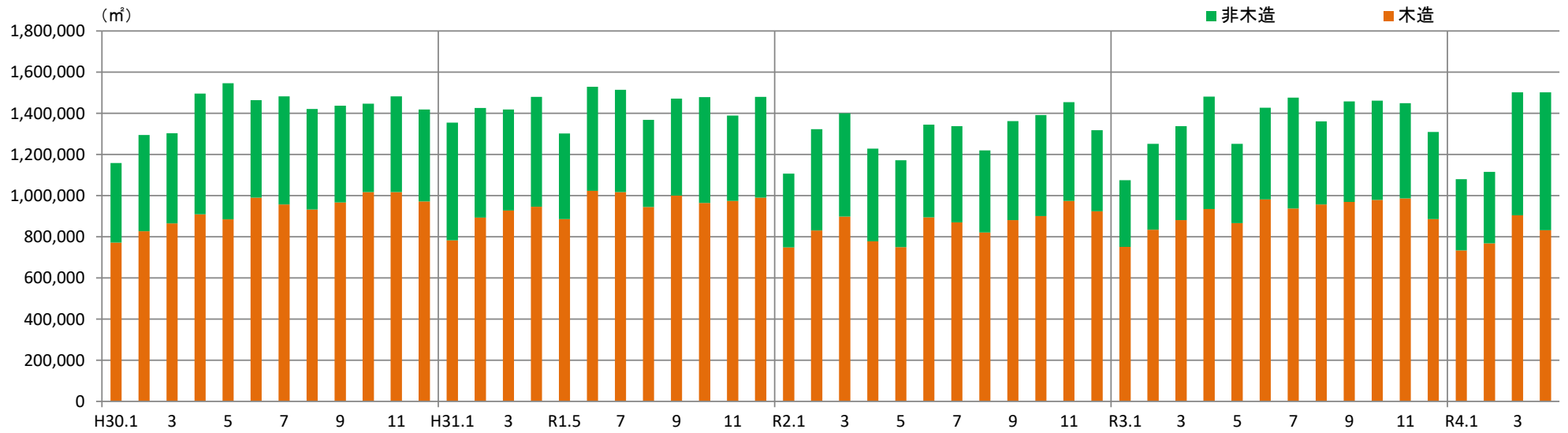
年月	新設住宅着工戸数(戸)								新設住宅着工床面積(㎡)								木造1戸あたりの床面積(㎡)	
	総数	対全国シェア	木造	木造			非木造	木造率	総数	対全国シェア	木造	木造			非木造	木造率		
				軸組	2×4	プレハブ						軸組	2×4	プレハブ				
平成29年	208,932	21.7	114,402	90,379	21,196	2,827	94,530	54.8	17,020,011	22.0	10,996,914	9,119,000	1,563,401	314,513	6,023,097	64.6	96.13	
平成30年	211,103	22.4	115,781	91,014	21,970	2,797	95,322	54.8	16,954,754	22.5	11,116,527	9,169,942	1,628,150	318,435	5,838,227	65.6	96.01	
令和元年	207,319	22.9	116,184	92,421	21,103	2,660	91,135	56.0	17,216,351	23.0	11,356,551	9,483,671	1,580,014	292,866	5,859,800	66.0	97.75	
令和2年	190,668	23.4	105,179	85,128	17,819	2,232	85,489	55.2	15,662,158	23.6	10,274,889	8,703,335	1,329,327	242,227	5,387,269	65.6	97.69	
令和3年	200,833	23.4	111,982	91,315	18,662	2,005	88,851	55.8	16,344,134	23.1	10,969,655	9,338,004	1,418,094	213,557	5,374,479	67.1	97.96	
令和2年	1	14,095	23.4	7,880	6,323	1,398	159	6,215	55.9	1,107,198	23.0	748,793	626,364	103,948	18,481	358,405	67.6	95.02
	2	15,629	24.8	8,498	6,724	1,585	189	7,131	54.4	1,323,620	25.5	831,576	693,568	116,629	21,379	492,044	62.8	97.86
	3	17,109	24.2	9,074	7,105	1,763	206	8,035	53.0	1,400,238	23.9	898,020	744,812	131,250	21,958	502,218	64.1	98.97
	4	14,321	20.6	7,758	6,259	1,343	156	6,563	54.2	1,228,253	21.3	778,908	662,059	100,961	15,888	449,345	63.4	100.40
	5	14,460	22.7	7,768	6,049	1,508	211	6,692	53.7	1,172,804	22.6	750,688	621,113	108,115	21,460	422,116	64.0	96.64
	6	16,112	22.7	8,964	7,587	1,198	179	7,148	55.6	1,344,853	22.9	894,742	778,169	95,444	21,129	450,111	66.5	99.82
	7	16,824	24.0	8,916	7,306	1,432	178	7,908	53.0	1,338,327	23.8	870,624	741,533	109,455	19,636	467,703	65.1	97.65
	8	14,760	21.4	8,441	6,937	1,317	187	6,319	57.2	1,220,041	22.3	820,895	702,911	99,514	18,470	399,146	67.3	97.25
	9	16,412	23.4	9,164	7,370	1,610	184	7,248	55.8	1,362,514	23.4	880,817	742,542	117,101	21,174	481,697	64.6	96.12
	10	17,050	24.1	9,242	7,540	1,487	215	7,808	54.2	1,391,419	24.3	900,587	764,494	114,405	21,688	490,832	64.7	97.45
	11	18,033	25.5	10,178	8,176	1,801	201	7,855	56.4	1,454,835	25.3	975,198	826,375	126,996	21,827	479,637	67.0	95.81
	12	15,863	24.2	9,296	7,752	1,377	167	6,567	58.6	1,318,056	24.5	924,041	799,395	105,509	19,137	394,015	70.1	99.40
令和3年	1	12,774	21.9	7,456	6,329	994	133	5,318	58.4	1,074,776	22.3	751,444	650,128	86,017	15,299	323,332	69.9	100.78
	2	15,000	24.7	8,253	6,893	1,217	143	6,747	55.0	1,252,296	24.8	835,076	720,734	100,264	14,078	417,220	66.7	101.18
	3	16,761	23.3	8,760	7,231	1,387	142	8,001	52.3	1,338,154	22.9	881,655	757,748	107,067	16,840	456,499	65.9	100.65
	4	18,532	24.9	9,563	7,927	1,499	137	8,969	51.6	1,481,285	24.4	935,529	808,511	111,520	15,498	545,756	63.2	97.83
	5	15,421	22.0	8,825	7,079	1,615	131	6,596	57.2	1,251,757	21.4	866,429	730,820	120,368	15,241	385,328	69.2	98.18
	6	17,419	22.8	9,839	8,005	1,630	204	7,580	56.5	1,428,119	22.7	981,943	834,045	127,756	20,142	446,176	68.8	99.80
	7	18,540	24.0	9,582	7,903	1,520	159	8,958	51.7	1,476,649	22.6	937,820	804,448	116,886	16,486	538,829	63.5	97.87
	8	17,159	23.1	10,068	8,129	1,732	207	7,091	58.7	1,360,860	22.1	957,751	807,980	128,175	21,596	403,109	70.4	95.13
	9	17,845	24.4	10,327	8,346	1,820	161	7,518	57.9	1,458,477	24.3	969,371	819,132	131,881	18,358	489,106	66.5	93.87
	10	17,710	22.7	9,924	8,146	1,591	187	7,786	56.0	1,462,051	22.9	979,483	839,216	119,364	20,903	482,568	67.0	98.70
	11	17,854	24.3	10,250	8,152	1,889	209	7,604	57.4	1,449,666	23.6	987,432	826,664	140,095	20,673	462,234	68.1	96.33
	12	15,818	23.1	9,135	7,175	1,768	192	6,683	57.8	1,310,044	23.0	885,722	738,578	128,701	18,443	424,322	67.6	96.96
令和4年	1	13,332	22.3	7,442	6,335	1,006	101	5,890	55.8	1,080,339	21.7	734,233	640,262	82,226	11,745	346,106	68.0	98.66
	2	13,409	20.8	7,888	6,538	1,242	108	5,521	58.8	1,115,820	21.1	768,029	661,944	94,273	11,812	347,791	68.8	97.37
	3	19,441	25.5	9,616	7,445	2,057	114	9,825	49.5	1,502,977	25.2	904,365	752,421	139,178	12,766	598,612	60.2	94.05
	4	18,876	24.8	8,553	7,091	1,332	130	10,323	45.3	1,502,708	24.5	832,911	714,363	105,395	13,153	669,797	55.4	97.38

資料：国土交通省「住宅着工統計 月次 第18表(新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」、「第29表(プレハブ新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」、「第43表(ツーバイフォー新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」

管内の新設住宅着工戸数



管内の新設住宅床面積

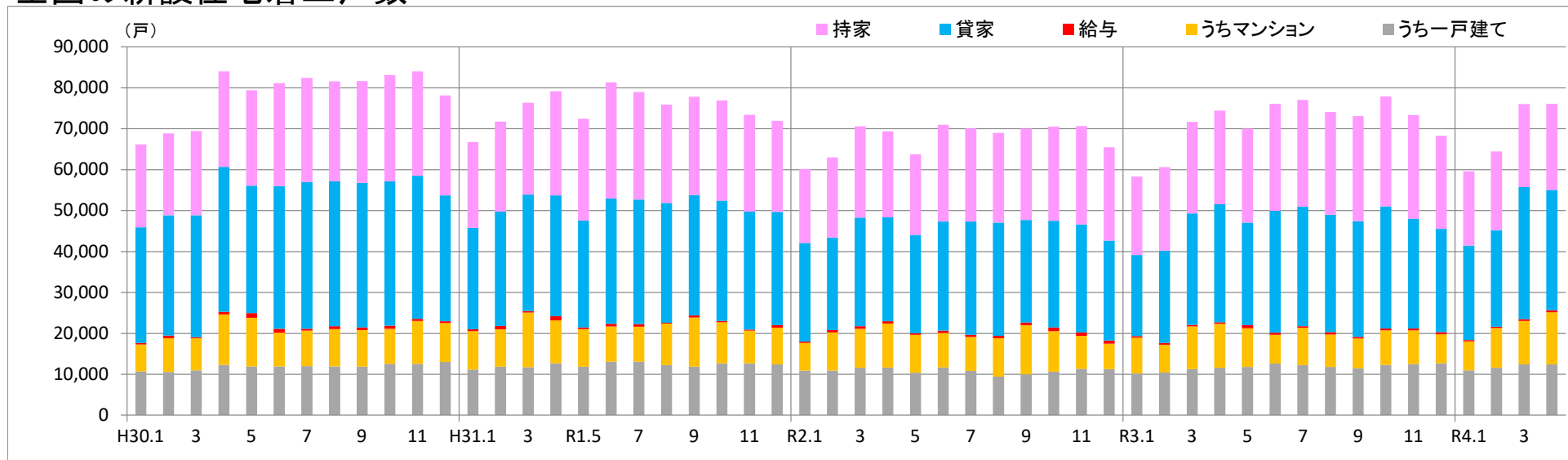


全国の新設住宅着工戸数及び床面積(利用関係別)

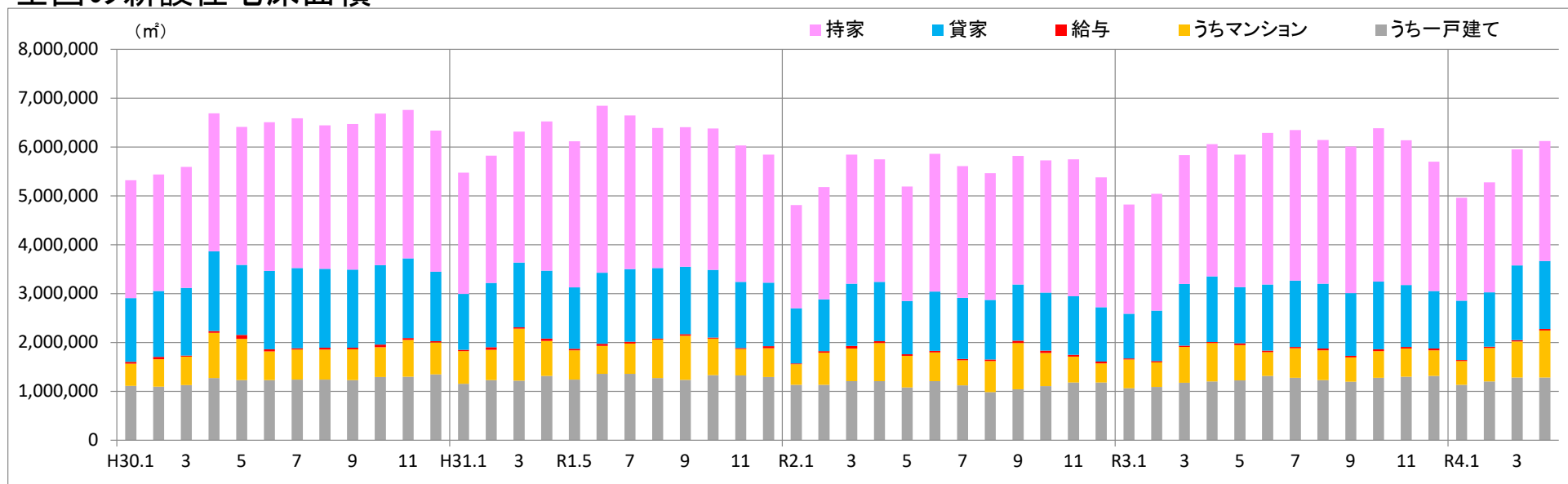
年月	新設住宅着工戸数(戸)									新設住宅着工床面積(m ²)								
	総数	持家	貸家	給与	分譲	うちマンション		持家+分譲-戸 /総数	総数	持家	貸家	給与	分譲	うちマンション		持家+分譲-戸 /総数		
						うちマンション	うち一戸建て							うちマンション	うち一戸建て			
平成29年	964,641	284,283	419,397	5,770	255,191	114,830	138,189	43.8	77,514,644	34,327,638	19,548,703	392,313	23,245,990	8,820,182	14,354,622	62.8		
平成30年	942,370	283,235	396,374	7,468	255,263	110,510	142,393	45.2	75,309,090	33,967,273	18,245,287	477,432	22,619,098	7,828,137	14,713,891	64.6		
令和元年	905,123	288,738	342,289	6,400	267,696	117,803	147,522	48.2	74,875,931	34,388,473	16,227,593	419,330	23,839,995	8,420,440	15,329,493	66.4		
令和2年	815,340	261,088	306,753	7,231	240,268	107,884	130,753	48.1	66,454,243	30,802,712	14,101,103	434,145	21,116,283	7,455,080	13,585,296	66.8		
令和3年	856,484	285,575	321,376	5,589	243,944	101,292	141,094	49.8	70,666,168	33,558,191	14,838,514	363,802	21,905,661	7,184,706	14,663,962	68.2		
令和2年	1	60,341	18,037	24,147	301	17,856	6,789	10,881	47.9	4,820,770	2,110,166	1,127,399	16,599	1,566,606	422,314	1,135,089	67.3	
	2	63,105	19,557	22,638	548	20,362	9,353	10,907	48.3	5,193,980	2,299,189	1,057,449	30,599	1,806,743	658,905	1,133,394	66.1	
	3	70,729	22,327	26,545	637	21,220	9,500	11,616	48.0	5,848,292	2,639,888	1,275,632	54,365	1,878,407	666,912	1,207,432	65.8	
	4	69,568	21,018	25,379	614	22,557	10,723	11,665	47.0	5,758,259	2,511,887	1,214,466	34,109	1,997,797	779,456	1,209,915	64.6	
	5	63,839	19,697	24,041	344	19,757	9,292	10,381	47.1	5,195,155	2,342,561	1,091,657	29,072	1,731,865	646,675	1,081,605	65.9	
	6	71,101	23,650	26,666	596	20,189	8,422	11,658	49.7	5,861,263	2,816,470	1,212,195	35,563	1,797,035	585,607	1,207,907	68.7	
	7	70,244	22,708	27,696	481	19,359	8,352	10,820	47.7	5,616,216	2,693,997	1,252,697	27,763	1,641,759	513,284	1,120,981	67.9	
	8	69,101	21,915	27,671	582	18,933	9,377	9,455	45.4	5,465,808	2,589,072	1,219,748	33,175	1,623,813	636,932	983,501	65.4	
	9	70,186	22,337	25,053	637	22,159	11,970	10,036	46.1	5,824,511	2,630,723	1,152,169	49,510	1,992,109	944,946	1,042,103	63.1	
	10	70,685	23,013	26,043	923	20,706	9,908	10,647	47.6	5,735,154	2,707,364	1,188,824	48,162	1,790,804	678,979	1,104,084	66.5	
	11	70,798	24,010	26,451	789	19,548	8,049	11,372	50.0	5,749,804	2,800,758	1,198,073	36,105	1,714,868	530,927	1,179,693	69.2	
	12	65,643	22,819	24,423	779	17,622	6,149	11,315	52.0	5,385,031	2,660,637	1,110,794	39,123	1,574,477	390,143	1,179,592	71.3	
令和3年	1	58,448	19,200	19,794	365	19,089	8,775	10,213	50.3	4,824,892	2,234,388	911,499	22,513	1,656,492	588,722	1,064,241	68.4	
	2	60,764	20,390	22,556	420	17,398	6,779	10,470	50.8	5,045,477	2,387,687	1,030,949	28,743	1,598,098	504,079	1,088,688	68.9	
	3	71,787	22,340	27,245	378	21,824	10,392	11,319	46.9	5,837,903	2,633,547	1,261,101	26,440	1,916,815	733,810	1,176,715	65.3	
	4	74,521	22,877	28,825	336	22,483	10,776	11,595	46.3	6,064,027	2,708,776	1,339,188	23,979	1,992,084	786,691	1,201,683	64.5	
	5	70,178	22,887	25,074	791	21,426	9,444	11,797	49.4	5,852,123	2,713,669	1,150,922	37,072	1,950,460	720,634	1,224,025	67.3	
	6	76,312	26,151	29,802	482	19,877	7,024	12,654	50.9	6,294,542	3,103,650	1,351,157	31,460	1,808,275	484,115	1,317,340	70.2	
	7	77,182	26,071	29,230	401	21,480	9,117	12,242	49.6	6,352,469	3,081,904	1,357,800	24,599	1,888,166	607,692	1,275,162	68.6	
	8	74,303	25,100	28,733	534	19,936	7,968	11,783	49.6	6,147,403	2,941,179	1,322,660	37,786	1,845,778	612,012	1,227,879	67.8	
	9	73,178	25,659	28,254	410	18,855	7,251	11,505	50.8	6,012,497	2,999,966	1,285,265	32,210	1,695,056	495,383	1,196,778	69.8	
	10	78,004	26,840	29,822	506	20,836	8,436	12,284	50.2	6,389,681	3,141,379	1,384,365	34,549	1,829,388	547,086	1,277,614	69.2	
	11	73,414	25,329	26,819	453	20,813	8,239	12,509	51.5	6,142,946	2,965,006	1,268,737	28,442	1,880,761	580,576	1,298,013	69.4	
	12	68,393	22,731	25,222	513	19,927	7,091	12,723	51.8	5,702,208	2,647,040	1,174,871	36,009	1,844,288	523,906	1,315,824	69.5	
令和4年	1	59,690	18,130	23,083	323	18,154	7,071	11,003	48.8	4,967,628	2,108,401	1,216,105	22,803	1,620,319	482,179	1,134,909	65.3	
	2	64,614	19,258	23,583	320	21,453	9,727	11,590	47.7	5,282,200	2,250,090	1,114,572	25,943	1,891,595	685,579	1,200,268	65.3	
	3	76,120	20,246	32,305	425	23,144	10,618	12,439	42.9	5,953,188	2,371,245	1,530,695	28,490	2,022,758	735,119	1,284,638	61.4	
	4	76,179	21,014	29,444	522	25,199	12,685	12,448	43.9	6,125,363	2,452,068	1,394,637	31,835	2,246,823	958,932	1,285,006	61.0	

資料:国土交通省「建築着工統計調査(時系列)【住宅】都道府県別着工戸数、【住宅】都道府県別着工床面積」

全国の新設住宅着工戸数



全国の新設住宅床面積

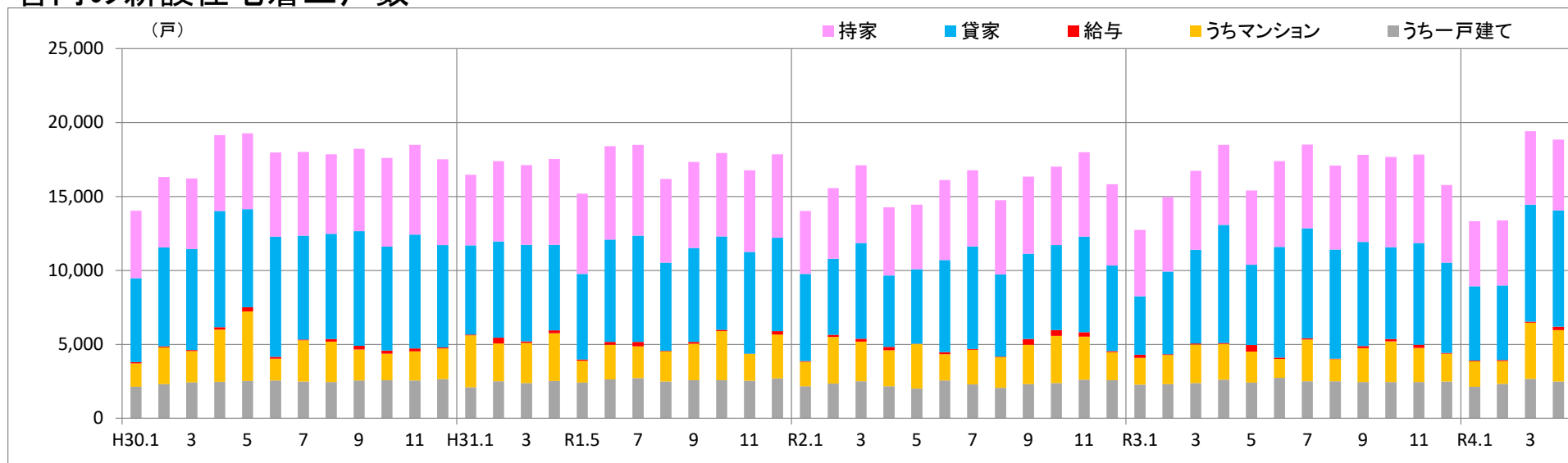


管内の新設住宅着工戸数及び床面積(利用関係別)

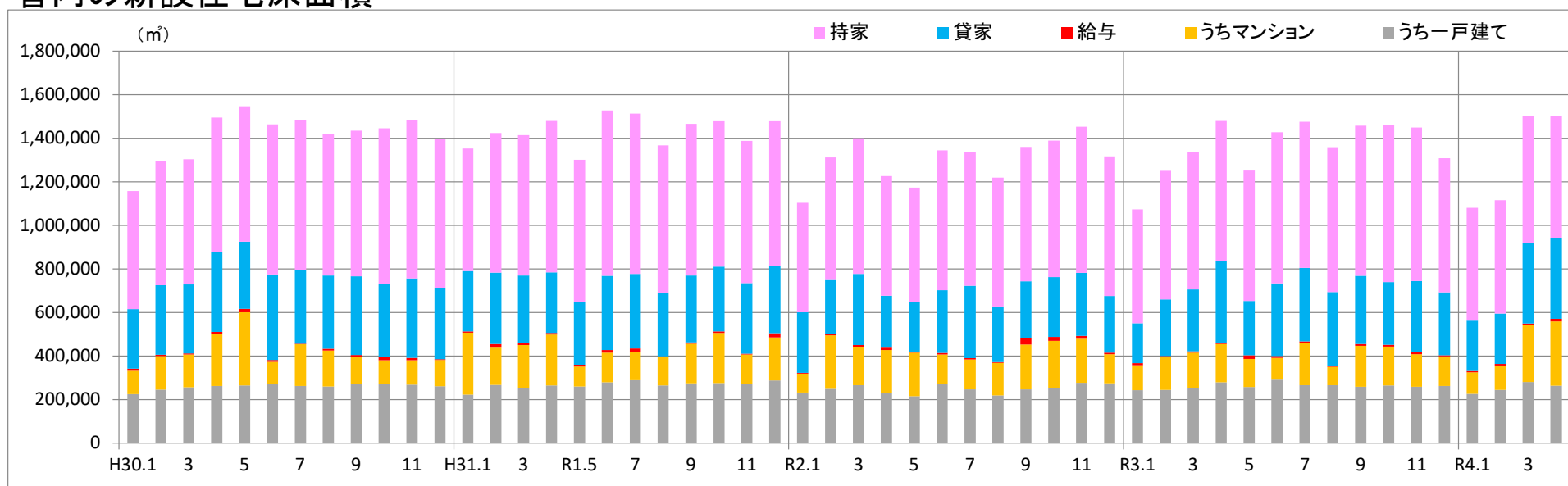
年月	新設住宅着工戸数(戸)								新設住宅着工床面積(m ²)								
	総数	持家	貸家	給与	分譲	持家+分譲-戸		持家+分譲-戸 /総数	総数	持家	貸家	給与	分譲	持家+分譲-戸		持家+分譲-戸 /総数	
						うちマンション	うち一戸建て							うちマンション	うち一戸建て		
平成29年	208,932	64,053	88,361	979	55,539	26,547	28,794	44.4	17,020,011	7,732,689	4,197,967	70,020	5,019,335	1,962,883	3,046,815	63.3	
平成30年	211,103	64,519	85,371	1,733	59,480	29,319	29,804	44.7	16,954,754	7,747,643	4,033,826	105,287	5,067,998	1,910,466	3,122,641	64.1	
令和元年	207,319	67,511	76,555	1,881	61,372	30,572	30,202	47.1	17,216,351	8,049,943	3,694,950	112,781	5,358,677	2,119,211	3,212,925	65.4	
令和2年	190,668	60,517	69,859	2,030	58,262	29,775	28,077	46.5	15,662,158	7,170,086	3,280,603	116,689	5,094,780	2,084,386	2,983,218	64.8	
令和3年	200,833	65,645	77,851	1,629	55,708	25,739	29,630	47.4	16,344,134	7,748,380	3,577,853	96,376	4,921,525	1,761,815	3,145,637	66.7	
令和2年	1	14,095	4,261	5,890	51	3,893	1,648	2,172	45.6	1,107,198	503,027	278,479	3,095	322,597	86,388	232,867	66.5
	2	15,629	4,785	5,142	146	5,556	3,148	2,355	45.7	1,323,620	562,367	246,657	7,238	507,358	246,085	249,166	61.3
	3	17,109	5,242	6,472	206	5,189	2,679	2,510	45.3	1,400,238	623,544	326,755	10,331	439,608	173,284	266,324	63.6
	4	14,321	4,601	4,833	231	4,656	2,425	2,181	47.4	1,228,253	549,704	238,698	10,068	429,783	196,176	231,715	63.6
	5	14,460	4,377	5,030	25	5,028	3,016	2,012	44.2	1,172,804	525,352	229,165	2,270	416,017	200,200	215,817	63.2
	6	16,112	5,405	6,232	131	4,344	1,783	2,561	49.4	1,344,853	642,783	287,731	7,305	407,034	136,375	270,659	67.9
	7	16,824	5,134	6,953	48	4,689	2,330	2,308	44.2	1,338,327	613,942	332,042	6,195	386,148	137,472	246,497	64.3
	8	14,760	5,007	5,553	35	4,165	2,080	2,070	47.9	1,220,041	592,492	255,401	3,310	368,838	149,247	219,091	66.5
	9	16,412	5,208	5,772	400	5,032	2,649	2,321	45.9	1,362,514	616,864	261,781	29,326	454,543	205,632	246,624	63.4
	10	17,050	5,298	5,744	390	5,618	3,192	2,392	45.1	1,391,419	627,489	273,837	18,063	472,030	217,830	252,291	63.2
	11	18,033	5,713	6,456	293	5,571	2,918	2,617	46.2	1,454,835	671,148	289,959	12,359	481,369	202,317	277,446	65.2
	12	15,863	5,486	5,782	74	4,521	1,907	2,578	50.8	1,318,056	641,374	260,098	7,129	409,455	133,380	274,721	69.5
令和3年	1	12,774	4,488	3,961	220	4,105	1,799	2,285	53.0	1,074,776	523,274	183,215	9,529	358,758	114,308	243,574	71.3
	2	15,000	5,029	5,592	50	4,329	1,978	2,314	49.0	1,252,296	590,855	260,282	5,303	395,856	149,934	244,236	66.7
	3	16,761	5,339	6,323	80	5,019	2,612	2,380	46.1	1,338,154	631,355	283,423	6,434	416,942	161,722	253,678	66.1
	4	18,532	5,402	7,996	62	5,072	2,417	2,617	43.3	1,481,285	644,654	374,807	5,496	456,328	176,133	278,810	62.3
	5	15,421	5,019	5,433	439	4,530	2,096	2,425	48.3	1,251,757	598,326	249,315	17,550	386,566	128,592	257,647	68.4
	6	17,419	5,813	7,476	96	4,034	1,276	2,741	49.1	1,428,119	694,344	333,924	8,391	391,460	99,534	291,376	69.0
	7	18,540	5,652	7,441	93	5,354	2,817	2,511	44.0	1,476,649	670,555	337,549	6,002	462,543	195,461	265,850	63.4
	8	17,159	5,673	7,382	46	4,058	1,492	2,504	47.7	1,360,860	664,166	338,903	4,827	352,964	84,391	266,122	68.4
	9	17,845	5,881	7,040	145	4,779	2,294	2,454	46.7	1,458,477	689,008	313,597	8,516	447,356	187,418	258,804	65.0
	10	17,710	6,114	6,214	155	5,227	2,750	2,455	48.4	1,462,051	721,101	288,027	8,681	444,242	178,494	264,579	67.4
	11	17,854	5,983	6,890	198	4,783	2,320	2,452	47.2	1,449,666	705,092	325,670	10,877	408,027	149,181	258,601	66.5
	12	15,818	5,252	6,103	45	4,418	1,888	2,492	49.0	1,310,044	615,650	289,141	4,770	400,483	136,647	262,360	67.0
令和4年	1	13,332	4,390	5,030	47	3,865	1,716	2,143	49.0	1,080,339	517,996	231,085	5,487	325,771	99,537	225,835	68.9
	2	13,409	4,408	5,034	67	3,900	1,550	2,329	50.2	1,115,820	519,916	230,787	7,188	357,929	112,447	244,566	68.5
	3	19,441	4,963	7,906	70	6,502	3,799	2,673	39.3	1,502,977	581,566	371,206	5,611	544,594	263,175	280,526	57.4
	4	18,876	4,790	7,846	234	6,006	3,480	2,493	38.6	1,502,708	559,959	371,168	12,251	559,330	294,025	264,263	54.8

資料:国土交通省「建築着工統計調査(時系列)【住宅】都道府県別着工戸数、【住宅】都道府県別着工床面積」

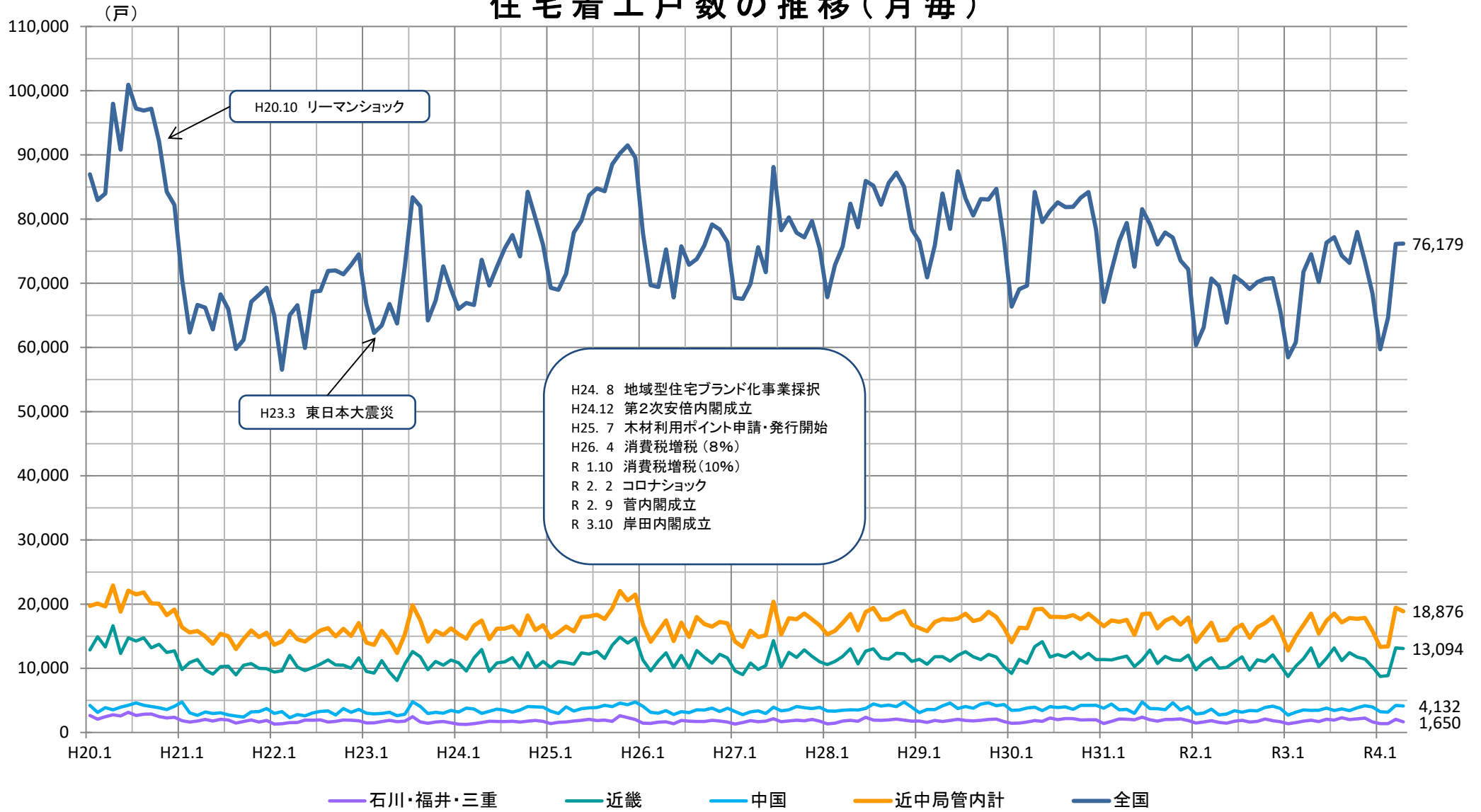
管内の新設住宅着工戸数



管内の新設住宅床面積



住宅着工戸数の推移（月毎）



※(資料)国土交通省「建築着工統計調査(月次)」【住宅】都道府県別着工戸数より

<資料>

木材需給動向関連資料

モクレポ



○「アサヒの森」のアヘマキ林（広島県三次市）

令和4年5月

No.8

特集

- 建築物における木材の利用の促進に向けた取組
- 「森林×脱炭素チャレンジ2022」受賞者決定
- 「合法伐採木材等の流通及び利用に係る検討会」による中間とりまとめと合法性確認の手法
- 2022年3月のロシアからの木材輸入実績
- 素材生産費と労働生産性の動向
- 「みどりの月間」の取組

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和4年5月号

特集	1 建築物における木材の利用の促進に向けた取組	特集1
	2 「森林×脱炭素チャレンジ2022」受賞者決定	特集2
	3 「合法伐採木材等の流通及び利用に係る検討会」による 中間とりまとめと合法性確認の手法	特集3
	4 2022年3月のロシアからの木材輸入実績	特集4
	5 素材生産費と労働生産性の動向	特集5
	6 「みどりの月間」の取組	特集6
01	基礎的指標	基礎1
	1 新設住宅着工戸数	基礎4
	2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積	基礎8
	3 木材産業の業況	基礎9
	4 USドル及びユーロ為替相場	基礎10
	5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	基礎11
6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準		
02	木材価格情報	
	1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	価格1
	2 木材価格、製品価格 <参考> 都道府県別データ	価格3
03	木材需給情報	
	1 需要量、供給量、自給率の動向	需給1
	2 地域の木材需給動向（各森林管理局からの報告）	需給4
	3 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	需給5
	4 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	需給6
	5 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	需給7
	6 間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高	需給8
	7 素材生産量	需給9
8 木材生産の産出額	需給10	
04	林産物輸出入情報	
	1 林産物輸出額	輸出入1
	2 木材輸出額	輸出入2
	3 木材輸入額	輸出入3
	4 木材輸入量	輸出入4
5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価	輸出入10	
05	特用林産情報	
	1 特用林産物の国内生産量	特産1
	2 特用林産物の産出額	特産2
	3 特用林産物の輸出入量	特産3
	4 特用林産物の輸出額	特産4
5 きのこと類の卸売量・価格	特産7	
06	セミナー・イベント情報	
5月中旬以降の開催情報	イベント1	

- 3月31日に、農林水産大臣を本部長とする木材利用促進本部を開催。
- 都市（まち）の木造化推進法※に基づき、令和2年度に整備した国の公共建築物の木造化・木質化実績に加え、新たに創設された建築物木材利用促進協定制度の活用や木材利用促進月間における普及啓発の取組のほか、建築物での木材利用促進に向けた取組等、国の基本方針に基づく措置の実施状況等を公表。
- 特に、建築物木材利用促進協定は、これまで既に10件以上締結されており、多様な主体による木材利用の取組が今後も期待される所。

※ 脱炭素社会の実現に資する等のための木材の利用の促進に関する法律

■ 国が整備する公共建築物での木材利用推進状況

整備及び使用実績	単位	令和2年度
旧基本方針において積極的に木造化を促進するとされている低層(3階建て以下)の公共建築物等	棟数(A)	154
	延べ床面積(m ²)	15,905
うち、木造で整備を行った公共建築物	棟数(B)	132
	延べ床面積(m ²)	13,861
うち、各省各庁において木造化になじまない等と判断された公共建築物	棟数	22
木造化率(B/A)		85.7%
内装等の木質化を行った公共建築物	棟数	220
木材の使用量	m ³	5,286

＜木造化で整備した公共建築物＞



農林水産省 紫波森林事務所 (岩手県)



環境省 上信越国立公園インフォメーションセンター(群馬県)

＜内装等の木質化を行った公共建築物＞



参議院 国会議事堂本会議場 (東京都)[登壇スロープ]



外務省 在ペルー日本国大使館事務所多目的ホール (ペルー共和国)[壁]

検証結果を踏まえた木造化率

各省各庁において木造化になじまないと判断された公共建築物	棟数	22
うち、施設が必要とする機能等の観点から木造化が困難であったもの	棟数(C)	16
うち、木造化が可能であったもの	棟数	6
木造化率(B/(A-C))		95.7%

■ 建築物一般での木材利用の促進

【木材利用促進月間における普及啓発】



法律施行記念講演会・シンポジウム R3.10.8(木材利用促進の日)

【建築物木材利用促進協定制度の活用】



協定締結式 (R4.3.9)



協定の説明資料

本件に関する情報や資料は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/>



特集-2 「森林×脱炭素チャレンジ2022」受賞者決定

- 林野庁では、カーボンニュートラルの実現にも資する、企業等が支援をして行う森林整備の取組を募り、優れた取組を顕彰する「森林×脱炭素チャレンジ2022」を創設。
- 全国から55件の応募があり、グランプリ1件と、優秀賞9件の受賞者を決定。
- 令和4年6月中旬頃に、表彰式を開催予定。

👑 グランプリ(農林水産大臣賞)

アサヒグループジャパン(株)



CO₂吸収量 816 t-CO₂/年

- 広島県内の社有林「アサヒの森」でFSC®認証を取得。森林経営計画の認定を受け、利用間伐等を実施し、木材は主に地元の原木市場へ出荷(アヤマキなど広葉樹は薪として販売)。伐採跡地ではコウヨウザンの植栽など低コスト再生林を实践。
- 社有林近隣の財産区と森林保全管理協定を締結し、間伐など必要な施業を実施し、地域の環境保全に貢献するとともに、財産区に収益を還元。
- 地元の小学校や大学と連携して森林環境教育を実施。年に一回程度、学識経験者や地域の行政、林業関係者とともに、持続可能な森づくりや地域貢献などについて議論。
- アサヒの森全山で動植物の調査を行い、その後も継続的なモニタリングを実施するなど生物多様性保全に向けた取組を実施。文化財修復用の木材や檜皮等を提供する「ふるさと文化財の森」(文化庁)に認定。

👑 優秀賞(林野庁長官賞)

「伐って、使って、植える」 森林の循環利用への貢献	山村地域の振興への貢献	森林の有する 公益的機能発揮への貢献
コクヨ(株)  CO ₂ 吸収量 842 t-CO ₂ /年	認定NPO法人 環境リレーションズ研究所  CO ₂ 吸収量 100 t-CO ₂ /年	住友林業(株)  CO ₂ 吸収量 3,415 t-CO ₂ /年
越井木材工業(株)  CO ₂ 吸収量 346 t-CO ₂ /年	(株)山陰合同銀行  CO ₂ 吸収量 41 t-CO ₂ /年	ピジョン(株)  CO ₂ 吸収量 40 t-CO ₂ /年
(一社)TOKYO WOOD 普及協会  CO ₂ 吸収量 42 t-CO ₂ /年	北海道池田町  CO ₂ 吸収量 10 t-CO ₂ /年	(公財)ニッセイ緑の財団  CO ₂ 吸収量 147 t-CO ₂ /年

※CO₂吸収量は、各受賞者からの提出のあった「令和2年及び令和3年の間に整備した森林における1年間のCO₂吸収量」を指す。

詳細は、次のURLをご覧ください：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/220513.html>

「合法伐採木材等の流通及び利用に係る検討会」による中間とりまとめと合法性確認の手法

特集-3

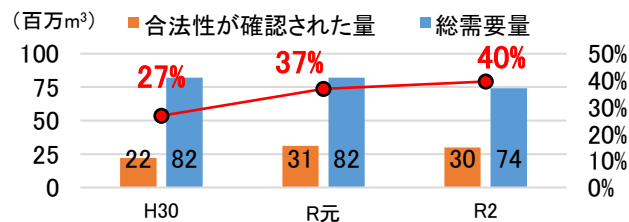
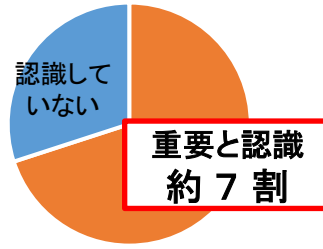
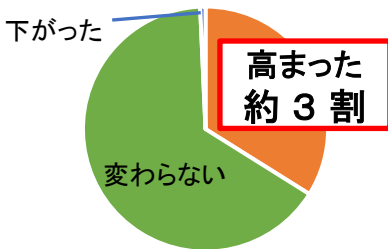
- 合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（通称「クリーンウッド（CW）法」）の施行5年後見直しに向け、学識経験者や業界関係者等から成る「合法伐採木材等の流通及び利用に係る検討会」（座長 立花 敏 筑波大学准教授）を昨年9月から計8回開催。本年4月に現状・課題や今後の方向性等を、検討会による「中間とりまとめ」として公表。
- CW法においては、木材関連事業者が取り組むべき措置として、木材等の原材料の樹木が合法に伐採されていることの確認（以下「合法性確認」）を行う旨を規定。
- 法施行以降、合法性確認に対する意識が高まるなど、制度の普及について成果が見られる一方、検討会において、合法性確認の手法の明確化を求める声などがあつた。

■ CW法施行後の状況

木材関連事業者の合法性を担保する意識

木材関連事業者の合法性を担保した販売に対する認識

第一種登録木材関連事業者※による木材についての合法性確認の状況



資料：木材関連事業者に関する林野庁アンケート調査(R3)

資料：木材需給表、登録木材関連事業者の年度報告とりまとめ結果、林野庁業務資料をもとに林野庁作成

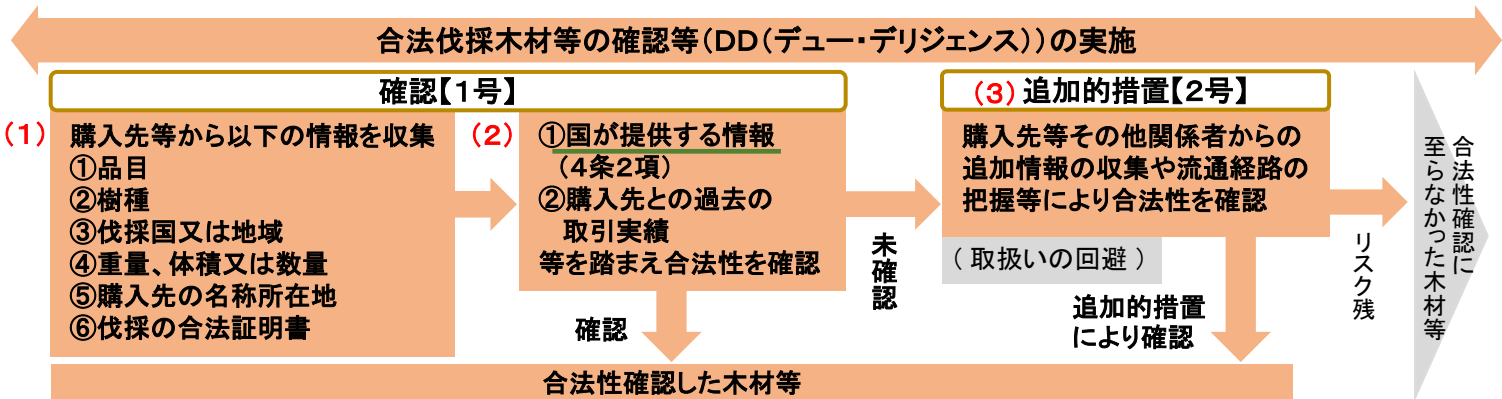
※ 第一種木材関連事業者：樹木の所有者から丸太を譲り受けて加工、輸出、販売を行う事業者や、輸入事業者などの、いわゆる川上事業者
登録木材関連事業者：取り扱う木材等についてCW法に基づく措置を適切かつ確実に講ずるものとして登録を受けた木材関連事業者

「合法伐採木材等の流通及び利用に係る検討会」については、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/ryuturiyou/210915.html>



■ 第一種木材関連事業が行う合法性確認の方法（CW法 第6条第1項関係）

- 購入先等から木材等に関する情報を収集、
- 国が提供する情報等を踏まえ(1)の情報を確認することで合法性を確認、
- (1)、(2)で合法性を確認できない場合、追加情報の収集等の追加的措置を行う必要（下図の該当番号を参照）。



国が提供する情報(例)

林野庁情報サイト「クリーンウッド・ナビ」では、

- CW法の制度解説
- 様々な国や地域の現地情報や事例
- 国際条約や認証制度の概要
- 諸外国の合法伐採木材等の流通、利用、促進の取組
- 登録制度の情報

など、合法性確認に役立つ情報を掲載



例えば...

「国別情報」から様々な国や地域の木材流通や法令、その他調査報告等にアクセス

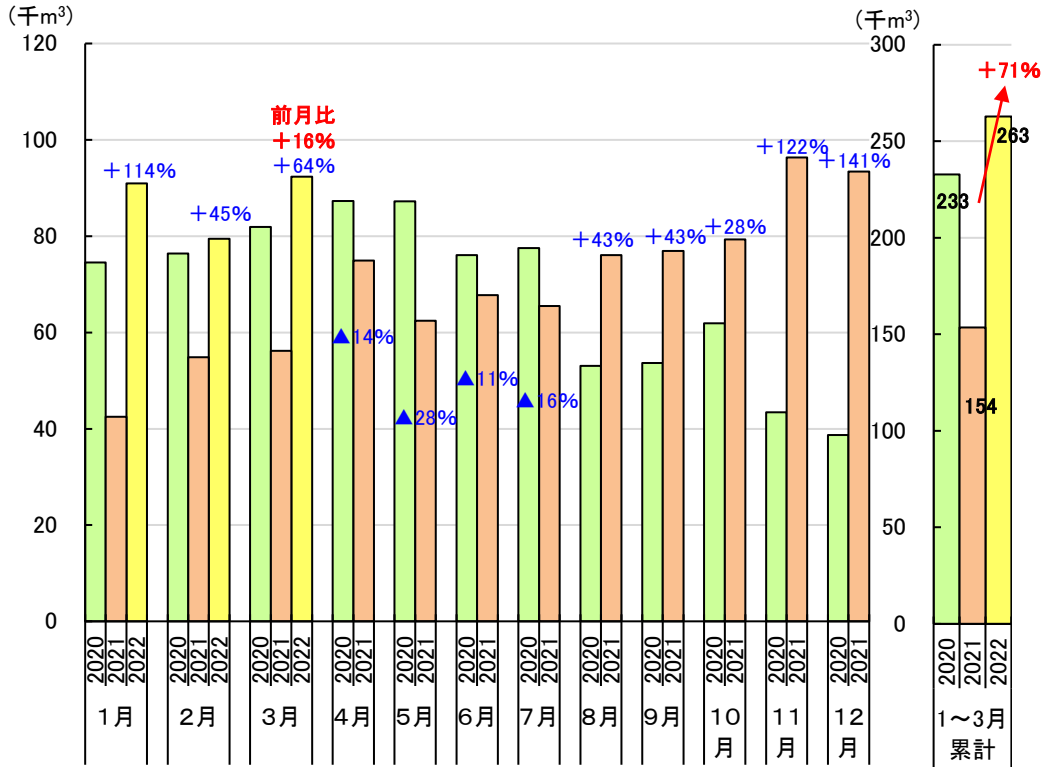
国別情報



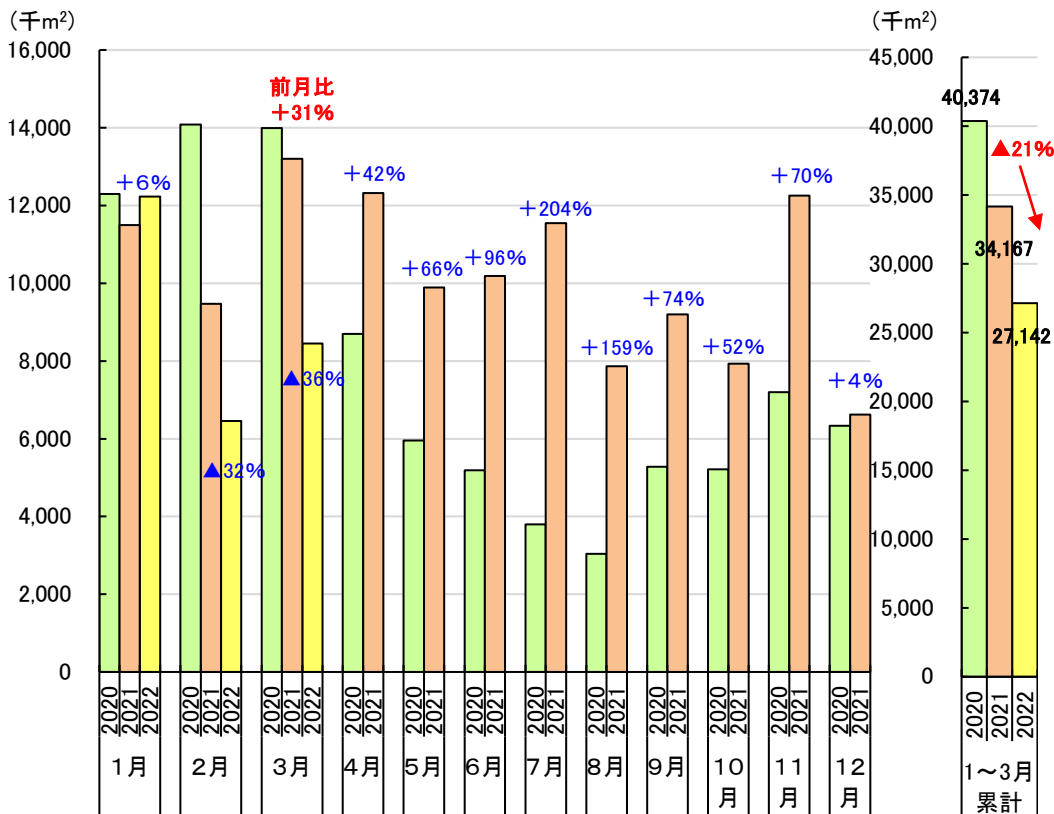
「クリーンウッド・ナビ」については、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/index.html>



- 2022年3月のロシアからの製材輸入量は、前月比+16%増の9万m³（前年同月比+64%増）。1～3月の累計は、前年同期比+71%増（2020年同期比+13%増）の26万m³。
- 同月のロシアからの単板輸入量は、前月比+31%増の845万m²（前年同月比▲35%減）。1～3月の累計は、前年同期比▲21%減（2020年同期比▲33%減）の2,714万m²。
- なお、ロシアは、3月9日から、我が国を含む非友好国に対し、単板、丸太、チップの輸出を禁止。



ロシアからの製材輸入量



ロシアからの単板輸入量

- 全国（沖縄を除く）の皆伐の素材生産の事例をもとに、伐採から集材（山元土場まで）の1m³当たりの素材生産費及び労働生産性を推計。
- 素材生産費は減少傾向、労働生産性は上昇傾向で推移（図1）。
- 作業別の労働生産性を使用機械で分けて推計（図2）。伐木・造材作業では、高性能林業機械を使用した事例の生産性がチェーンソーのみを使用した事例の1.7倍。集材作業では車両系の事例の生産性が高く、架線系については高性能林業機械（タワーヤード等）を使用した事例が集材機の1.5倍。
- 素材生産費を使用機械で分けて推計（図3）。車両系が最も低コスト。
- 事例件数は車両系が増加傾向で推移（図4）。

図1 1m³当たりの素材生産費及び労働生産性の推移

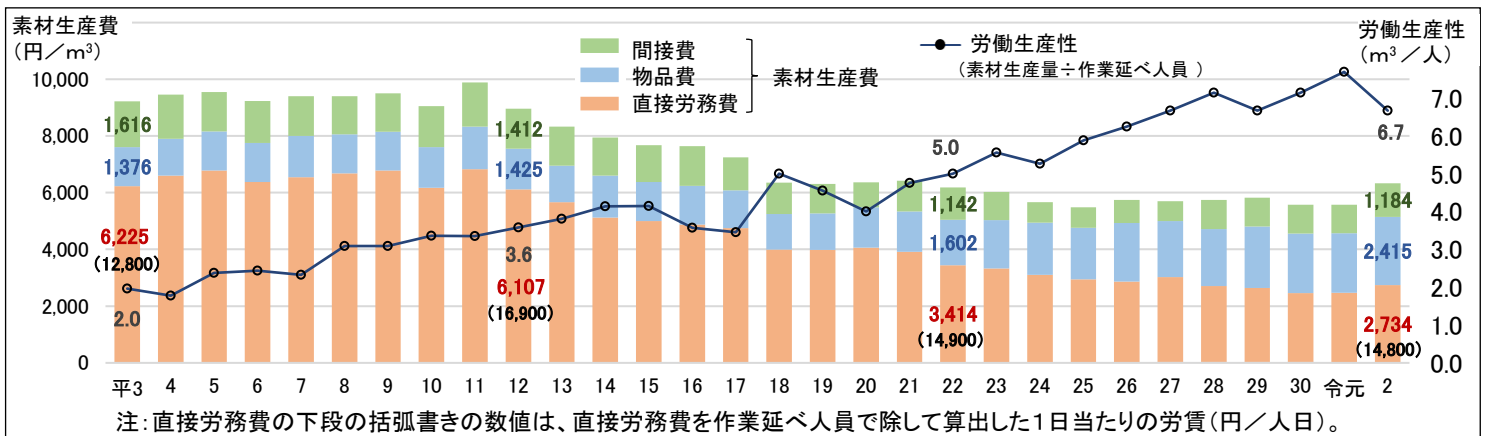
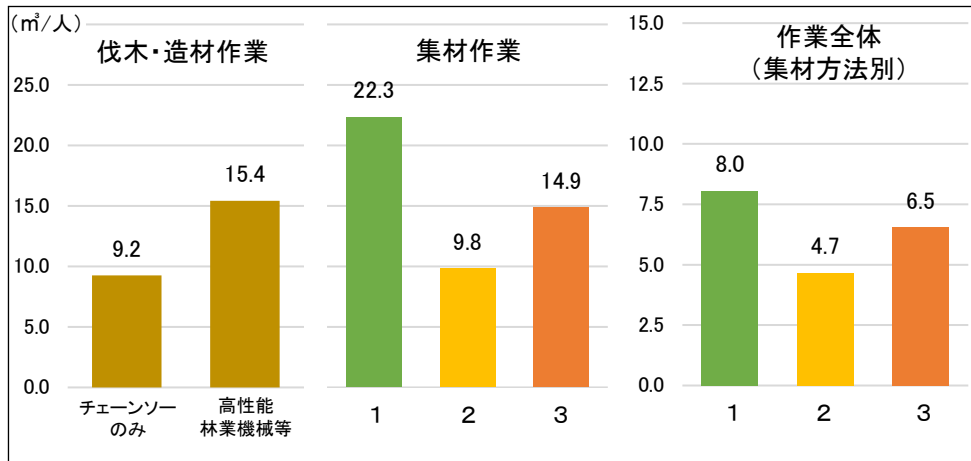


図2 労働生産性(作業別・使用機械別)



主な集材機械	
1	車両系 林内作業車、グラブ、フォワーダ等
2	架線系 集材機等
3	架線系 タワーヤード、スイングヤード

注1: 平成22年から令和2年の事例を単純平均し算出(図2、3)。
 2: 横軸・凡例の数字(1~3)は上表のとおり集材作業で主に使用した機械で事例を分類したもの(図2、3、4)。
 3: 伐木・造材作業の横軸は、伐木・造材作業で主に使用した機械。「高性能林業機械等」は作業の一部でチェーンソーを使用した事例を含む(図2)。

図3 1m³当たりの素材生産費(集材方法別)

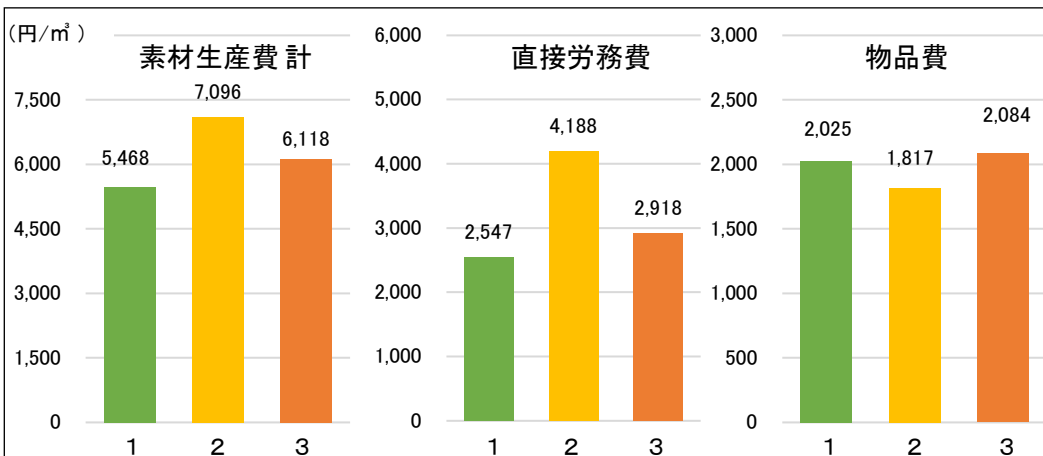
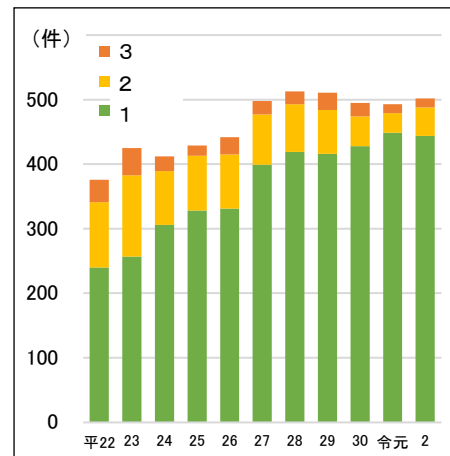


図4 事例件数の推移(集材方法別)



- 5月4日の「みどりの日」を含む4月15日から5月14日までは「みどりの月間」。
- 月間中は、多くの方々に森林や自然とふれあい、植樹活動に取り組んでいただけるよう、様々なイベントが開催されるほか、緑の募金運動を重点的に実施。

■ みどりの式典

令和4年4月18日に、天皇皇后両陛下の御臨席のもと「第16回みどりの式典」を開催。内閣総理大臣より、「みどりの学術賞」受賞者の岡田清孝博士、北島薫博士、「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」の13個人・団体に対し賞状を授与。



(第16回みどりの式典)

■ みどりの募金

4月15日からの「みどりの月間」を緑の募金全国一斉強調月間として、コンビニ等の店頭、インターネット、スマホ決済等を通じて募金を実施。

緑の募金は「寄付」という形を通して、国内外で行われる植樹や間伐などの森林整備や緑化を行うボランティア活動、森林を活用した子供たちへの森林環境教育等を支援。



(親子参加による植樹会)

みどりの募金の期間は5月31日までとなっております、引き続きのご協力をお願いいたします。

■ 各種緑化行事

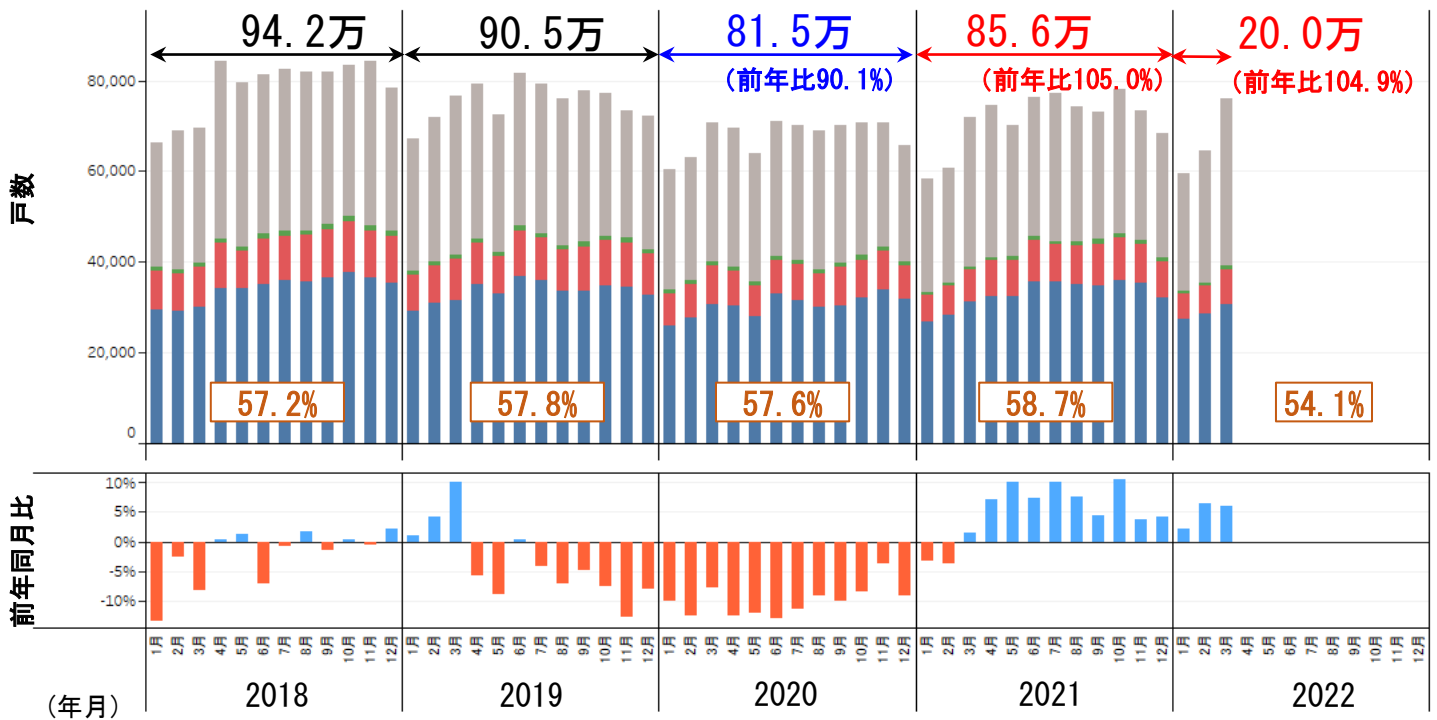
「みどりの月間」中には、全国で森林や自然などのみどりに触れる行事やみどりに対する見識を広めるためのイベントを実施。

月 日	行 事 名	主 催 (唱)	場 所 ・ 会 場	月 日	行 事 名	主 催 (唱)	場 所 ・ 会 場
開催中 ～4月17日(日曜日)	企画展「自然教育園の早春～植生管理ってなんだよ!？」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 附属自然教育園	4月24日(日曜日)	科博オープンラボ 筑波実験植物園 バックヤードツアー	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館筑波 実験植物園
4月15日(木曜日) ～5月15日(日曜日)	第31回森と花の祭典 ～みどりの感謝祭 「みどりとふれあうフェスティバル」	農林水産省・林野庁他	東京都江東区木場公園 及びWEB開催	4月29日(金曜日・祝日)	研究者によるディスカバリートーク 「菌類ってどんな生物？」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 上野本館
4月16日(土曜日) ～4月24日(日曜日)	コレクション特別公開 「さくらそう品種展」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 筑波実験植物園	4月29日(金曜日・祝日) ～6月30日(木曜日) 【予定】	企画展「自然教育園のカワセミ～都心できらめく水辺の宝石～」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 附属自然教育園
4月16日(土曜日)	植物園研究最前線 「ようやくわかった!! 青いプリムラの発色メカニズム」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 筑波実験植物園	4月29日(金曜日・祝日) ～6月5日(日曜日)	コレクション特別公開 「クレマチス園公開」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館筑波 実験植物園
4月17日(日曜日) 【予定】	日曜観察会 「自然教育園の歴史と樹木」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 附属自然教育園	4月30日(土曜日)	植物園研究最前線 「昆虫をたます花の話」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館筑波 実験植物園
4月18日(月曜日)	第16回「みどりの式典」	内閣府	パレスホテル東京	5月4日(水曜日・祝日)	研究者によるディスカバリートーク 「川の妖精カワモズクの研究」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 上野本館
4月23日(土曜日)	春の自然教室	環境省	京都御苑	5月4日(水曜日・祝日) 【予定】	無料入園日(みどりの日)	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 筑波実験植物園、附属自然 教育園
4月23日(土曜日) ～5月1日(日曜日)	企画展 「絶滅危惧生物展～日本の生物多様性の過去、現在、未来～」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 筑波実験植物園	5月7日(土曜日)	第31回森と花の祭典 ～みどりの感謝祭	農林水産省・林野庁他	東京都内
4月24日(日曜日)	とことんセミナー 【里山の四季】 「園内に見る春の植物」	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 筑波実験植物園	5月14日(土曜日) ～7月18日(月曜日・祝日) 【予定】	謎解きフィールドツアー(デジタル版) いにしえの名を解き明かし、あの方を 江戸へお展しせよ!	(独)国立科学博物館	(独)国立科学博物館 附属自然教育園

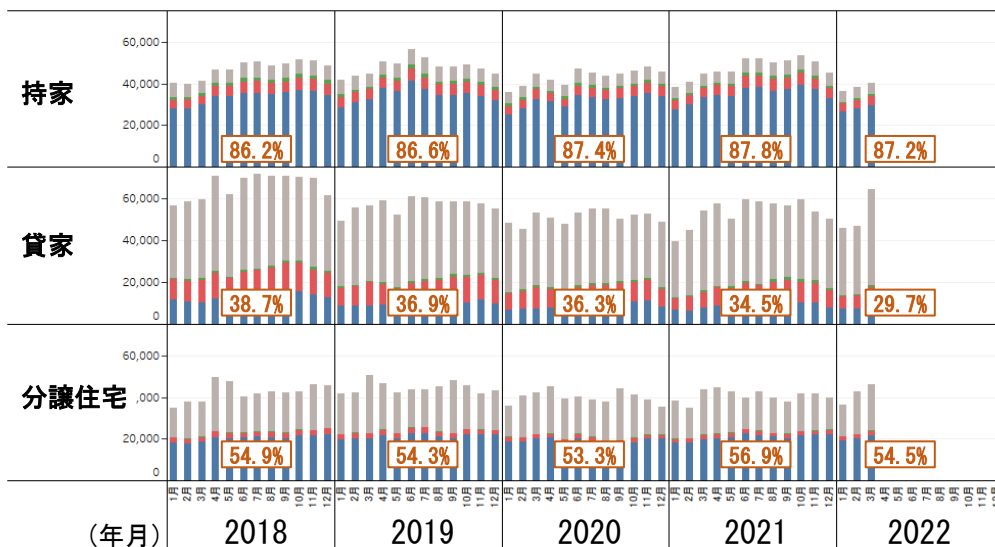
各種緑化行事の詳細は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/ryokka/gekkan/>

基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2021年の新設住宅着工戸数は、85.6万戸（前年比105.0%）、このうち木造住宅は50.2万戸（同107.0%）
- 2022年1～3月の新設住宅着工戸数は、20.0万戸（前年同期比104.9%）、このうち木造住宅は10.8万戸（同100.5%）。



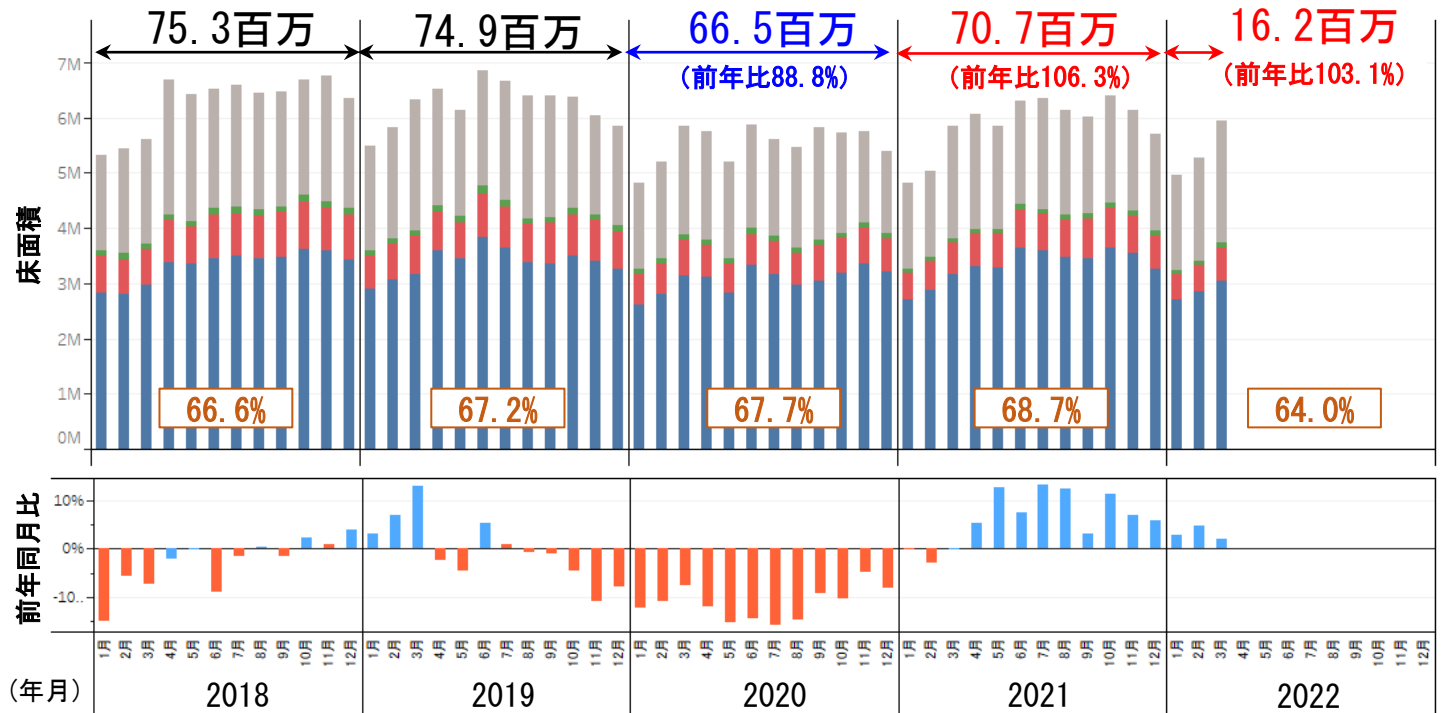
構造別の着工戸数	2022年 1～3月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	200,424	190,999	104.9%	194,175	103.2%
■非木造	92,078	83,143	110.7%	84,363	109.1%
■木造	108,346	107,856	100.5%	109,812	98.7%
■木造プレハブ	2,043	2,169	94.2%	2,425	84.2%
■2×4	19,969	19,537	102.2%	22,966	87.0%
■在来軸組	86,334	86,150	100.2%	84,421	102.3%
□木造率	54.1%	56.5%		56.6%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

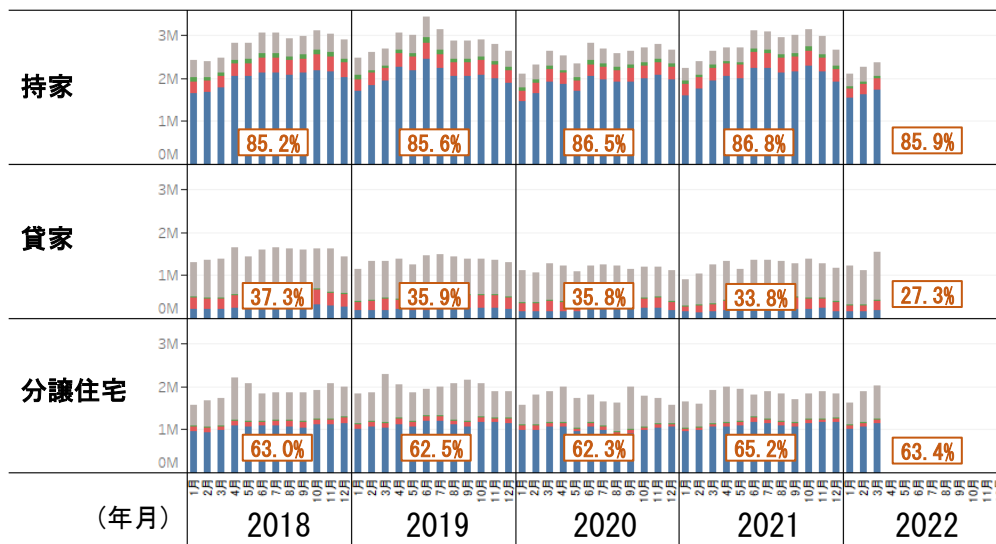
- 2021年の新設住宅着工床面積は、70.7百万m²（前年比106.3%）、このうち木造住宅は48.6百万m²（同107.9%）。
- 2022年1～3月の新設住宅着工床面積は、16.2百万m²（前年同期比103.1%）、このうち木造住宅は10.4百万m²（同98.3%）。



(単位：千m²)

構造別の着工床面積	2022年 1～3月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	16,203	15,708	103.1%	15,863	102.1%
■非木造	5,828	5,152	113.1%	5,286	110.2%
木造	10,375	10,557	98.3%	10,577	98.1%
■木造プレハブ	210	224	93.7%	256	81.8%
■2×4	1,552	1,572	98.8%	1,763	88.0%
■在来軸組	8,614	8,761	98.3%	8,558	100.7%
□木造率	64.0%	67.2%		66.7%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

<参考> 非居住用建築物着工床面積

(単位: 千m²、%)

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97

資料: 国土交通省「建築着工統計調査報告」

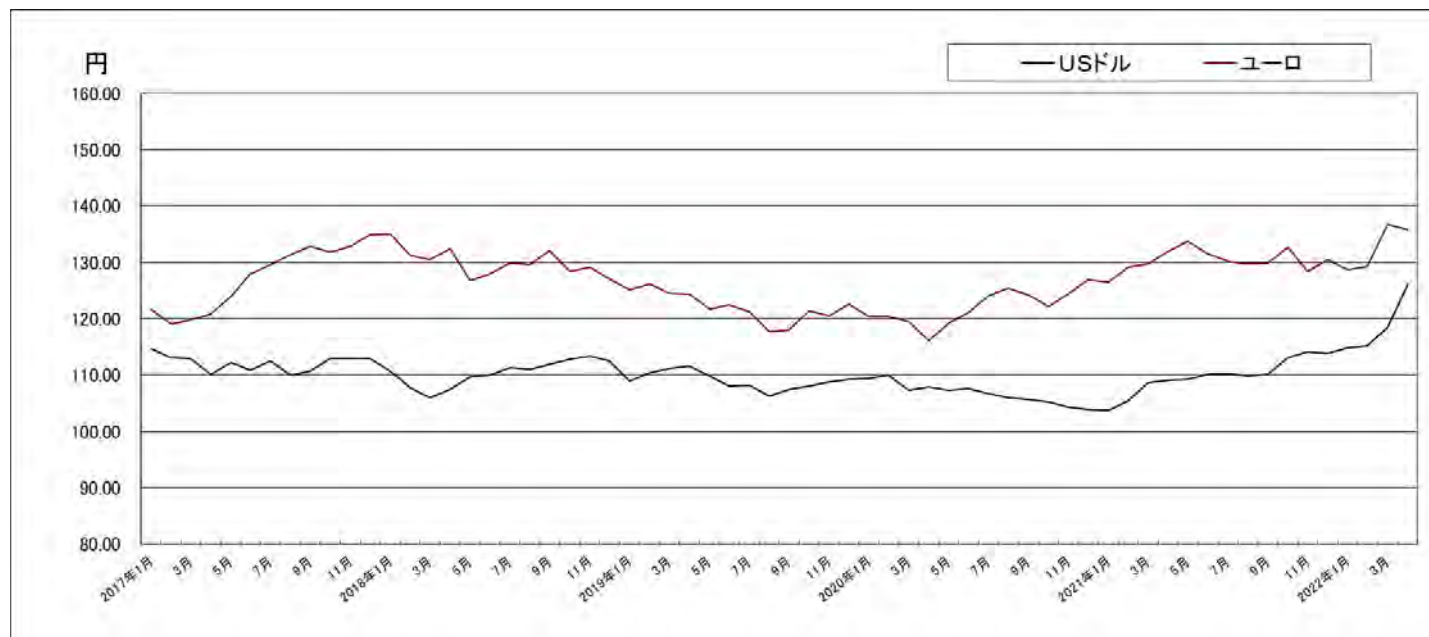
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2021年は、木材産業の倒産件数が19件（前年比70.3%）、負債金額が4,313百万円（同112.0%）。
- 2022年1～3月は、木材産業の倒産件数が5件（前年同期比100.0%）、負債金額が2,023百万円（同399.0%）。

年・月	企業倒産状況							
	全 企 業				木 材・木 製 品 業			
	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2019年	1	666	105	168,374	161	0	0	0
	2	589	95	195,534	217	1	100	10
	3	662	84	97,114	73	1	33	532
	4	645	99	106,916	112	2	50	797
	5	695	91	107,465	103	3	100	795
	6	734	106	86,957	40	1	25	59
	7	802	114	93,400	83	5	500	347
	8	678	98	87,149	72	3	300	278
	9	702	113	112,985	61	6	300	959
	10	780	107	88,578	75	2	100	91
	11	727	101	122,452	101	2	200	470
	12	704	113	156,864	192	4	200	543
2020年	1	773	116	124,734	74	0	0	0
	2	651	111	71,283	36	0	0	0
	3	740	112	105,949	109	1	100	300
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280
	5	314	45	81,336	76	2	67	320
	6	780	106	128,816	148	4	400	444
	7	789	98	100,821	108	1	20	89
	8	667	98	72,416	83	2	67	150
	9	565	80	70,740	63	1	17	637
	10	624	80	78,342	88	2	100	57
	11	569	78	102,101	83	3	150	550
	12	558	79	138,518	88	1	25	25
2021年	1	474	61	81,388	65	2	0	180
	2	446	69	67,490	95	0	0	0
	3	634	86	141,453	134	3	300	327
	4	477	64	84,098	58	4	40	50
	5	472	150	168,664	207	1	50	120
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296
	7	476	60	71,465	71	0	0	0
	8	466	70	90,973	126	1	50	10
	9	505	89	90,860	128	2	200	230
	10	525	84	98,464	126	0	0	0
	11	510	90	94,101	92	0	0	0
	12	504	90	93,181	67	1	100	100
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13
	2	459	103	70,989	105	0	0	0
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010
2019年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313
2019年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

• 2022年4月の為替相場は、1ドル126.04円、1ユーロ135.83円。



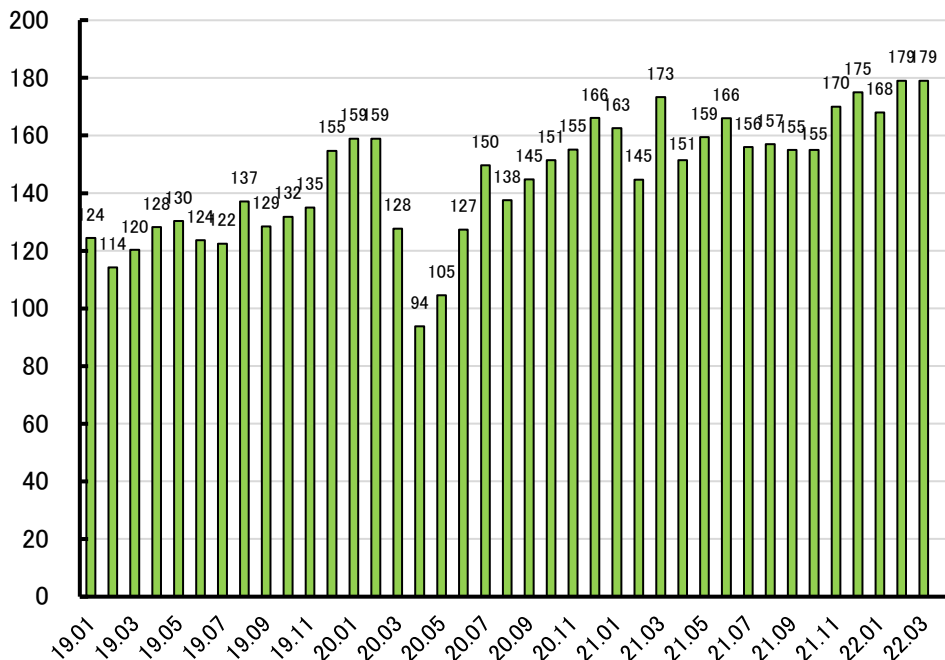
年月	USDドル	ユーロ
2017年1月	114.73	121.75
2月	113.06	118.98
3月	113.01	119.79
4月	110.06	120.85
5月	112.21	123.95
6月	110.91	127.97
7月	112.44	129.65
8月	109.91	131.34
9月	110.68	132.85
10月	112.96	131.76
11月	112.92	132.81
12月	112.97	134.94
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54

年月	USDドル	ユーロ
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

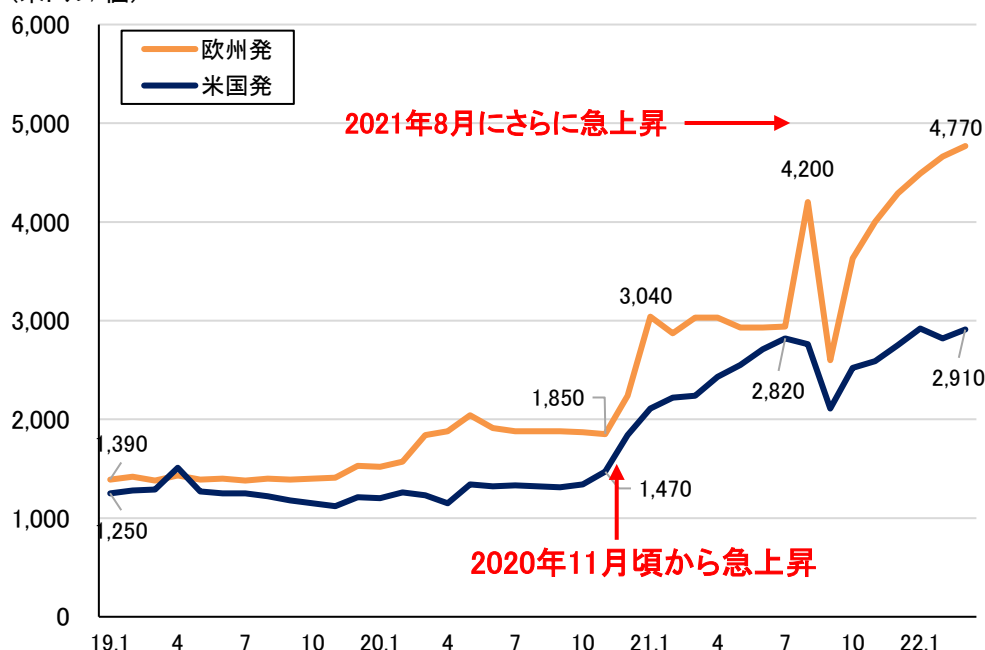
- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から急増。2021年3月に173万戸（年率換算）を記録。2022年3月は、前月から増減なしの179万戸。
- 2021年秋以降、中国から北米へのコンテナの急増による他国でのコンテナ不足と、コロナ禍による中国での港湾作業員不足が深刻化。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2021年9月に一時大きく下落したものの、同年10月以降は欧州発、米国発ともに再度上昇傾向。

○米国における住宅着工戸数
(万戸)



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移
(米ドル/個)



資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

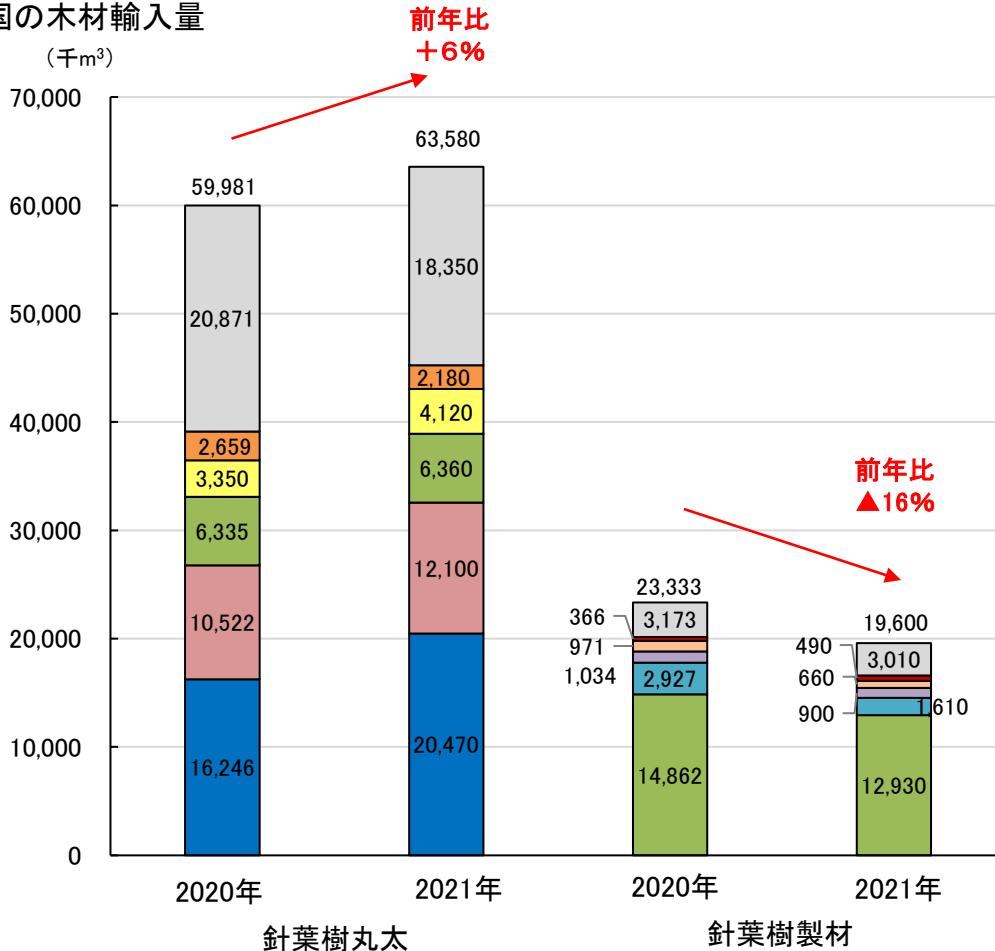
(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」

基礎的指標-6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

- 中国では、木材需要の増加が継続。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比+6%増の6,358万m³。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲16%減の1,960万m³。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急落したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量

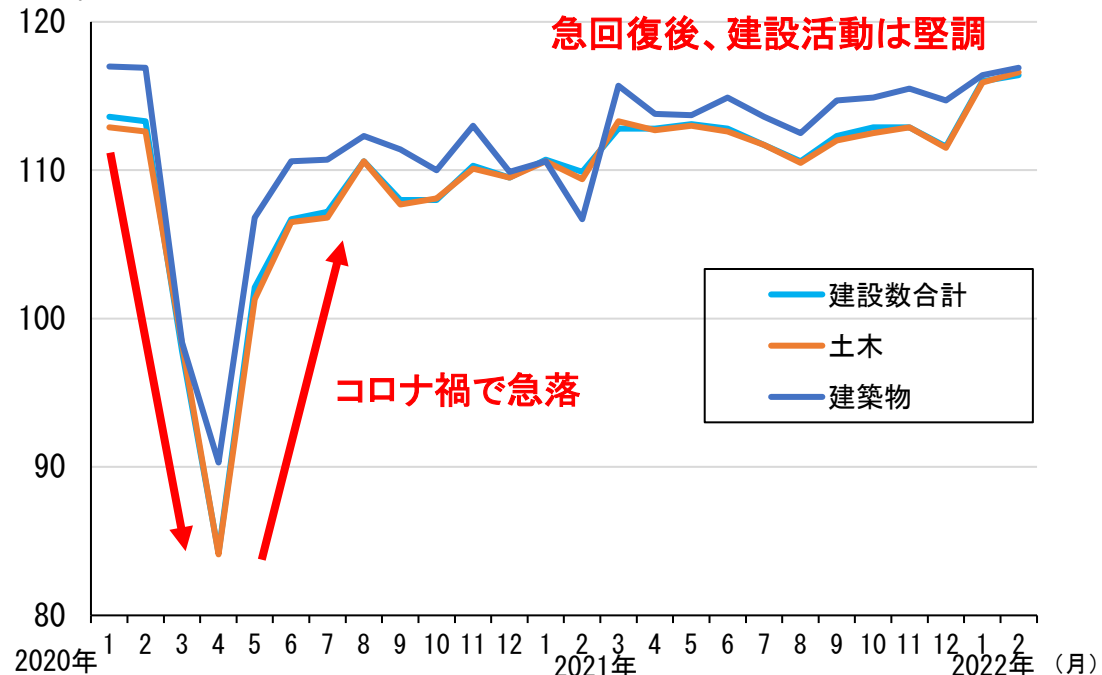
(千m³)



資料:ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))

○EUにおける建設活動水準 (2015年比)

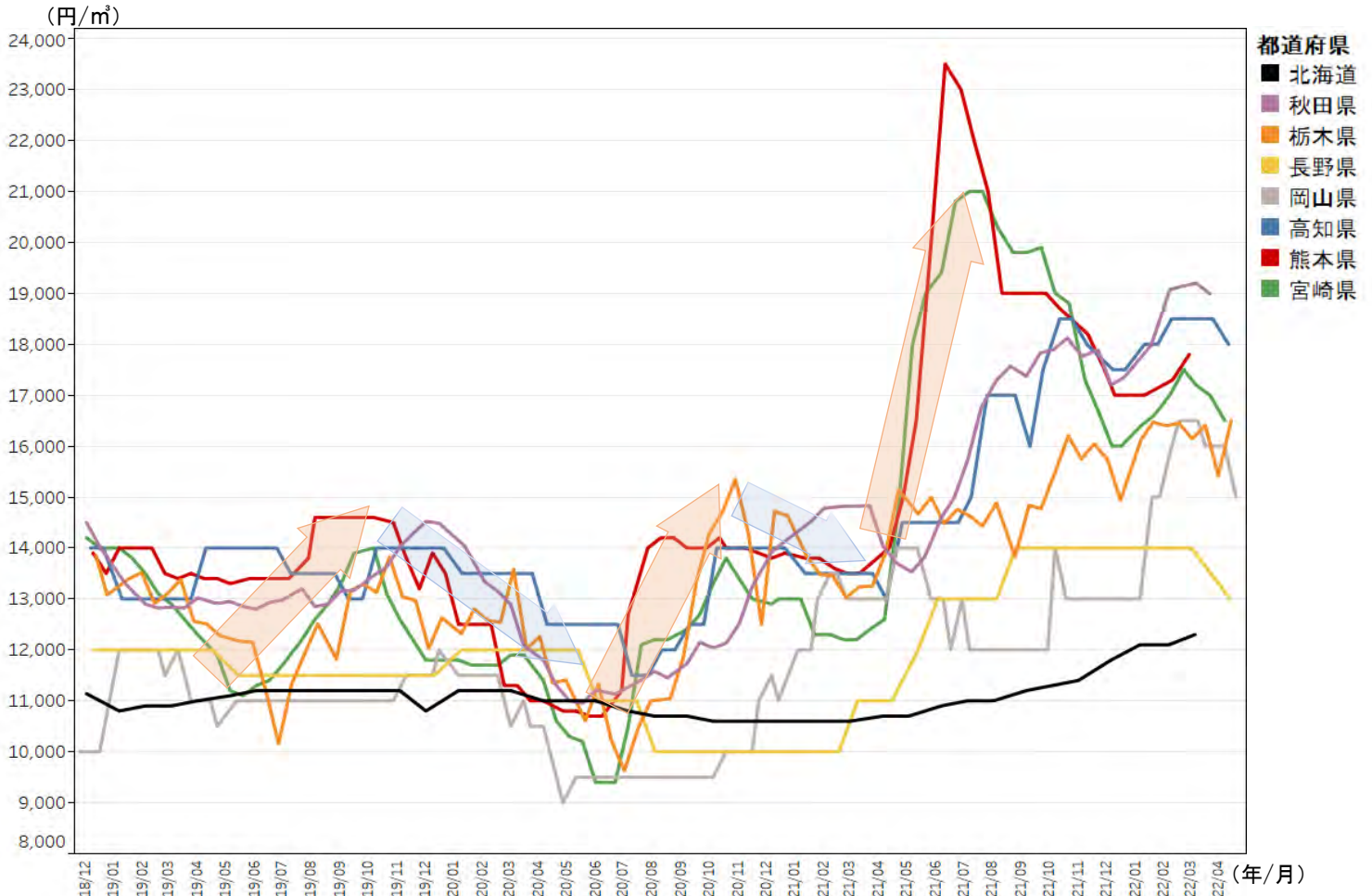
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、2021年に入ってから4月以降、価格が上昇。その後も高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比107%から139%となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65~4.0m（2018年12月～）。

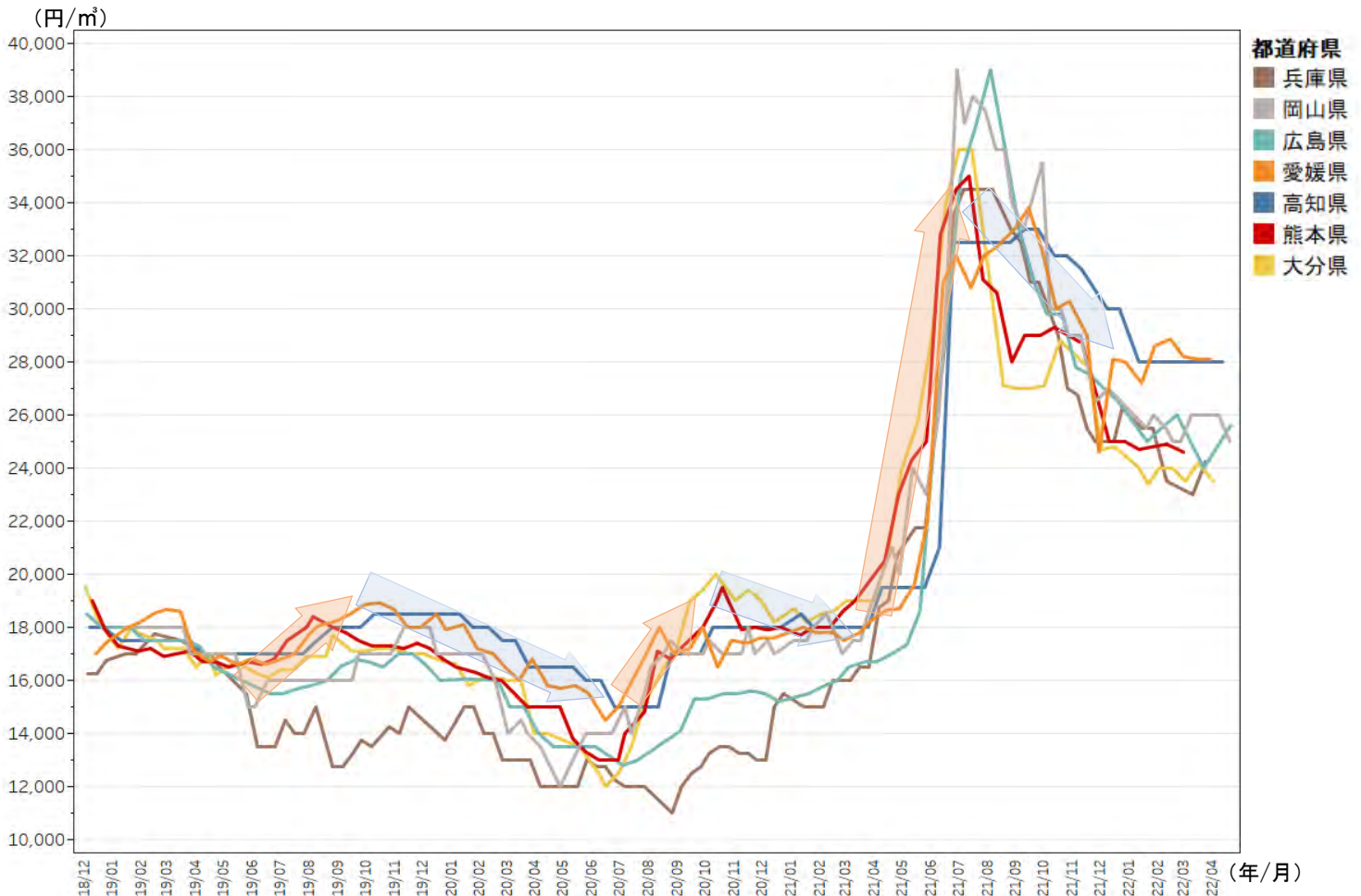
注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

都道府県	2022年直近*	前年同期	前年同期比
■ 北海道	12,300	10,600	116%
■ 秋田県	18,990	14,830	128%
■ 栃木県	16,510	13,900	119%
■ 長野県	13,000	11,000	118%
■ 岡山県	15,000	14,000	107%
■ 高知県	18,000	13,000	139%
■ 熊本県	17,800	13,500	132%
■ 宮崎県	16,500	12,600	131%

※熊本県については2月、北海道及び秋田県については3月、栃木県、長野県、岡山県、高知県及び宮崎県については4月の値を使用。

木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、2021年に入ってから4月以降、価格が大きく上昇。その後も、高い水準で推移。
- 直近のヒノキ原木価格は、前年同期比119%から161%となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
兵庫県	24,250	16,500	147%
岡山県	25,000	21,000	119%
広島県	25,600	17,000	151%
愛媛県	28,100	17,500	161%
高知県	28,000	19,500	144%
熊本県	24,600	18,600	132%
大分県	23,500	19,000	124%

※熊本県については2月、兵庫県及び愛媛県については3月、岡山県、広島県、高知県及び大分県については4月の値を使用。

- 輸入材の丸太及び製品価格は、北米における住宅着工戸数の増加、中国の木材需要拡大、世界的なコンテナ不足による運送コストの増大等により高騰した。
- 国産材の代替需要が発生し、国産材の丸太及び製品価格も上昇した。
- 直近では、一部の品目で値下がり傾向となる。

年次	月	丸太								製材品										合板	
		スギ		ヒノキ		カラマツ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		ミツガ		針葉樹合板			
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角(乾燥材)		正角		正角(乾燥材)		正角(防蟻処理材)		1.2×9.10cm	
		14-22cm 3.65-4m (円/㎡)	対前 年比 (%)	14-22cm 3.65-4m (円/㎡)	対前 年比 (%)	14-28cm 3.65-4m (円/㎡)	対前 年比 (%)	18cm上	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 4.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	1.82m (円/枚)	対前 年比 (%)
2019年	1	14,100	100	19,000	109	12,100	105	11,300	104	61,600	101	67,000	101	76,500	100	85,700	100			1,290	102
	2019年	13,500	99	18,100	98	12,400	105	11,300	103	61,900	101	66,700	100	76,900	100	85,900	100			1,290	100
	2020年	12,700	94	17,200	95	12,500	101	11,100	98	62,400	101	66,700	100	77,600	101	85,500	100			1,250	97
	2021年	16,100	127	25,900	151	13,200	106	12,000	108	68,200	111	73,600	110	81,200	109	91,300	106	109,600	138	1,360	109
	2019年	13,900	101	18,800	101	12,400	106	11,300	104	61,600	101	66,300	101	76,500	100	85,400	100			1,290	101
	2020年	13,000	96	18,500	96	12,800	107	11,400	102	62,700	102	67,500	101	78,000	102	87,000	102			1,310	102
	2021年	13,400	103	18,600	102	12,400	98	11,000	96	62,300	99	66,100	98	78,000	99	85,500	98	80,200	101	1,230	94
	2022年	17,400	130	28,200	152	14,600	118	15,100	137	66,400	102	70,800	106	83,700	108	107,100	124	95,100	119	1,270	100

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」
 注：1 「木材価格」における調査対象が2021年8月より変更になったことから、2021年7月及び8月のスギ及びヒノキ正角の数值は接続しない。
 2 「木材価格」における調査対象が2021年8月より変更になったことから、対前年同月比（2021年8月以降）、年平均価格（2021年）、対前年比（2021年）、第3四半期平均価格（2021年）及び対前年同期比（2021年第3四半期及び第4四半期）は算出できないため、「－」と表示している。
 3 2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。
 4 丸太価格のうち、製材用丸太価格は製材工場、合板用丸太価格は合板工場における工場着購入価格である。
 5 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
 6 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

木材価格、製品価格②

年次	月	構造用集成材						チップ							
		スギ集成管柱			ホホワイトウッド集成管柱			チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		国産、無化粧		対前年比 (%)	国産、無化粧		対前年比 (%)	針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		10.5角×2.98~3m JAS	(円/本)		10.5角×2.98~3m JAS	(円/本)		(円/m³)	対前年比 (%)	(円/m³)	対前年比 (%)	(円/t)	対前年比 (%)	(円/t)	対前年比 (%)
2019年	1						6,200	103	9,200	101	14,200	102	19,000	102	
	2						6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102	
	3						6,200	102	9,300	101	14,200	101	19,000	102	
	4						6,200	103	9,300	101	14,500	104	19,000	102	
	5						6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102	
	6						6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102	
	7						6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102	
	8						6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102	
	9						6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,000	101	
	10						6,400	103	9,500	103	14,700	104	19,300	103	
	11						6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102	
	12						6,500	105	9,500	102	14,800	103	19,300	102	
2020年	1	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	105	9,500	103	14,900	105	19,400	102	
	2	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102	
	3	63,492	2,100		60,469	2,000	6,500	105	9,400	101	14,900	105	19,400	102	
	4	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	105	9,500	102	14,900	103	19,400	102	
	5	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102	
	6	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102	
	7	63,492	2,100		60,469	2,000	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102	
	8	63,492	2,100		60,469	2,000	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102	
	9	63,492	2,100		60,469	2,000	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102	
	10	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	102	9,500	100	14,800	101	19,300	100	
	11	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99	
	12	60,469	2,000		57,445	1,900	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99	
2021年	1	63,492	2,100	105	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
	2	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	3	60,469	2,000	95	60,469	2,000	100	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
	4	63,492	2,100	105	66,515	2,200	110	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	5	66,515	2,200	110	72,562	2,400	120	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	6	72,562	2,400	120	84,656	2,800	140	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	7	75,586	2,500	119	96,750	3,200	160	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	8	90,703	3,000	143	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	9	96,750	3,200	152	142,101	4,700	235	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	10	105,820	3,500	175	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
	11	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	101
	12	111,867	3,700	185	154,195	5,100	268	6,700	103	9,500	100	14,600	99	19,400	101
2022年	1	111,867	3,700	176	157,218	5,200	274	6,700	103	9,500	100	15,000	101	19,400	100
	2	114,890	3,800	190	157,218	5,200	274	6,700	103	9,600	101	15,000	103	19,400	101
	3	111,867	3,700	185	154,195	5,100	255	6,800	105	9,600	101	15,100	103	19,400	101
	4	114,890	3,800	181	154,195	5,100	232	6,900	106	9,700	102	15,200	104	19,600	102
2019年							6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,100	102	
2020年		60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
2021年		81,633	2,700	135	102,797	3,400	170	6,600	102	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2019年	第1四半期						6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102	
	第2四半期						6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102	
	第3四半期						6,300	105	9,300	101	14,500	103	19,000	101	
	第4四半期						6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102	
2020年	第1四半期	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102	
	第2四半期	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102	
	第3四半期	63,492	2,100		60,469	2,000	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102	
	第4四半期	60,469	2,000		60,469	2,000	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99	
2021年	第1四半期	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	第2四半期	66,515	2,200	110	75,586	2,500	125	6,600	102	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	第3四半期	87,680	2,900	138	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	第4四半期	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2022年	第1四半期	111,867	3,700	185	157,218	5,200	274	6,700	103	9,600	101	15,000	102	19,400	101

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。
- 2 構造用集成材のm3当たりの価格は、1本を0.033075m3に換算して算出した。
- 3 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。(速報値は今後修正される可能性がある)

<参考>都道府県別データ ※農林水産省統計部による調査結果

○スギ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	10,500	10,500	10,500	10,500	11,600	11,600	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,800	11,700	11,800	12,600	13,000	13,400	13,800	13,800	14,100	14,400	14,800	15,100
宮城	11,300	11,500	11,700	11,900	12,100	12,700	12,700	12,300	12,400	12,400	13,400	14,100
秋田	11,100	11,400	11,500	11,500	11,600	11,700	11,900	12,800	13,100	13,600	13,500	13,500
山形	11,200	11,200	11,200	11,500	11,900	11,900	14,200	14,300	14,400	16,300	16,300	16,300
福島	12,800	12,100	12,100	11,400	12,600	12,700	13,000	12,400	13,000	13,000	13,600	14,200
栃木	13,800	13,800	13,800	13,800	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	15,000	15,000	16,100	16,100	16,600	16,600	16,600
静岡	13,600	13,600	13,800	14,100	14,700	16,100	17,200	17,500	17,900	17,900	18,300	18,000
三重	12,700	12,500	12,900	13,300	14,300	15,300	15,800	16,100	17,100	17,100	17,200	17,200
奈良	11,600	12,600	12,600	13,100	13,200	15,200	15,200	15,200	15,200	15,300	15,300	15,300
岡山	11,100	11,500	12,100	13,200	13,200	13,700	14,300	14,300	13,900	13,900	13,900	14,300
徳島	14,500	14,500	14,500	14,800	14,800	16,600	16,600	17,200	17,200	17,600	17,600	17,600
愛媛	15,900	15,900	15,400	15,900	15,900	18,100	19,900	20,000	20,000	19,900	19,800	18,600
佐賀	13,800	14,100	14,100	14,600	15,400	17,600	23,100	23,100	21,400	19,800	19,200	17,600
熊本	14,900	14,900	14,900	14,900	18,300	21,900	18,000	21,800	21,700	21,700	21,400	21,000
大分	15,000	14,400	14,400	14,900	16,000	20,700	21,800	19,900	18,700	18,300	18,500	18,800
宮崎	14,000	13,600	13,700	13,800	17,400	19,800	20,600	20,500	20,900	20,600	18,700	17,900
鹿児島	13,900	13,600	13,400	13,900	18,700	21,200	22,200	22,200	21,500	21,500	21,000	19,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
青森	12,100	12,100	14,300	14,400
岩手	15,400	16,100	16,400	16,700
宮城	15,400	15,600	16,200	17,000
秋田	13,500	14,600	14,700	14,900
山形	17,100	17,200	17,200	18,100
福島	14,600	14,600	14,600	13,400
栃木	16,500	16,500	16,500	16,500
岐阜	16,600	16,600	16,600	17,700
静岡	18,200	18,500	18,800	18,900
三重	17,100	17,300	17,400	18,100
奈良	16,800	16,800	16,800	17,900
岡山	13,800	13,800	13,800	13,800
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600
愛媛	18,600	20,800	22,900	23,000
佐賀	17,000	17,000	17,600	17,600
熊本	19,400	21,400	21,400	19,000
大分	18,800	19,500	18,600	17,800
宮崎	17,200	17,800	18,000	17,700
鹿児島	18,800	18,300	18,300	18,300

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	22,900	20,500	20,800	26,000	30,200	30,600	30,900	30,900	31,300	33,000	34,800	35,800
茨城	21,200	20,400	20,400	21,700	25,600	26,100	26,500	26,500	27,300	29,000	29,600	29,600
栃木	20,100	20,100	20,000	20,300	24,700	28,900	28,900	28,800	28,800	28,900	29,100	30,100
岐阜	17,700	17,700	18,100	17,700	18,400	27,000	27,900	30,800	31,200	31,700	32,600	29,100
静岡	20,000	19,900	20,300	21,000	21,600	27,000	31,500	36,700	38,600	40,800	40,300	39,300
三重	13,700	13,900	14,100	14,500	15,800	20,600	21,800	25,200	26,500	27,200	25,500	24,800
兵庫	20,700	20,700	22,900	24,000	24,100	30,700	35,500	33,100	32,900	32,900	33,000	33,000
奈良	14,700	15,800	15,800	16,400	16,400	20,000	20,000	22,000	27,000	30,000	30,000	28,800
和歌山	15,900	15,900	15,900	16,800	19,600	21,600	21,600	21,900	21,900	27,000	27,700	27,700
岡山	21,400	21,500	21,700	22,600	23,500	24,500	31,700	30,800	30,600	30,100	29,600	27,200
愛媛	21,100	21,100	21,100	21,900	22,400	26,100	39,100	42,700	44,300	45,700	39,700	31,400
高知	17,500	19,100	19,000	19,100	20,400	21,900	26,200	33,800	31,600	31,300	32,700	28,800
熊本	20,800	21,100	21,100	21,900	27,300	33,500	37,500	36,700	33,000	33,600	35,700	28,700
大分	12,100	14,300	15,300	17,200	17,900	24,400	29,200	30,800	30,600	29,200	28,900	28,600
宮崎	19,300	19,100	18,600	19,800	22,000	27,500	31,900	37,300	34,100	34,100	33,200	32,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
福島	35,500	34,900	34,400	32,800
茨城	29,400	28,300	28,000	28,000
栃木	31,100	31,000	30,000	29,700
岐阜	30,500	28,900	28,900	28,900
静岡	33,300	31,000	29,400	29,400
三重	25,600	26,900	27,000	27,200
兵庫	33,000	32,900	30,700	30,600
奈良	29,900	29,900	30,000	28,900
和歌山	25,900	25,900	25,900	25,900
岡山	22,300	22,000	26,200	27,900
広島	35,900	28,900	28,600	28,200
愛媛	30,100	29,000	28,200	27,200
高知	29,900	29,100	27,200	27,400
熊本	30,300	27,600	27,500	27,100
大分	27,300	25,100	23,400	19,800
宮崎	31,200	30,100	27,500	25,300

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「X」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	11,900	12,000	11,900	11,900	11,900	12,500	12,700	12,800	13,100	13,200	13,300	13,300
岩手	17,600	17,600	17,600	17,700	18,300	18,800	20,100	20,100	20,800	20,900	21,000	21,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,900	10,600	11,300	11,700	12,400
宮城	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900	11,100	11,100	11,100	11,600	11,900	13,300	14,400
秋田	10,300	10,300	10,300	10,600	10,500	10,600	10,600	11,200	11,400	11,500	12,900	13,300
島根	11,900	12,700	12,800	12,800	12,900	13,000	13,200	13,800	14,300	14,800	14,900	14,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900
島根	14,300	14,900	15,000	15,300

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	52,900	52,900	52,900	66,800	72,000	98,700	98,700	98,700	98,700	98,700	98,500	88,000
東京	x	x	x	x	66,000	66,000	66,000	61,200	61,200	61,200	61,200	61,200
大阪	55,000	55,000	58,100	61,900	65,000	80,500	92,900	105,800	105,800	105,800	105,800	105,800
福岡	38,900	38,900	38,900	41,800	44,000	53,600	56,900	57,200	57,200	59,300	58,600	58,600

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
千葉	/		88,000
東京			58,800
大阪			103,100
福岡			58,600

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は7月。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	60,900	61,000	64,100	86,000	97,800	132,500	137,600	138,800	143,200	143,000	142,700	142,300
千葉	69,100	69,400	70,100	86,300	99,000	125,500	147,100	152,300	153,100	153,100	146,900	142,900
東京	71,400	71,400	71,400	71,500	85,900	115,400	142,600	142,900	148,300	148,300	148,300	148,300
神奈川	66,300	68,100	68,500	77,400	79,400	111,200	131,700	152,000	153,000	153,100	153,100	153,100
愛知	71,300	71,300	71,300	80,700	89,100	107,500	121,800	121,800	121,800	121,800	121,600	116,100
大阪	70,600	70,600	70,900	76,800	82,500	99,000	111,200	111,200	111,200	112,500	112,500	112,500
兵庫	70,200	70,200	71,500	79,300	91,500	113,300	128,000	142,700	142,700	142,700	142,700	142,700
福岡	62,000	62,000	62,000	67,400	77,800	93,100	103,900	112,900	113,600	120,400	120,400	120,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800
東京	148,900	148,900	148,900	148,900
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉県	71,900	71,900	71,900	73,900	84,800	86,000	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200
東京都	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
愛知県	85,400	85,400	85,400	86,700	88,000	92,500	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100
大阪府	62,400	62,400	71,300	67,900	72,000	83,200	108,700	118,200	145,700	129,000	129,000	125,800
兵庫県	66,800	66,800	67,200	69,500	76,400	79,600	87,400	99,300	120,700	120,400	120,400	116,100
福岡県	50,300	50,300	50,300	50,300	55,800	66,000	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
千葉県			98,200
東京都			x
愛知県			94,800
大阪府			119,700
兵庫県			116,300
福岡県			82,500

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は7月。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	78,200	78,200	79,000	91,400	100,900	138,900	147,000	148,000	164,300	168,700	167,900	160,200
千葉県	94,000	94,000	95,800	105,500	114,200	131,500	149,300	161,300	161,300	165,900	163,800	164,900
東京都	98,900	98,900	98,900	98,900	104,500	121,000	142,900	143,100	159,500	175,800	175,800	175,800
神奈川県	78,700	79,000	84,100	94,800	110,500	146,200	178,800	184,700	186,300	187,400	187,400	187,400
愛知県	94,700	94,700	94,700	97,500	102,900	113,500	128,100	129,400	142,400	142,900	165,700	161,900
大阪府	80,100	80,100	82,800	90,600	98,000	128,900	169,100	192,900	193,800	193,800	193,800	181,100
兵庫県	78,900	78,900	79,700	88,600	101,800	113,800	152,600	179,600	188,800	188,400	188,400	180,800

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
埼玉県	145,600	142,500	142,500	142,500
千葉県	171,400	169,100	169,100	164,800
東京都	175,500	175,400	175,400	175,500
神奈川県	187,400	185,300	185,300	185,300
愛知県	159,400	159,400	151,900	149,700
大阪府	176,400	169,900	163,600	162,600
兵庫県	184,800	178,400	173,900	168,100

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	78,900	78,900	79,900	85,600	98,600	104,600	116,100	129,300	139,300	139,300	141,300	141,300
千葉県	78,200	78,500	78,500	85,600	91,900	100,300	119,100	129,800	139,400	139,400	139,400	138,500
神奈川県	81,000	82,000	84,500	86,500	95,700	105,600	117,700	133,300	137,400	139,700	139,700	142,200
愛知県	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	145,500	136,900
大阪府	79,200	79,200	84,200	93,500	96,200	104,500	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000
兵庫県	79,200	79,200	80,500	88,000	93,500	103,300	107,700	114,300	121,000	121,000	121,000	121,000

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
北海道			135,700
埼玉県			144,700
千葉県			139,800
東京都			154,400
神奈川県			142,200
愛知県			158,300
大阪府			121,000
兵庫県			138,500

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は7月。

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2021年

単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	1,180	1,180	1,190	1,190	1,260	1,320	1,360	1,390	1,510	1,520	1,590	1,760
東京都	1,360	1,360	1,360	1,360	1,390	1,410	1,440	1,460	1,510	1,580	1,640	1,760
大阪府	1,030	1,030	1,030	1,030	1,060	1,060	1,110	1,150	1,170	1,290	1,330	1,660

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉県			2,220
東京都			2,140
大阪府			1,840

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は7月。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材及び針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円／本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
宮崎	1,800	1,900	1,900	2,000	2,200	2,700	2,900	3,000	3,200	3,800	4,400	4,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
秋田	x	4,700	4,400	4,400
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円／本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	2,000	2,000	2,100	2,300	2,300	2,800	2,900	3,500	4,400	5,100	5,100	5,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2021年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	7,000
青森	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
秋田	6,600	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,700	6,900	6,700	6,500	6,200	6,000	6,100	6,100	6,200	5,900	6,100	5,900
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,700	5,700	5,700	5,900	6,400	6,500
長野	6,000	6,000	6,000	6,000	6,100	6,200	6,400	6,400	6,400	6,400	6,500	6,800
京都	7,900	8,000	8,000	8,000	8,100	8,300	8,300	8,400	8,400	8,600	8,600	8,600
兵庫	6,300	6,300	6,800	6,800	6,300	6,400	6,500	6,500	6,500	6,600	6,600	6,600
島根	9,200	8,000	9,200	9,300	9,700	9,700	9,700	9,500	9,900	9,600	9,900	9,200
広島	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
高知	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,800	5,900	5,600	5,500	5,400	5,300	5,500
熊本	6,200	6,800	6,400	6,300	6,600	6,300	6,600	6,400	7,200	6,500	6,600	6,900
宮崎	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,000	7,900	7,800	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

単位：円/m³

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100
青森	6,500	6,500	6,500	6,800
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100
長野	6,800	6,700	6,700	6,700
京都	8,600	8,600	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600
島根	9,700	9,200	9,200	9,700
広島	5,000	5,000	5,000	5,600
高知	5,400	5,600	5,500	5,700
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700

○チップ用丸太（広葉樹）

・2021年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
青森	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
岩手	10,700	10,700	10,500	10,600	10,700	10,700	10,700	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	8,900	8,800	8,900	8,900	8,900	8,800	8,900	8,800	8,800	8,800	8,900
山梨	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	6,200	6,400	6,500
島根	10,600	10,400	10,500	10,500	10,700	10,600	10,500	10,400	10,400	10,300	10,200	10,400
広島	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
熊本	8,000	8,400	8,300	8,300	8,600	8,800	8,700	8,600	8,700	8,300	8,500	8,300
宮崎	8,600	8,300	8,600	8,400	8,400	8,400	8,500	8,600	8,500	8,400	8,400	8,200
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

単位：円/m³

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700
青森	11,600	11,600	11,600	11,900
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000
山形	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500
島根	10,500	10,300	10,400	10,600
広島	6,000	6,100	6,100	6,100
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○木材チップ（針葉樹）

・2021年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,700	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
青森	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
岩手	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800
宮城	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
秋田	16,100	15,900	16,000	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,200	16,200	15,900	15,900
福島	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,100
茨城	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	24,600	22,400	20,900	20,900	20,900
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	18,100	18,100	19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
兵庫	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100
岡山	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
広島	13,400	11,500	11,400	11,500	11,500	11,600	11,600	11,600	11,700	11,700	11,600	11,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,100	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900
青森	15,600	15,600	15,600	16,200
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500
福島	18,100	18,100	18,100	18,100
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	19,200	19,500	19,700	19,700
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000
広島	15,300	15,300	15,600	15,600
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000

○木材チップ（広葉樹）

・2021年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400
青森	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500
岩手	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,700	20,700	20,700	20,300	20,300
福島	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	16,000	16,000
島根	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
広島	20,800	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
熊本	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
宮崎	19,700	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700
青森	18,500	18,500	18,500	18,800
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600
島根	20,800	20,800	20,800	21,700
広島	19,700	19,800	19,800	19,700
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「X」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

- 木材の総需要量は、74,439千m³で前年に比べ7,466千m³（9.1%）減少。用材は、61,392千m³で前年に比べ9,877千m³（13.9%）減少。しいたけ原木も242千m³で前年に比べ9千m³（3.6%）減少。燃料材は、12,805千m³で前年に比べ2,419千m³（23.3%）増加。
- 国内消費量は、71,430千m³で前年に比べ7,760千m³（9.8%）減少。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の2,418千m³（23.3%）であり、その他は減少。
- 輸出量は、3,009千m³で前年に比べ294千m³（10.8%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、丸太の254千m³（22.5%）、製材品の39千m³（16.5%）、木材パルプ・チップ等（用材）の18千m³（1.6%）、燃料材の1千m³（25.0%）。

木 材 需 要 の 動 向

区 分		令和2年		令和元年		対前年 増減量 (千m ³)	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千m ³)	構成比 (%)	数量 (千m ³)	構成比 (%)			
総 需 要 量	用 材	製材用材	24,597	33.0	27,619	33.7	△ 3,022	△ 10.9
		パルプ・チップ用材	26,064	35.0	31,579	38.6	△ 5,515	△ 17.5
		合板用材	8,919	12.0	10,474	12.8	△ 1,555	△ 14.8
		その他用材	1,812	2.4	1,597	1.9	215	13.5
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3	
	計	74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1	
国 内 消 費	用 材	製材用材	24,321	34.0	27,383	34.6	△ 3,062	△ 11.2
		パルプ・チップ用材	24,900	34.9	30,433	38.4	△ 5,533	△ 18.2
		合板用材	8,741	12.2	10,280	13.0	△ 1,539	△ 15.0
		その他用材	426	0.6	462	0.6	△ 36	△ 7.8
		小計	58,387	81.7	68,558	86.6	△ 10,171	△ 14.8
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,800	17.9	10,382	13.1	2,418	23.3	
	計	71,430	100.0	79,190	100.0	△ 7,760	△ 9.8	
輸 出	用 材	丸太	1,384	46.0	1,130	41.6	254	22.5
		製材品等	275	9.2	236	8.7	39	16.5
		木材パルプ・チップ等	1,164	38.7	1,146	42.2	18	1.6
		合板等	179	5.9	194	7.2	△ 15	△ 7.7
		その他	3	0.1	4	0.2	△ 1	△ 25.0
	小計	3,005	99.8	2,711	99.8	294	10.8	
	燃料材	5	0.2	4	0.2	1	25.0	
	計	3,009	100.0	2,715	100.0	294	10.8	

資料：林野庁「木材需給表」

注：1) 燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2) 輸出の用材の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

3) 輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 令和2年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」（輸出は「製材品等」）に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」（輸出は「木材パルプ・チップ等」）に計上することとした。なお、比較のため令和元年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」（輸出は「その他」に計上））。

- 木材の総供給量は、74,439千m³で前年に比べ7,466千m³（9.1%）減少。用材は61,392千m³となり、前年に比べ9,877千m³（13.9%）減少。しいたけ原木も242千m³で前年に比べ9千m³（3.6%）減少。燃料材は12,805千m³となり、前年に比べ2,419千m³（23.3%）増加。
- 国内生産量は、31,149千m³で前年に比べ161千m³（0.5%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の1,995千m³（28.8%）であり、その他は減少。
- 輸入量は、43,290千m³で前年に比べ7,627千m³（15.0%）減少。この中で、前年に比べ増加量が最も大きかったものは燃料材の424千m³（12.3%）。

木 材 供 給 の 動 向

区 分			令和2年		令和元年		対前年 増減量 (千m ³)	対前年 増減率 (%)	
			数量 (千m ³)	構成比 (%)	数量 (千m ³)	構成比 (%)			
総供給量	用材	丸太	25,180	33.8	27,804	33.9	△ 2,624	△ 9.4	
		林地残材	106	0.1	119	0.1	△ 13	△ 10.9	
		輸入木材製品	36,106	48.5	43,346	52.9	△ 7,240	△ 16.7	
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9	
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6		
	燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3		
	計	74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1		
国内生産	用材	丸太	21,874	70.2	23,686	76.4	△ 1,812	△ 7.7	
		林地残材	106	0.3	119	0.4	△ 13	△ 10.9	
		小計	21,980	70.6	23,805	76.8	△ 1,825	△ 7.7	
	しいたけ原木	242	0.8	251	0.8	△ 9	△ 3.6		
	燃料材	8,927	28.7	6,932	22.4	1,995	28.8		
計	31,149	100.0	30,988	100.0	161	0.5			
輸 入	用材	木材製品	丸太	3,306	7.6	4,118	8.1	△ 812	△ 19.7
			製材品等	10,121	23.4	11,345	22.3	△ 1,224	△ 10.8
			木材パルプ	4,997	11.5	5,580	11.0	△ 583	△ 10.4
			木材チップ等	16,646	38.5	21,347	41.9	△ 4,701	△ 22.0
			合板等	4,293	9.9	5,026	9.9	△ 733	△ 14.6
		その他	49	0.1	47	0.1	2	4.3	
	小計	36,106	83.4	43,346	85.1	△ 7,240	△ 16.7		
	燃料材	3,878	9.0	3,454	6.8	424	12.3		
計	43,290	100.0	50,917	100.0	△ 7,627	△ 15.0			

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

4）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 令和2年から、輸入の「木材製品」について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材品等」に、再生木材の数量は「木材チップ等」に計上することとした。なお、比較のため令和元年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他」に計上）。

- 用材の自給率は、35.8%で前年に比べて2.4ポイント上昇し、平成23年から10年連続の上昇。
- 用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、41.8%で前年に比べて4.0ポイント上昇し、平成23年から10年連続の上昇。昭和47年の42.7%以来、48年ぶりに40%台に回復。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量 ÷ 総需要量（※） × 100

※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

木 材 自 給 率 の 動 向

区 分		令和2年	令和元年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千m ³)	数量 (千m ³)			
建築用材等	国内生産	15,810	17,620	△ 1,810	△ 10.3	
	輸 入	17,706	20,473	△ 2,767	△ 13.5	
	総 需 要 量	33,516	38,093	△ 4,577	△ 12.0	
	自 給 率	47.2%	46.3%	0.9ポイント		
用材	製材用材	国内生産	11,615	12,875	△ 1,260	△ 9.8
		輸 入	12,982	14,744	△ 1,762	△ 12.0
		総 需 要 量	24,597	27,619	△ 3,022	△ 10.9
		自 給 率	47.2%	46.6%	0.6ポイント	
	合板用材	国内生産	4,195	4,745	△ 550	△ 11.6
		輸 入	4,724	5,729	△ 1,005	△ 17.5
		総 需 要 量	8,919	10,474	△ 1,555	△ 14.8
		自 給 率	47.0%	45.3%	1.7ポイント	
非建築用材等	国内生産	15,339	13,368	1,971	14.7	
	輸 入	25,584	30,444	△ 4,860	△ 16.0	
	総 需 要 量	40,923	43,812	△ 2,889	△ 6.6	
	自 給 率	37.5%	30.5%	7.0ポイント		
用材	パルプ・チップ用材	国内生産	4,420	4,651	△ 231	△ 5.0
		輸 入	21,644	26,927	△ 5,283	△ 19.6
		総 需 要 量	26,064	31,579	△ 5,515	△ 17.5
		自 給 率	17.0%	14.7%	2.3ポイント	
	その他用材	国内生産	1,750	1,534	216	14.1
		輸 入	62	63	△ 1	△ 1.6
		総 需 要 量	1,812	1,597	215	13.5
		自 給 率	96.6%	96.0%	0.6ポイント	
しいたけ原木	国内生産	242	251	△ 9	△ 3.6	
	輸 入	-	-	-	-	
	総 需 要 量	242	251	△ 9	△ 3.6	
	自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポイント		
燃料材	国内生産	8,927	6,932	1,995	28.8	
	輸 入	3,878	3,454	424	12.3	
	総 需 要 量	12,805	10,386	2,419	23.3	
	自 給 率	69.7%	66.7%	3.0ポイント		
総 数	国内生産	31,149	30,988	161	0.5	
	輸 入	43,290	50,917	△ 7,627	△ 15.0	
	総 需 要 量	74,439	81,905	△ 7,466	△ 9.1	
	自 給 率	41.8%	37.8%	4.0ポイント		
うち 用材の計	国内生産	21,980	23,805	△ 1,825	△ 7.7	
	輸 入	39,412	47,464	△ 8,052	△ 17.0	
	総 需 要 量	61,392	71,269	△ 9,877	△ 13.9	
	自 給 率	35.8%	33.4%	2.4ポイント		

資料：林野庁「木材需給表」

注）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 令和2年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」に計上することとした。なお、比較のため令和元年の数値についても同様に再集計を行った（従来は「その他用材」に計上）。

局	概況	主な地区の原木価格・出荷量の動向					
		樹種	価格 (円/m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・カラマツは、梱包材、ラミナ、パレット等の需要が旺盛な状況であるが、工場の生産能力や原木の在庫状況から全ての需要には応じ切れていない状況が続いている。市況は、強保合～強気配。 ・トマツ原木はカラマツの代用として使われていることから、引き合いが強い状況が続いている。 ・民有林では、4月以降徐々に植付け等の造林作業にシフトしていく事業者が多いため、出材量が減少するため、工場の在庫確保が厳しくなることが予想される。 ・4月期の国有林材の素材委託販売におけるトマツの単価は高値を維持しており、カラマツ単価は、更に上昇している。 	原木価格	カラマツ(北海道) (14~28cm)	14,000	101%	118%	115%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(北海道)	182	135%	138%	112%
			製品出荷量(北海道)	72	107%	126%	150%
東北	<ul style="list-style-type: none"> ・スギ原木は、集成材工場や合板工場が在庫の確保を進めている中で一般材、合板材とも引き合いが強く、価格は高値のまま保合で推移している。構造材、羽柄材などの製材品は全般的に当用買いことどまっておき、先行きの不透明感が続いている中で荷動きは停滞気味だが、原木価格が高値になっていることから製材価格は保合～強含みで推移している。 ・スギ合板は、需要に対する供給不足感が継続しており、製品価格も上がり続けている。原木在庫の確保は進んでいるが、スギ合板材の引き合いは依然として強い傾向にあり、価格も高値のまま保合～強含みで推移している。 ・カラマツは、ロシア産品の先行きが不透明なこともあり、合板用、製材用とも引き合いが強い状況が続いており、価格も高値で推移している。 ・広葉樹は、一般材の出材量はおよそ昨年並みで推移している。単価は落ち着いてきているものの、特にナラ、クリ、サクラ及びオニグルミについては依然として引き合いの強い状況が続いている。 ・低質材は、バイオマス向けの需要は安定しており、価格も横ばいで推移している。また、製紙用については需要は増加傾向にあるが、広葉樹低質材の出材量が少ない状況が続いており、在庫が少ない状況が続いている。 	原木価格	スギ(秋田県) (14~22cm)	14,900	101%	130%	133%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(秋田県)	43	134%	86%	93%
			製品出荷量(秋田県)	17	131%	94%	89%
関東	<ul style="list-style-type: none"> ・年明けから下がっていたスギ材、ヒノキ材の価格は、製材工場が4月からの仕事に向けた原木手当を進めた影響で、4月に入り横ばいとなっている。 ・カラマツ材については、東北地方からの引き合いが強く、製材用、合板用ともに価格が上昇している。 ・輸入材については、為替相場や船運賃の値上げによるコスト上昇や、ウクライナ情勢から供給が不透明なところがあり、需給動向を注視していく必要がある。 	原木価格	スギ(栃木県) (14~22cm)	16,500	100%	120%	136%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(栃木県)	39	83%	87%	75%
			製品出荷量(栃木県)	25	109%	96%	104%
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・原木価格は、ヒノキで若干値を下げているが高水準を維持。スギは、合板用材の需要増加の影響から、高値での取引となっている。カラマツはロシア産単板の輸入禁止により、その代替えとしてカラマツを求めている影響から高値での取引となっている。 ・製品価格はスギで高値安定。ヒノキは若干下げ傾向。 ・カラマツ原木の需要増は続いており、特に合板需要が高い。カラマツは集成材への需要も高いため今後の価格動向を注視。 	原木価格	スギ(岐阜県) (14~22cm)	17,700	107%	133%	140%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(岐阜県)	25	109%	132%	114%
			製品出荷量(岐阜県)	14	117%	100%	127%
近畿中国	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸・京滋ブロック(石川、福井、滋賀、京都、大阪) スギ、ヒノキの丸太価格は前月の水準を維持している。 ・紀伊ブロック(三重、奈良、和歌山) スギ、ヒノキの丸太価格は前月の水準を維持している。 ・瀬戸内ブロック(兵庫、岡山、広島、山口) スギ、ヒノキの丸太価格は前月の水準を維持している。 ・山陰ブロック(鳥取、島根) スギ、ヒノキの丸太価格は前月の水準を維持している。 ・製品の市況動向について、スギの製品価格は北陸・京滋、紀伊ブロックでは集成材が高値となったが、それ以外は前月の水準を維持している。瀬戸内、山陰ブロックでは前月の水準を維持している。ヒノキについては全体的に前月の水準を維持している。 	原木価格	スギ(岡山県) (14~22cm)	13,800	100%	105%	125%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(岡山県)	25	100%	93%	100%
			製品出荷量(岡山県)	13	100%	87%	108%
四国	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、スギは引き合いも強く高値を維持している。ヒノキは出材の増加に伴う下落傾向が続いているが横ばいで推移している市場もある。 	原木価格	スギ(愛媛県) (14~22cm)	23,000	100%	145%	181%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(高知県)	28	88%	97%	85%
			製品出荷量(高知県)	19	112%	100%	112%
九州	<ul style="list-style-type: none"> ・九州の木材需給動向については、4月に入り原木の供給量は徐々に回復傾向にはあるが、虫害発生が例年より早く、特にヒノキの出材量が少ない。相場は、スギが横ばい、ヒノキは様子見の状況。 ・原木市場でのスギ取引価格は3m柱適材で2万円/m前後、4m中目材は1.6万円/m前後と安定している。一方、ヒノキについては4m土台用、柱材用ともに製品荷動きが鈍く下げ傾向にあるが、出材量が少なくなった影響もあり、ヒノキ価格の強い熊本県の市場では4m土台適材が2.5万円/m(前月比400円高)となった。 ・合板用材としての需要については、ロシアへの経済制裁等の動向が見通せない中であるが、大きな影響もなく原木も順調に入荷していて、製品販売も順調。製品価格は、接着剤等のコスト高騰により上昇している。 	原木価格	スギ(※)	18,267	100%	139%	159%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量	374	106%	110%	107%
			製品出荷量	188	112%	99%	109%

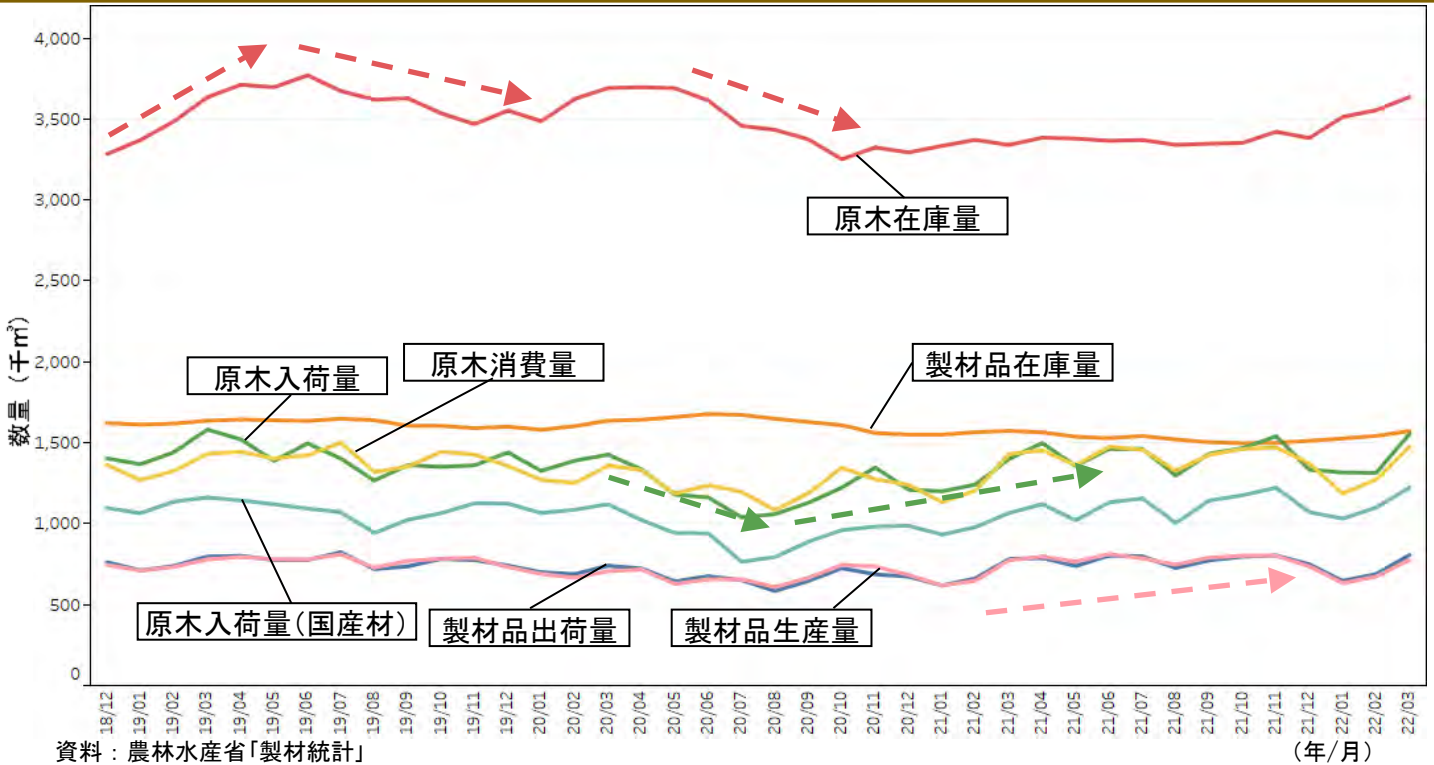
資料：農林水産省「木材価格」「製材統計」

※1 九州地区のスギ及びヒノキの原木価格は、九州管内6市場の3m16~18cm直材及び4m18~22cm直材の平均単価。

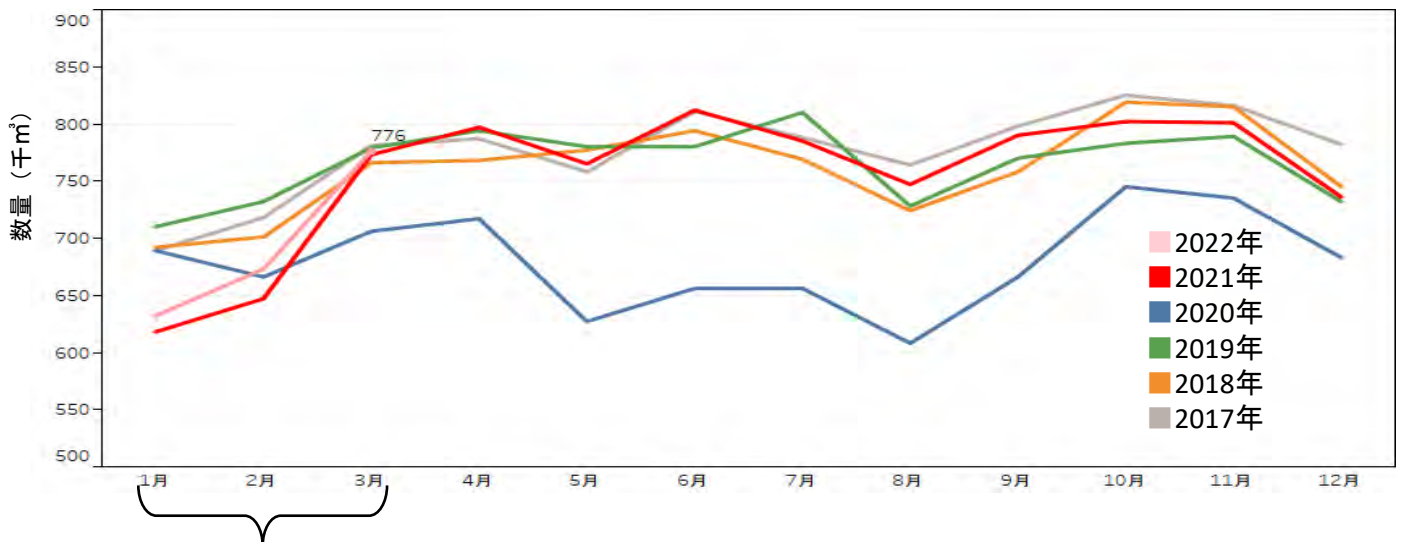
※2 九州地区の素材入荷量及び製品出荷量は、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の合計。

木材需給情報-3 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2022年1～3月の原木の入荷量は4,185千 m^3 （2019年比95%）。
- 同様に製材品の出荷量は2,081千 m^3 （2019年比94%）、コロナ禍前の水準以下となっている。



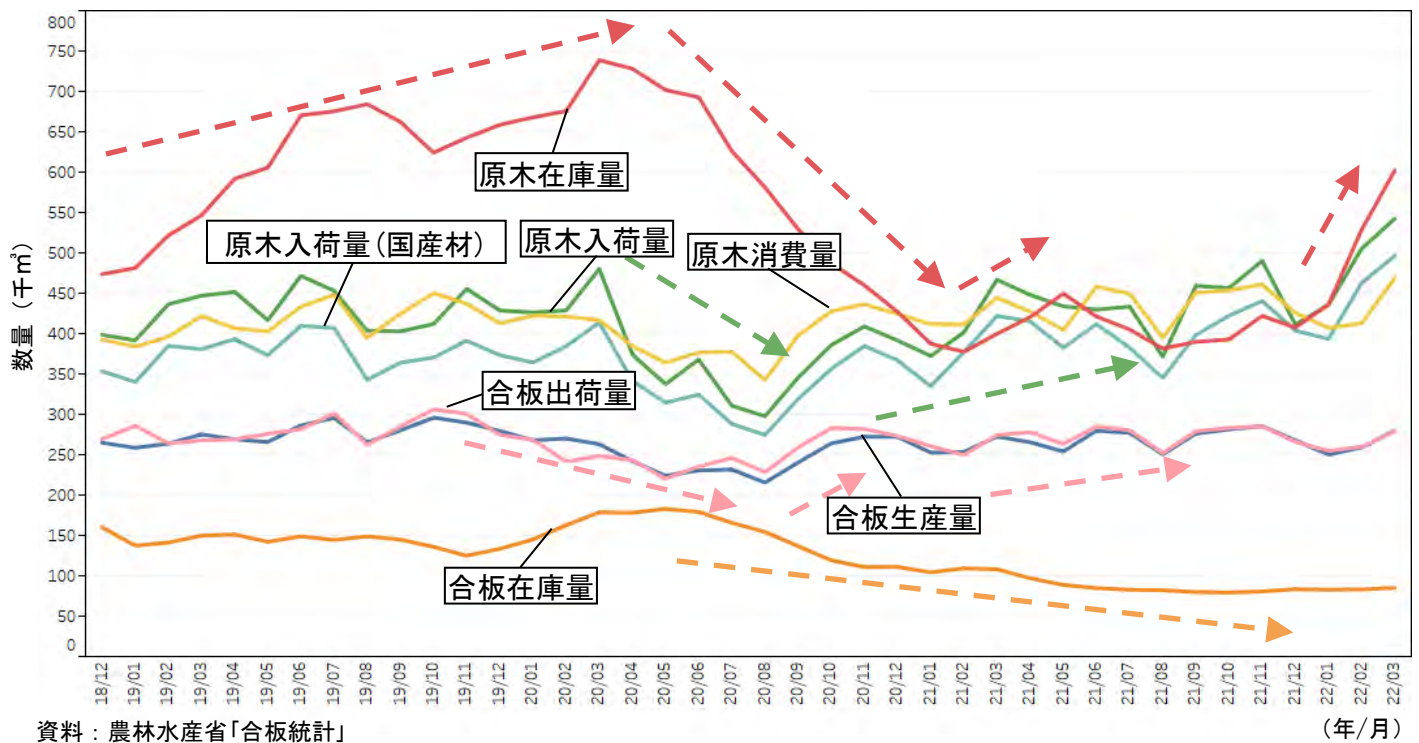
○製材品出荷量の月別推移（全国）



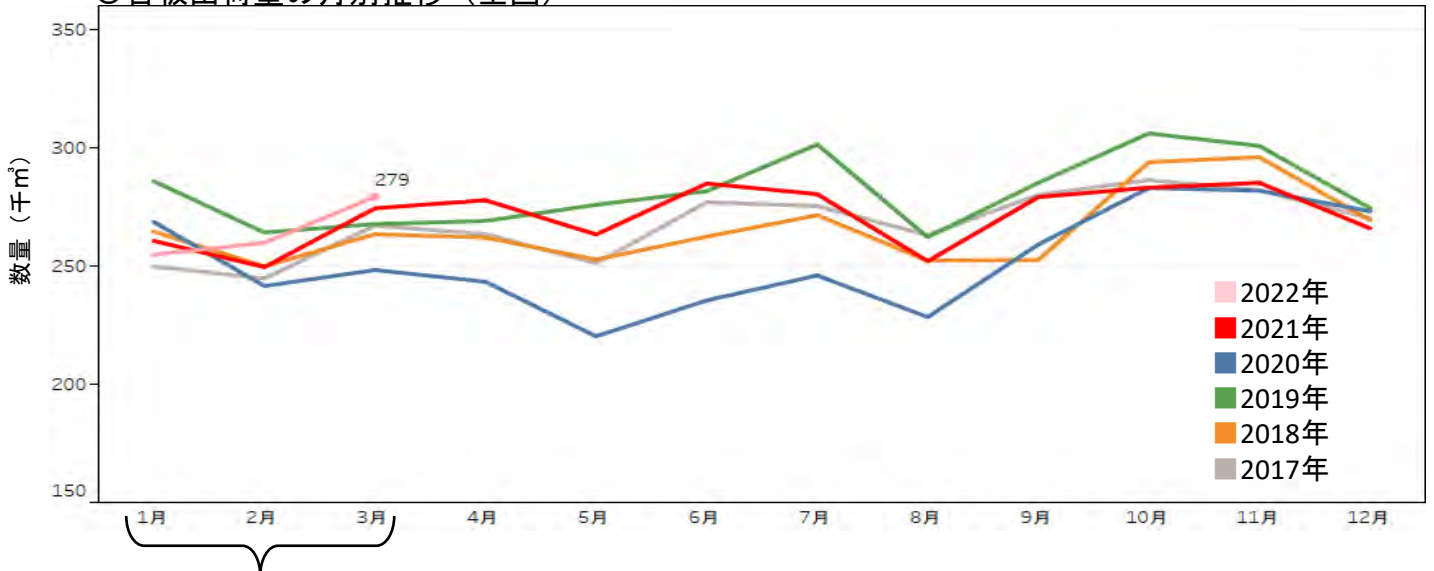
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～3月原木入荷量合計(千 m^3)	4,177	4,172	4,389	4,141	3,840	4,185
2019年との比較*	95%	95%	—	94%	87%	95%
1～3月出荷量合計(千 m^3)	2,188	2,159	2,221	2,061	2,038	2,081
2019年との比較*	99%	97%	—	93%	92%	94%

※2019年の数値を100%とした比較

- 2022年1～3月の原木の入荷量は1,483千m³（2019年比116%）。原木在庫量は回復してきている。
- 同様に合板の出荷量は794千m³（2019年比97%）、概ねコロナ禍前の水準となっている。合板在庫量は2020年5月から減少傾向であったが、現在は低い水準で推移。



○合板出荷量の月別推移（全国）

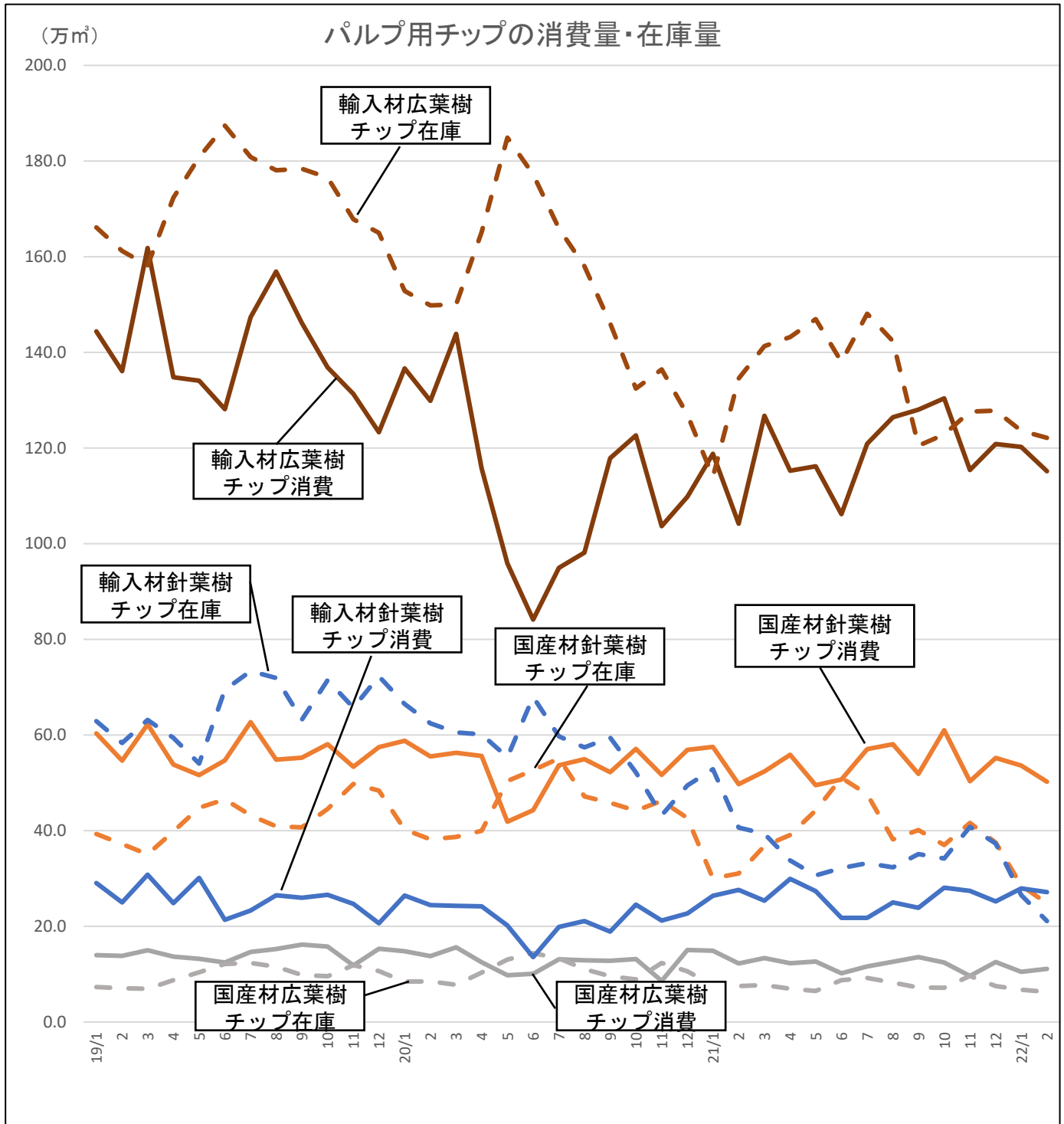


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～3月原木入荷量 合計(千m ³)	1,099	1,223	1,275	1,335	1,241	1,483
2019年との比較*	86%	96%	—	105%	97%	116%
1～3月出荷量 合計(千m ³)	761	778	818	758	784	794
2019年との比較*	93%	95%	—	93%	96%	97%

※2019年の数値を100%とした比較

木材需給情報-5 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向

- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。

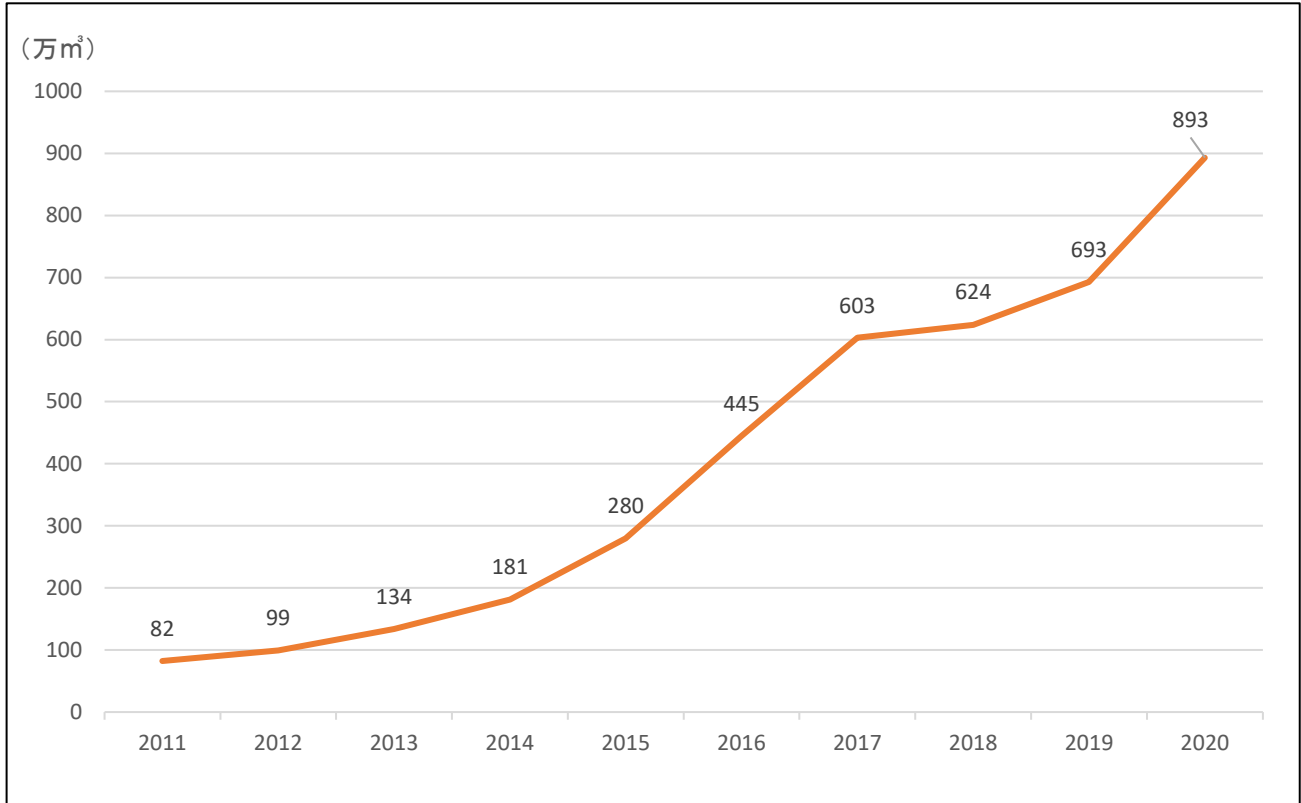


資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

木材需給情報-6 木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高

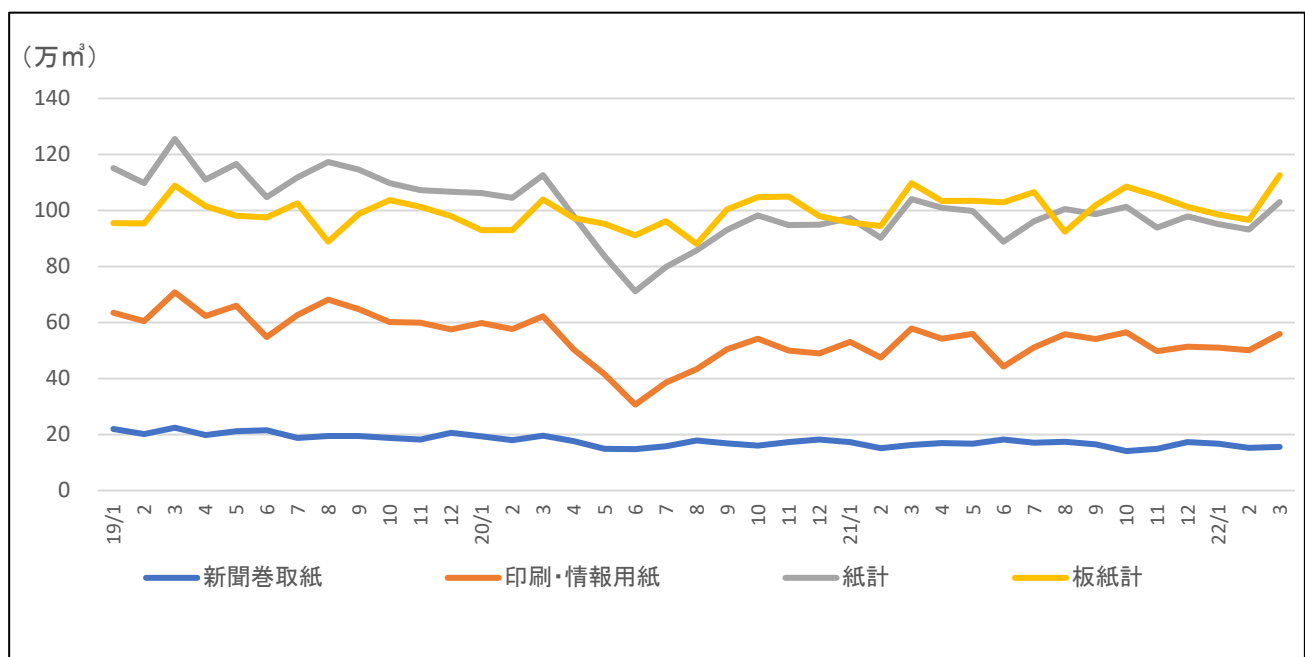
- 木質バイオマス発電向け燃料は、一貫して増加傾向が続いている。
- 紙の生産高は2020年6月に減少したが、その後一定程度回復している。

○間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量



資料: 木材利用課調べ(～平成26年)、林野庁「木材需給表」(平成27年～)

○紙品種別生産高



資料: 経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

- 令和2年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は1,988万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	19,882	11,615	4,195	4,072	18,037	11,663	1,845
北 海 道	2,850	1,455	563	832	2,314	46	536
青 森	894	318	327	249	831	701	63
岩 手	1,355	429	548	378	1,112	639	243
宮 城	576	167	256	153	530	478	46
秋 田	1,123	477	450	196	1,026	989	97
山 形	266	189	69	8	262	250	4
福 島	853	469	50	334	738	604	115
茨 城	423	347	4	72	387	294	36
栃 木	540	438	5	97	500	360	40
群 馬	208	132	37	39	203	145	5
埼 玉	63	30	0	33	38	25	25
千 葉	58	21	2	35	42	35	16
東 京	28	15	3	10	25	14	3
神 奈 川	11	9	0	2	10	6	1
新 潟	99	53	27	19	94	93	5
富 山	79	43	22	14	74	71	5
石 川	138	58	48	32	121	101	17
福 井	121	56	35	30	116	112	5
山 梨	144	22	48	74	116	31	28
長 野	466	171	202	93	453	91	13
岐 阜	364	234	67	63	355	196	9
静 岡	328	174	110	44	324	163	4
愛 知	208	103	85	20	205	104	3
三 重	274	168	63	43	267	130	7
滋 賀	59	16	18	25	50	41	9
京 都	141	48	39	54	122	87	19
大 阪	9	3	-	6	9	6	0
兵 庫	264	73	119	72	252	183	12
奈 良	107	88	4	15	107	69	0
和 歌 山	166	102	25	39	162	96	4
鳥 取	254	72	136	46	231	187	23
島 根	429	86	229	114	337	274	92
岡 山	339	283	31	25	326	99	13
広 島	295	131	49	115	219	115	76
山 口	228	123	31	74	194	141	34
徳 島	267	152	x	x	255	207	12
香 川	8	7	-	1	8	3	-
愛 媛	523	485	x	x	523	305	-
高 知	497	336	x	x	493	279	4
福 岡	177	149	1	27	164	124	13
佐 賀	113	91	1	21	100	62	13
長 崎	106	56	0	50	79	31	27
熊 本	964	754	131	79	923	687	41
大 分	1,014	818	171	25	1,004	824	10
宮 崎	1,879	1,772	40	67	1,839	1,739	40
鹿 児 島	572	391	31	150	497	426	75
沖 縄	2	1	-	1	0	-	2

資料：農林水産省「令和2年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

- 令和2年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は1,944億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	2,793	2,318	30	-	-	2,260	475	-
青森	744	679	540	0	43	60	65	-
岩手	1,307	1,035	551	0	155	329	259	-
宮城	438	406	375	4	21	4	30	2
秋田	1,002	905	871	-	2	28	95	-
山形	245	240	228	0	2	9	5	0
福島	688	606	478	71	26	28	80	-
茨城	392	368	252	114	1	0	24	-
栃木	587	551	363	185	1	1	30	2
群馬	172	168	115	19	1	31	4	-
埼玉	45	28	18	10	0	0	17	-
千葉	41	26	21	4	-	-	12	3
東京都	19	16	7	9	-	0	2	-
神奈川県	11	10	5	5	-	0	1	-
新潟	103	96	96	0	0	0	6	0
富山	71	67	64	1	1	1	4	-
石川	132	115	93	6	8	1	16	0
福井	102	97	94	1	1	0	5	0
山梨	104	86	21	9	15	34	13	-
長野	463	436	59	95	32	240	17	-
岐阜	456	444	250	179	3	11	11	-
静岡県	307	304	135	165	1	2	2	-
愛知県	208	207	99	90	0	15	2	-
三重	320	316	131	182	0	-	4	-
滋賀	44	36	26	10	0	0	7	1
京都	116	94	66	23	0	-	17	5
大阪	5	5	3	2	0	-	0	-
兵庫	204	193	124	65	1	0	11	0
奈良	147	147	72	74	0	-	0	0
和歌山	140	134	73	61	0	-	4	2
鳥取	226	211	167	39	4	0	16	-
島根	397	321	255	52	14	0	76	-
岡山	446	435	68	363	3	-	8	3
広島	274	232	115	106	11	0	41	-
山口	230	209	140	67	2	-	20	1
徳島	281	275	214	60	1	-	6	0
香川	8	7	2	5	0	-	-	1
愛媛	550	549	260	287	2	-	-	0
高知	500	496	243	250	3	-	3	1
福岡	187	177	128	48	1	-	9	1
佐賀	125	115	67	48	0	-	9	0
長崎	100	81	30	52	-	-	18	-
熊本	1,142	1,108	739	366	3	-	26	8
大分	1,038	1,020	833	186	0	-	7	5
宮崎	1,977	1,950	1,814	131	4	-	26	-
鹿児島	548	475	405	62	1	-	58	15
沖縄	2	0	-	-	-	-	2	-
合計	19,437	17,796	10,739	3,506	364	3,055	1,541	49

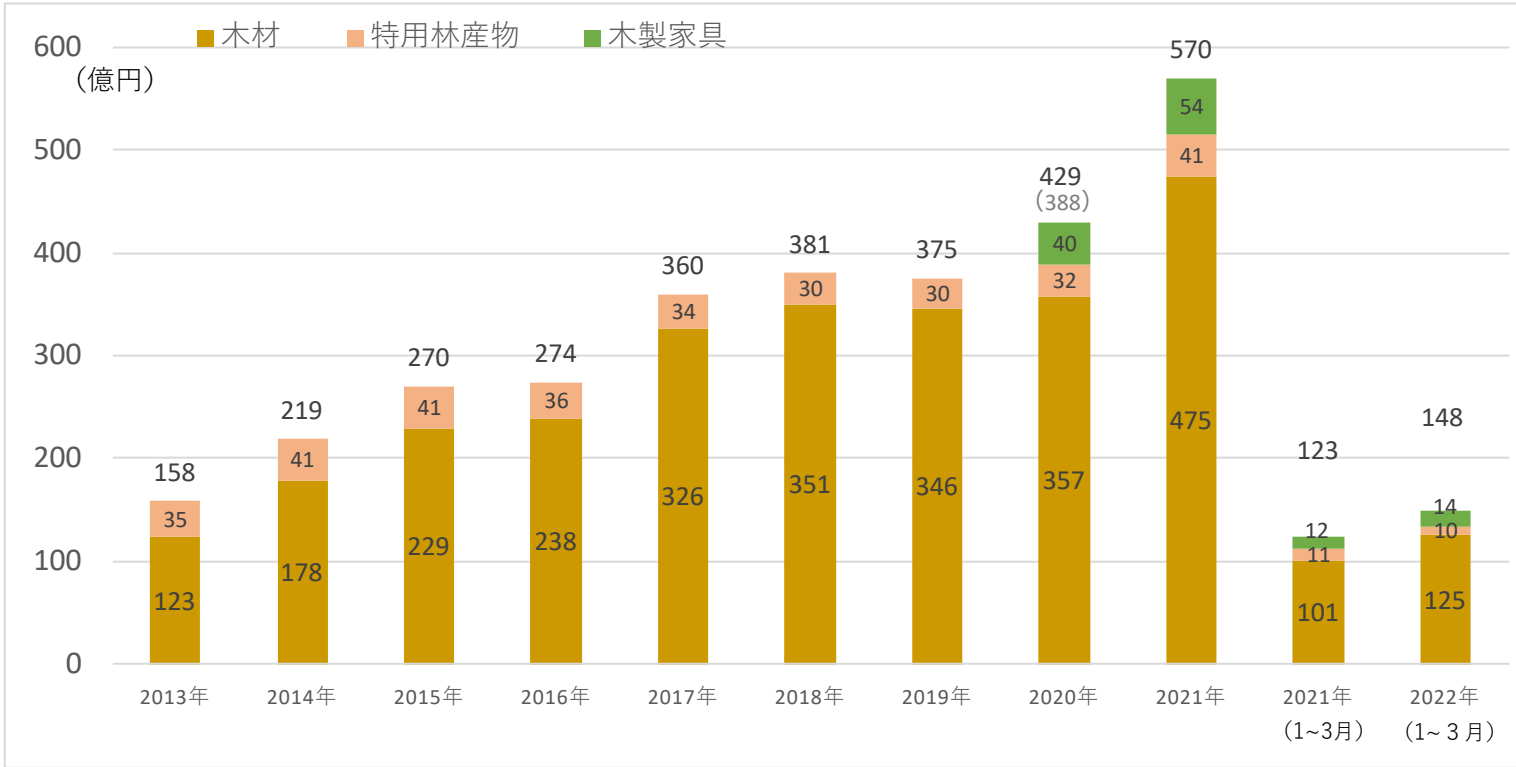
資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

- 2022年3月の林産物の輸出額は61億円（前年同月比121%）となった。
 - 内訳としては木材が51億円（同123%）、特用林産物が4億円（同102%）、木製家具が6億円（同117%）となった。
- 2022年（1～3月）の累計は、148億円（対前年同期比120%）となった。

○林産物輸出の推移



資料：財務省貿易統計

※特用林産物のうち、きのこ類は、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、きのこ類以外は、ロジン、植物性ろう等を計上。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

(億円)

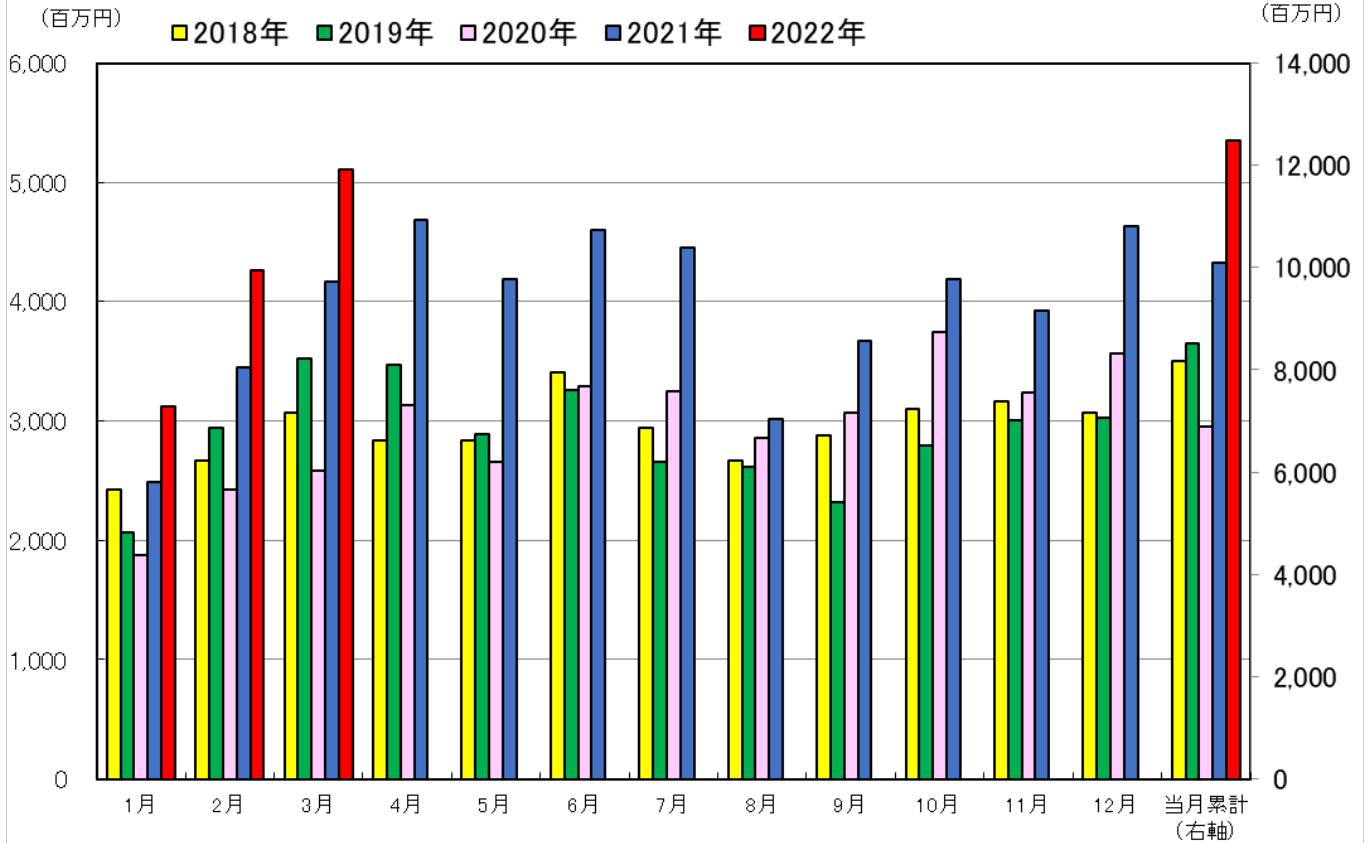
	2021年				2022年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	31	25	3	3	37	119%	157%	31	2	4
2月	41	34	4	3	50	121%	164%	43	3	4
3月	51	42	4	5	61	121%	192%	51	4	6
4月	55	47	3	5						
5月	49	42	3	4						
6月	54	46	3	5						
7月	52	45	3	4						
8月	37	30	3	5						
9月	45	37	3	5						
10月	52	42	4	5						
11月	48	39	4	5						
12月	55	46	4	5						
3月累計	123	101	11	12	148	120%	172%	125	10	14

資料：財務省貿易統計

林産物輸出入情報-2 木材輸出額

- 2022年3月の輸出額は51.1億円（前年同月比123%）となった。2022年（1～3月）の累計は125億円（前年同月比124%）となった。

○木材輸出額の推移（月別）



○木材輸出額の推移（主な国別・品目別）

輸出先	単月 3月					累計 1～3月				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	2,102	103%	1,530 97%	176 118%	15 43%	4,937	105%	3,703 101%	377 105%	54 51%
韓国	365	108%	214 105%	44 76%	3 97%	933	109%	533 108%	145 84%	10 131%
台湾	337	138%	189 151%	59 99%	0 0%	792	139%	478 160%	153 90%	0 0%
米国	558	108%	0 —	284 75%	9 153%	1,579	138%	0 —	966 114%	9 153%
フィリピン	1,404	192%	0 —	435 298%	840 150%	3,409	173%	0 —	1,088 301%	2,037 133%
その他	339	120%	17 43%	54 163%	1 26%	845	99%	37 32%	144 137%	15 54%
総計	5,106	123%	1,950 100%	1,053 127%	868 141%	12,495	124%	4,751 104%	2,871 143%	2,125 126%

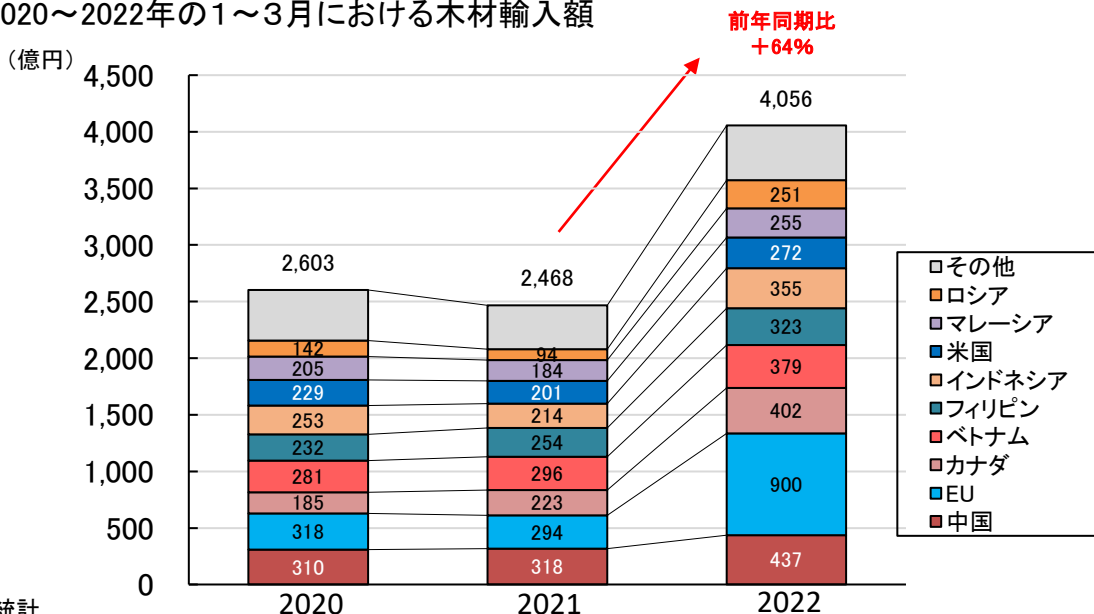
※資料：財務省貿易統計（第44類を集計）
※四捨五入により、数値が合わないことがある。

林産物輸出入情報-3 木材輸入額

- 2022年3月の木材輸入額は、前月比+13%、前年同月比+57%の1,392億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入額に占めるシェア14%）が▲13%、フィリピン（同9%）が▲10%減少する一方、中国（同14%）が+5%、カナダ（同12%）が+27%、ベトナム（同10%）が+45%、インドネシア（同8%）が+35%、米国（同7%）が+42%、マレーシア（同6%）が+19%、ロシア（同5%）が+8%など軒並み増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが+161%、中国が+29%、カナダが+74%、ベトナムが+49%、フィリピンが+10%、インドネシアが+58%、米国が+66%、マレーシアが+23%、ロシアが+136%など軒並み増加した。

年 国名	2021年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2022年 2月	2022年 3月	前月比	前年 同月比	2021年 1～3月	2022年 1～3月	前年 同期比
世界計	12,291	1,228	1,392	+ 13%	+ 57%	2,468	4,056	+ 64%
E U	1,712	305	264	▲ 13%	+ 161%	294	900	+ 206%
(フィンランド)	557	106	87	▲ 18%	+ 195%	89	305	+ 241%
(スウェーデン)	399	64	51	▲ 20%	+ 120%	66	196	+ 196%
中 国	1,663	125	132	+ 5%	+ 29%	318	437	+ 37%
カナダ	1,514	113	143	+ 27%	+ 74%	223	402	+ 80%
ベトナム	1,268	98	142	+ 45%	+ 49%	296	379	+ 28%
フィリピン	1,123	121	109	▲ 10%	+ 10%	254	323	+ 27%
インドネシア	1,029	99	134	+ 35%	+ 58%	214	355	+ 66%
米 国	914	77	110	+ 42%	+ 66%	201	272	+ 36%
マレーシア	769	75	89	+ 19%	+ 23%	184	255	+ 39%
ロシア	634	77	83	+ 8%	+ 136%	94	251	+ 166%
その他	1,664	136	184	+ 35%	+ 27%	390	483	+ 24%
我が国の総輸入額	845,898	78,671	88,741	+ 13%	+ 32%	186,537	252,725	+ 35%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.45%	1.56%	1.57%			1.32%	1.60%	

○2020～2022年の1～3月における木材輸入額



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

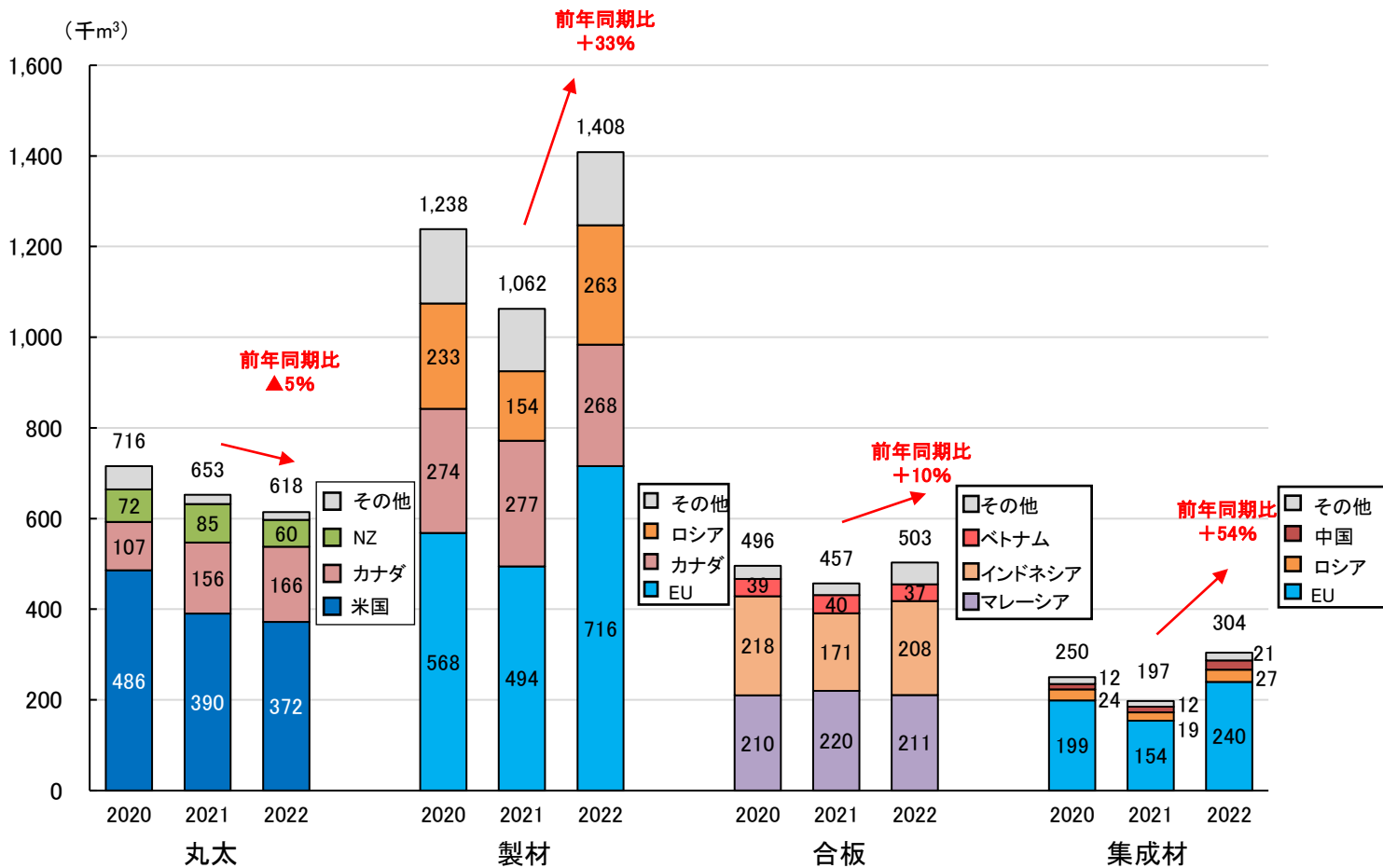
注2：EUに英国は含まない。

注3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2022年1～3月における品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲5%減となった一方、製材が同+33%、合板が同+10%、集成材が同+54%と、軒並み増加。カナダの丸太、EUとロシアの製材、インドネシアの合板、EU、ロシア及び中国の集成材が増加。
- なお、2020年同期と比較すると、2022年1～3月の木材輸入額累計は同+56%増加。品目別輸入量では、丸太が同▲14%、製材が+14%、合板が同+1%、集成材が同+22%増加。

○2020～2022年の1～3月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

- 2022年3月の丸太輸入量は、前月比+30%、前年同月比▲10%の22万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア28%）が▲18%減少した一方、米国（同57%）が+40%増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが▲26%、ニュージーランドが▲32%減少する一方、米国が+5%増加した。

（単位：千m³）

材種 国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 2月	2022年 3月	前月比	前年 同月比	2021年 1～3月	2022年 1～3月	前年 同期比
合計		[100%] 2,639	[100%] 170	[100%] 222	+ 30%	▲ 10%	[100%] 653	[100%] 618	▲ 5%
米材		[86%] 2,257	[96%] 164	[87%] 193	+ 18%	▲ 6%	[84%] 547	[87%] 538	▲ 2%
米国		[57%] 1,511	[59%] 101	[64%] 142	+ 40%	+ 5%	[60%] 390	[60%] 372	▲ 5%
カナダ		[28%] 746	[37%] 63	[23%] 51	▲ 18%	▲ 26%	[24%] 156	[27%] 166	+ 6%
南洋材		[1%] 21	[3%] 5	[0%] 0	▲ 97%	+ 660%	[0%] 3	[1%] 7	+ 136%
インドネシア		[0%] 0	-	[0%] 0	皆増	皆増	-	[0%] 0	皆増
マレーシア		[0%] 8	[3%] 5	[0%] 0	▲ 97%	+ 650%	[0%] 0	[1%] 7	+ 10,396%
パプアニューギニア		[0%] 13	-	-	-	-	[0%] 3	-	▲ 100%
ロシア材		[1%] 35	-	-	-	▲ 100%	[2%] 11	[1%] 7	▲ 38%
ニュージーランド材		[12%] 306	-	[11%] 25	皆増	▲ 32%	[13%] 85	[10%] 60	▲ 30%
欧州材		[1%] 13	[1%] 1	[1%] 3	+ 199%	+ 51%	[1%] 5	[1%] 5	▲ 9%
EU計		[1%] 13	[1%] 1	[1%] 3	+ 207%	+ 51%	[1%] 5	[1%] 4	▲ 10%
アフリカ材		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	▲ 65%	▲ 59%	[0%] 1	[0%] 0	▲ 57%
中国		[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	▲ 6%	+ 31%	[0%] 0	[0%] 0	▲ 5%
その他		[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	▲ 57%	▲ 25%	[0%] 1	[0%] 1	+ 62%

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シंगाポール、ブルネイの7カ国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：2022年2月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

- 2022年3月の製材輸入量は、前月比+7%、前年同月比+22%の47万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア44%）が▲9%減少する一方、カナダ（同25%）が+44%、ロシア（同18%）が+16%、チリ（同5%）が+82%増加した。
- 前年同月比で見ると、チリが▲48%減少する一方、カナダが+7%、ロシアが+64%、EUが+35%増加した。

(単位:千m³)

材種 国名	年 2021年 (1月~ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 2月	2022年 3月	前月比	前年 同月比	2021年 1~3月	2022年 1~3月	前年 同期比
合計	[100%] 4,830	[100%] 434	[100%] 465	+ 7%	+ 22%	[100%] 1,062	[100%] 1,408	+ 33%
米材	[28%] 1,361	[20%] 86	[25%] 118	+ 37%	+ 6%	[29%] 312	[21%] 300	▲ 4%
米国	[3%] 135	[3%] 12	[2%] 11	▲ 7%	▲ 3%	[3%] 35	[2%] 32	▲ 8%
カナダ	[25%] 1,226	[17%] 74	[23%] 107	+ 44%	+ 7%	[26%] 277	[19%] 268	▲ 3%
南洋材	[1%] 56	[1%] 5	[1%] 5	▲ 3%	▲ 9%	[1%] 15	[1%] 16	+ 6%
インドネシア	[0%] 20	[0%] 2	[0%] 2	+ 22%	+ 16%	[0%] 5	[0%] 6	+ 14%
マレーシア	[1%] 34	[1%] 3	[1%] 3	▲ 16%	▲ 17%	[1%] 10	[1%] 10	+ 6%
パプアニューギニア	[0%] 0	-	-	-	▲ 100%	[0%] 0	[0%] 0	▲ 38%
ロシア材	[18%] 846	[18%] 79	[20%] 92	+ 16%	+ 64%	[14%] 154	[19%] 263	+ 71%
ニュージーランド材	[1%] 57	[1%] 4	[1%] 3	▲ 9%	▲ 39%	[1%] 13	[1%] 12	▲ 3%
チリ材	[5%] 226	[2%] 10	[4%] 19	+ 82%	▲ 48%	[5%] 55	[5%] 64	+ 17%
欧州材	[46%] 2,210	[56%] 245	[48%] 223	▲ 9%	+ 37%	[47%] 505	[52%] 737	+ 46%
EU計	[44%] 2,148	[55%] 238	[46%] 215	▲ 9%	+ 35%	[47%] 494	[51%] 716	+ 45%
(スウェーデン)	[16%] 756	[19%] 81	[14%] 65	▲ 20%	+ 6%	[17%] 180	[17%] 243	+ 35%
(フィンランド)	[15%] 729	[17%] 74	[16%] 76	+ 2%	+ 51%	[16%] 168	[17%] 235	+ 40%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	-	▲ 100%	▲ 100%	[0%] 1	[0%] 0	▲ 52%
中国	[1%] 64	[1%] 3	[1%] 4	+ 11%	+ 69%	[1%] 6	[1%] 13	+ 104%
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1	▲ 18%	+ 13%	[0%] 2	[0%] 3	+ 23%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7カ国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

- 2022年3月の合板輸入量は、前月比+18%、前年同月比+1%の17万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、マレーシア（前年輸入量に占めるシェア43%）が+17%、インドネシア（同38%）が+35%増加した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが▲21%減少する一方、インドネシアが+25%増加した。

(単位: 千m³)

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 2月	2022年 3月	前月比	前年 同月比	2021年 1～3月	2022年 1～3月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,865	[100%] 145	[100%] 171	+ 18%	+ 1%	[100%] 457	[100%] 503	+ 10%	
マレーシア	[43%] 795	[42%] 61	[41%] 71	+ 17%	▲ 21%	[48%] 220	[42%] 211	▲ 4%	
インドネシア	[38%] 715	[39%] 57	[45%] 77	+ 35%	+ 25%	[38%] 171	[41%] 208	+ 21%	
ベトナム	[11%] 207	[8%] 11	[5%] 9	▲ 23%	▲ 23%	[9%] 40	[7%] 37	▲ 8%	
中国	[7%] 133	[10%] 14	[8%] 14	▲ 3%	+ 143%	[5%] 22	[9%] 43	+ 99%	
EU	[0%] 6	[0%] 1	[0%] 0	▲ 57%	▲ 49%	[0%] 2	[0%] 2	▲ 10%	
その他	[0%] 9	[1%] 1	[0%] 1	▲ 38%	+ 29%	[0%] 2	[1%] 3	+ 24%	

注1: 輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

注2: 数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3: 四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注4: EUに英国は含まない。

- 2022年3月の木材チップ輸入量は、前月比+36%、前年同月比+18%の109万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア38%）が+30%、オーストラリア（同18%）が+189%、南アフリカ（同9%）が+123%増加した一方、チリ（同10%）が▲70%減少した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが+12%、オーストラリアが+53%、南アフリカが+31%増加する一方、チリが▲45%減少した。

(単位: 千トン)

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 2月	2022年 3月	前月比	前年 同月比	2021年 1～3月	2022年 1～3月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 10,996	[100%] 802	[100%] 1,093	+ 36%	+ 18%	[100%] 2,819	[100%] 2,877	+ 2%	
ベトナム	[38%] 4,132	[36%] 285	[34%] 372	+ 30%	+ 12%	[38%] 1,055	[36%] 1,058	+ 0%	
オーストラリア	[18%] 1,947	[12%] 92	[24%] 267	+ 189%	+ 53%	[18%] 586	[12%] 562	▲ 4%	
チリ	[10%] 1,060	[13%] 101	[3%] 30	▲ 70%	▲ 45%	[10%] 235	[13%] 250	+ 6%	
南アフリカ共和国	[9%] 1,026	[8%] 67	[14%] 148	+ 123%	+ 122%	[9%] 211	[8%] 276	+ 31%	
米国	[7%] 811	[8%] 61	[6%] 61	▲ 1%	+ 32%	[7%] 183	[8%] 185	+ 1%	
その他	[18%] 2,020	[24%] 195	[20%] 214	+ 10%	▲ 16%	[18%] 549	[24%] 546	▲ 0%	

注1: 輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

注2: 数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3: 四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

資料: 財務省貿易統計

- 2022年3月の集成材輸入量は、前月比▲15%、前年同月比+31%の9万m³となった。構造用集成材に限ると、前月比▲16%、前年同月比+33%の8万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア76%）が▲20%減少する一方で、中国（同10%）が+3%、ロシア（同9%）が+10%増加した。
- EUの国別内訳では、ルーマニア（同15%）が+14%増加する一方、フィンランド（同36%）が▲31%、オーストリア（同13%）が▲24%減少した。
- 前年同月比で見ると、EUが+31%、ロシアが+60%増加する一方、中国が▲2%減少した。

(単位:千m³)

年	2021年 (1月~12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 2月	2022年 3月	前月比	前年 同月比	2021年 1~3月	2022年 1~3月	前年 同期比
国名								
総輸入量	[100%] 967	[100%] 103	[100%] 88	▲15%	+31%	[100%] 197	[100%] 304	+54%
うち 構造用集成材	[100%] 832	[100%] 91	[100%] 76	▲16%	+33%	[100%] 171	[100%] 268	+57%
EU	[76%] 733	[81%] 83	[76%] 67	▲20%	+31%	[78%] 154	[79%] 240	+56%
うち 構造用集成材	[85%] 709	[89%] 81	[85%] 64	▲20%	+32%	[87%] 149	[87%] 232	+56%
フィンランド	[36%] 349	[38%] 40	[31%] 27	▲31%	+9%	[36%] 71	[35%] 107	+51%
うち 構造用集成材	[41%] 345	[43%] 39	[35%] 27	▲31%	+8%	[41%] 70	[40%] 106	+52%
ルーマニア	[15%] 148	[18%] 18	[23%] 21	+14%	+90%	[15%] 30	[18%] 55	+83%
うち 構造用集成材	[17%] 139	[18%] 16	[26%] 20	+20%	+103%	[16%] 28	[19%] 51	+85%
オーストリア	[13%] 126	[10%] 11	[9%] 8	▲24%	+5%	[14%] 29	[11%] 33	+15%
うち 構造用集成材	[14%] 116	[11%] 10	[9%] 7	▲29%	▲3%	[16%] 27	[11%] 30	+11%
中国	[10%] 93	[5%] 5	[6%] 5	+3%	▲2%	[6%] 12	[7%] 21	+69%
うち 構造用集成材	[6%] 52	[3%] 3	[4%] 3	+4%	▲5%	[4%] 7	[5%] 13	+86%
ロシア	[9%] 84	[8%] 8	[11%] 9	+10%	+60%	[9%] 19	[9%] 27	+43%
うち 構造用集成材	[9%] 71	[8%] 7	[11%] 8	+18%	+74%	[9%] 16	[9%] 23	+49%
その他	[6%] 57	[6%] 6	[8%] 7	+13%	+35%	[7%] 13	[6%] 17	+35%
うち 構造用集成材	[0%] 0	-	-	-	-	[0%] 0	[0%] 0	+194%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.52号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

- 2022年3月の木質ペレット輸入量は、前月比+70%、前年同月比+90%の37万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア53%）が+117%、カナダ（同34%）が+44%増加する一方、マレーシア（同5%）が▲98%減少した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが+83%、カナダが+66%増加する一方、マレーシアが▲78%減少した。

(単位:千トン)

年	2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 2月	2022年 3月	前月比	前年 同月比	2021年 1～3月	2022年 1～3月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 3,117	[100%] 214	[100%] 365	+ 70%	+ 90%	[100%] 681	[100%] 900	+ 32%
ベトナム	[53%] 1,647	[50%] 107	[64%] 233	+ 117%	+ 83%	[57%] 386	[58%] 525	+ 36%
カナダ	[34%] 1,058	[28%] 60	[24%] 86	+ 44%	+ 66%	[31%] 211	[29%] 263	+ 25%
マレーシア	[5%] 156	[6%] 12	[0%] 0	▲ 98%	▲ 78%	[7%] 45	[2%] 22	▲ 50%
その他	[8%] 256	[17%] 36	[13%] 46	+ 28%	+ 281%	[6%] 40	[10%] 89	+ 125%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2022年3月のLVL輸入量は、前月比+10%の3.5万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国が+13%増加した。

(単位:千m³)

年	2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 2月	2022年 3月	前月比	前年 同月比	2021年 1～3月	2022年 1～3月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 32	[100%] 35	+ 10%		[100%] 120		
中国		[67%] 22	[69%] 25	+ 13%		[75%] 90		
ベトナム		[24%] 8	[24%] 8	+ 7%		[20%] 24		
インドネシア		[7%] 2	[5%] 2	▲ 14%		[4%] 5		
その他		[2%] 0	[1%] 0	+ 1%		[1%] 2		

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

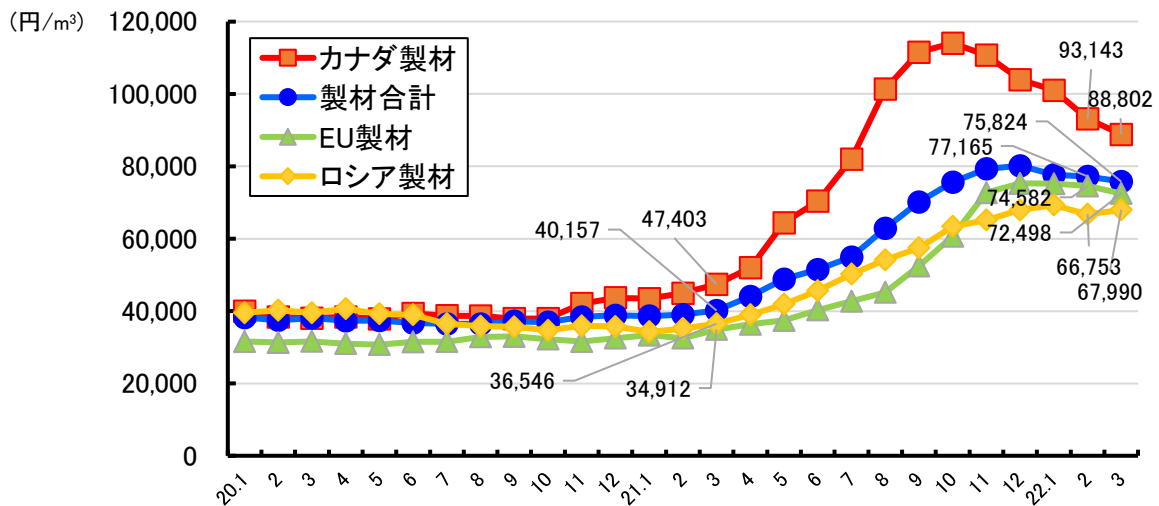
2：LVLは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。

3：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

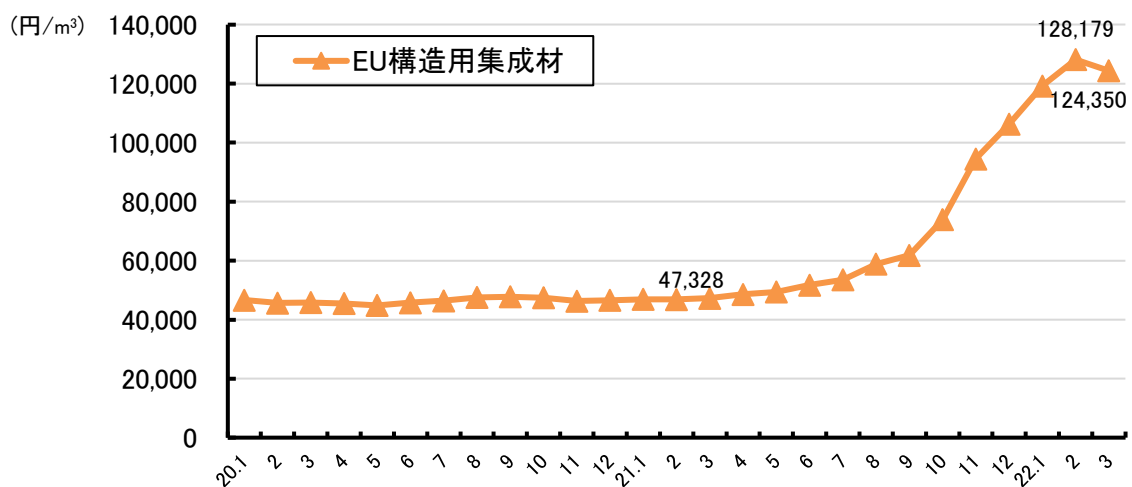
4：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2022年3月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比▲2%減の75,824円/m³（前年同月比+89%増）。うち、カナダの製材は、前月比▲5%減の88,802円/m³（前年同月比+87%増）、EUの製材は、前月比▲3%減の72,498円/m³（前年同月比+108%増）、ロシアの製材は、前月比+2%増の67,990円/m³（前年同月比+86%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比▲3%減の124,350円/m³（前年同月比+163%増）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比+9%増の89,929円/m³（前年同月比+55%増）。

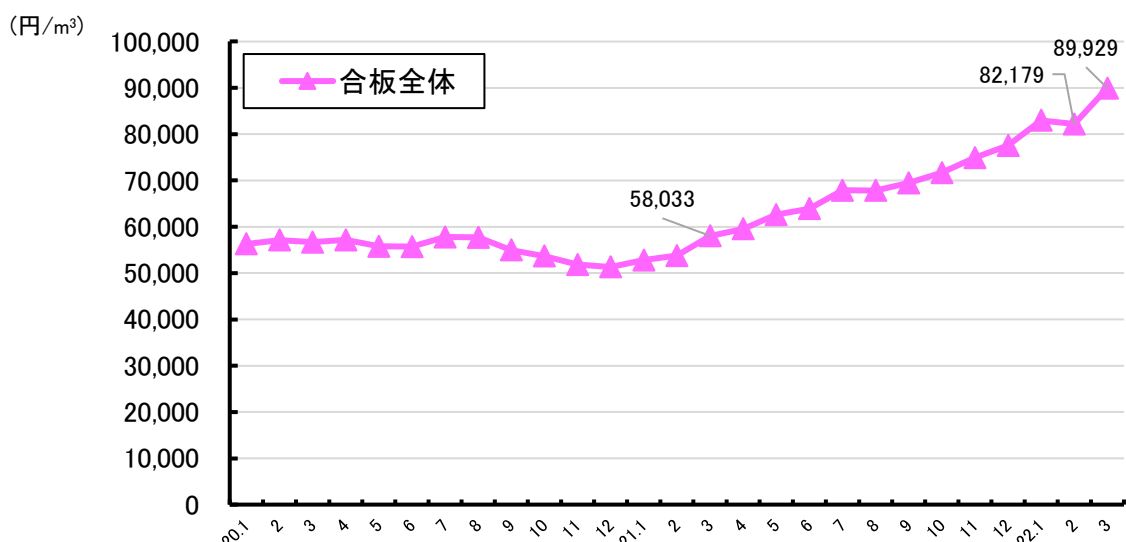
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

資料：財務省貿易統計

- 2020年の食用きのこ類の生産量は46万2,277tで、前年に比べ6,588t（1.4%）増加した。
- たけのこの生産量は2万6,449tで、前年に比べ4,164t（18.7%）増加した。
- 木炭の生産量は1万2,925tで、前年に比べ1,468t（10.2%）減少した。

○きのこ類

単位：t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32

注：まつたけの昭和47年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位：t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017

注：くりの平成22年～令和2年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	千本、t	千本、t	t	t	k ^l	k ^l	
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,925	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151

注：1 木炭、薪の昭和47年までの生産量は『農林省統計表』による。
 2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。
 3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。
 4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

資料：特用林産基礎資料

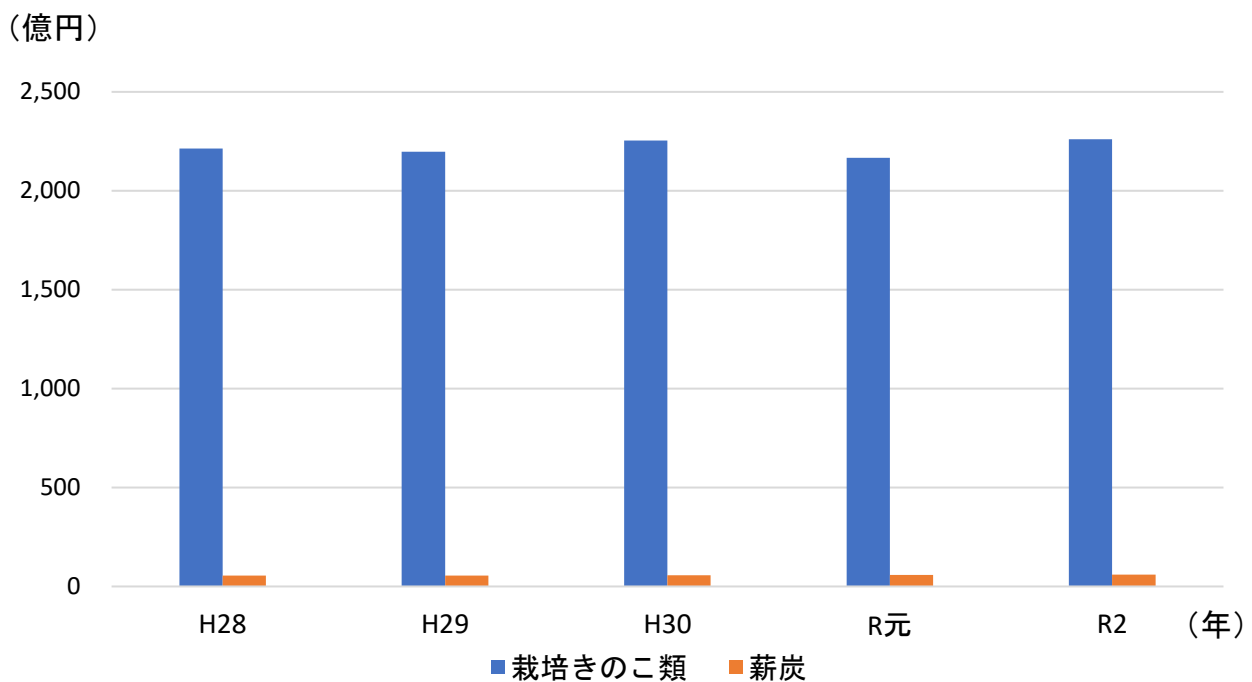
特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 令和2年のきのこ類の林業産出額は、前年に比べ93億円増加し、2,259.6億円（対前年比4.3%増加）となった。
- 薪炭の林業産出額は、前年に比べ1.5億円増加し、59.6億円（対前年比2.6%増加）となった。

（単位：億円）

	H28	H 29	H30	R元	R 2
栽培きのこ類	2,213.9	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6
薪炭	54.9	54.4	55.4	58.1	59.6

資料：農林水産省「令和2年林業産出額」



特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 令和2年のきのこ類の輸出量は47トン（対前年比61.5%減少）、輸入量は29,958トン（対前年比8.9%減少）。
- 令和2年の木炭の輸出量は439トン（対前年比4.6%減少）、輸入量は79,739トン（対前年比44.6%減少）。

品目	単位	H28		H29		H30		R元		R2	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	30	5,134	26	5,050	24	4,998	33	4,869	33	4,354
生しいたけ	トン	…	2,015	…	2,108	…	1,942	…	1,835	…	1,785
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	66	24,112	28	24,735	46	26,696	89	25,320	14	23,190
まつたけ	トン	…	981	…	787	…	798	…	849	…	629
くり	トン	…	10,500	…	10,837	…	9,781	…	9,019	…	7,371
くるみ	トン	…	51,450	…	57,536	…	56,389	…	52,236	…	56,478
たけのこ	トン	…	168,578	…	172,499	…	167,868	…	157,296	…	142,544
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	8	…	14	…	3	19	7	10	4	9
生うるし	kg	…	43,324	…	40,925	…	35,879	…	36,254	…	30,165
つばき油	kl	…	314	…	154	…	177	…	180	…	220
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	256	…	244	1	251	0	215	0	194
桐材	m ³	…	11,707	…	12,527	…	10,750	…	10,099	…	9,726
木炭	トン	616	146,538	521	141,662	442	144,462	460	143,953	439	79,739
竹炭	トン	1	7,689	…	8,061	…	8,744	…	9,414	12	7,605
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	1	1	753	351	833	476	788	1,830	468	2,326
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	56,525	…	56,135	…	53,679	…	54,183	…	44,499
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

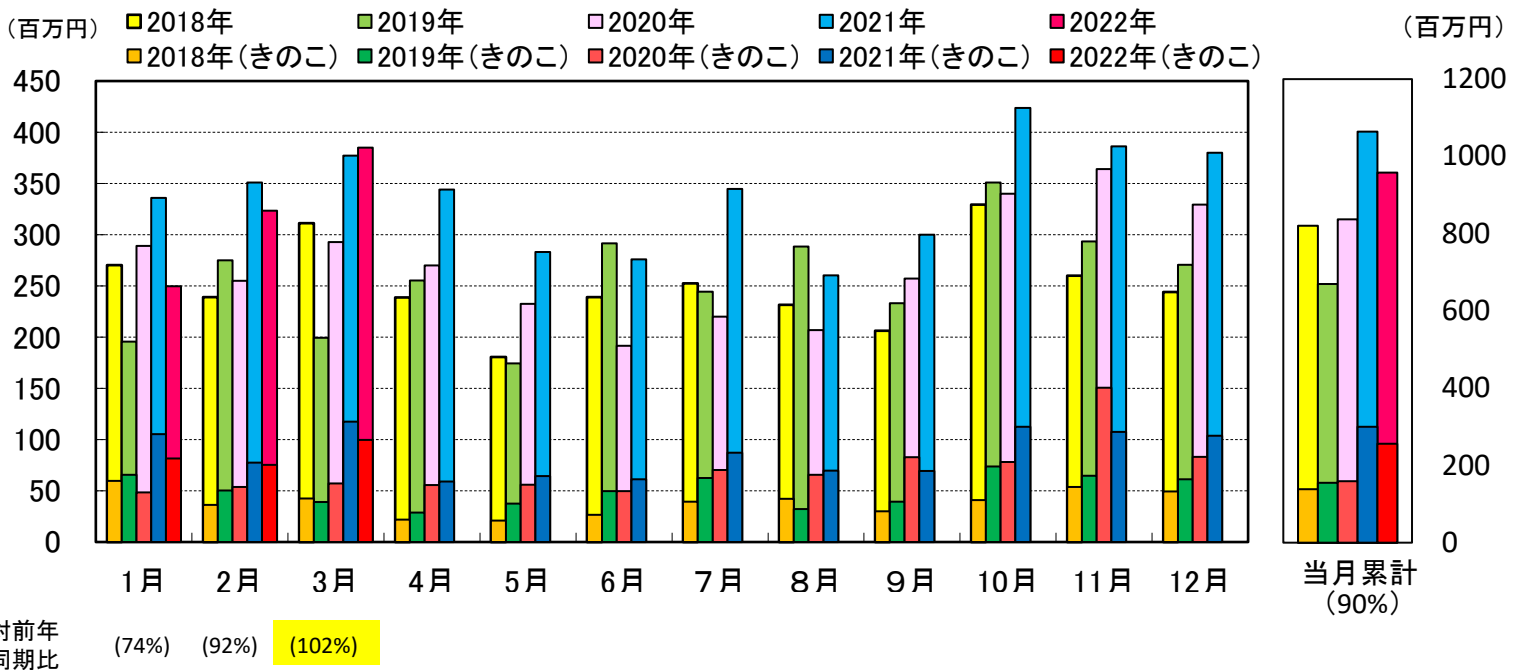
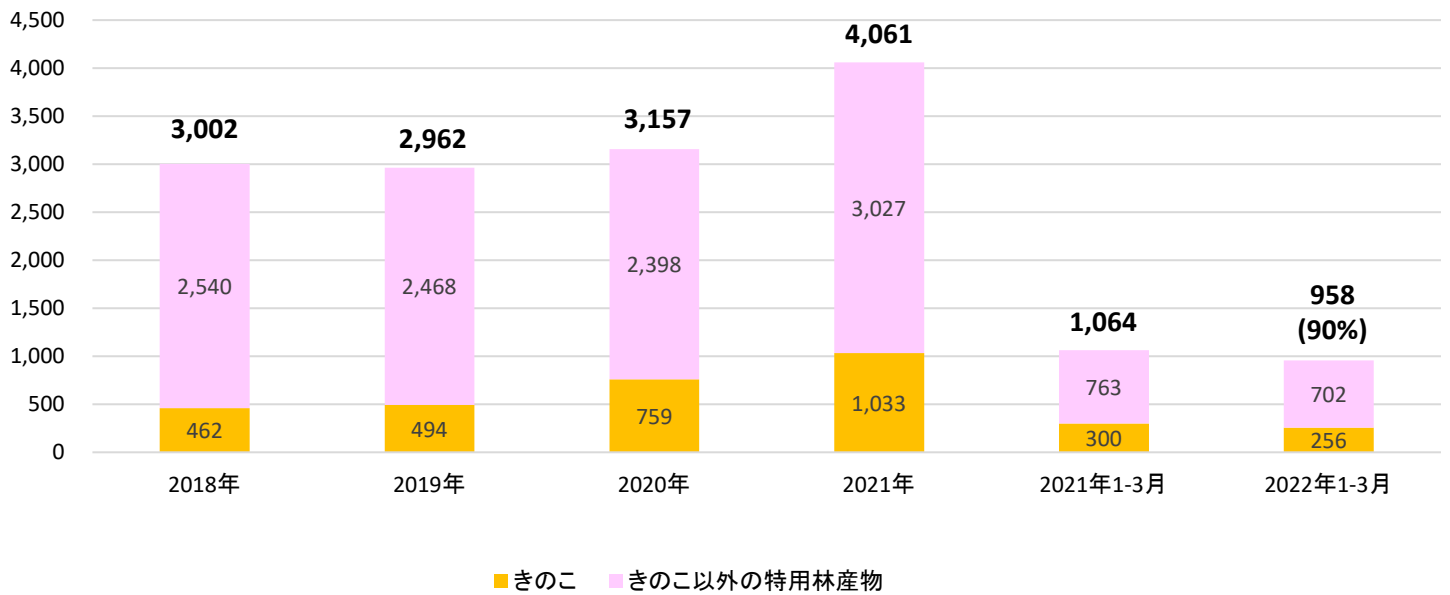
資料：特用林産基礎資料

「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

- ・ 本年3月末までの特用林産物輸出額は958百万円（対前年同期比90%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は、256百万円（対前年同期比85%）、きのこ以外は、702百万円（対前年同期比92%）となった。
- ・ 3月の輸出額は385百万円（対前年同月比102%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は100百万円（対前年同月比85%）、きのこ以外の特用林産物は285百万円（対前年同月比110%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）

(百万円)



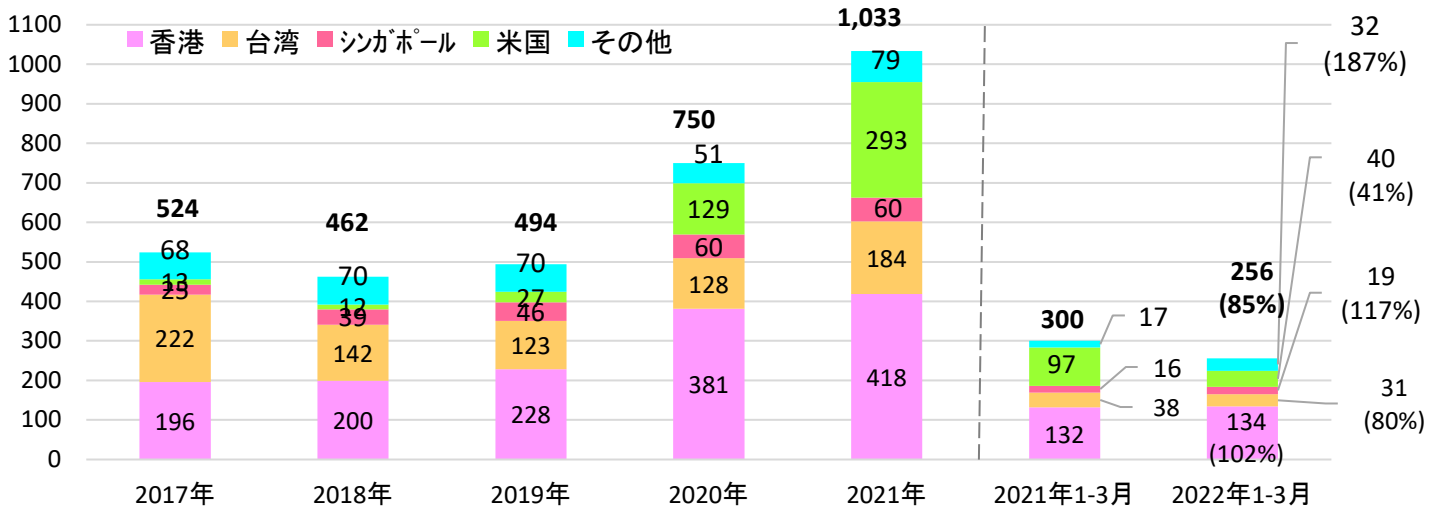
資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。
 ※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- きのこの3月末までの輸出額は256百万円で、対前年同期比85%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比102%、台湾が80%、シンガポールが117%、米国が41%となっている。
- 輸出量で見ると3月末までの合計は356トンで、対前年同期比109%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比115%、台湾が102%、シンガポールが89%、米国が75%となっている。

〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）

(百万円)

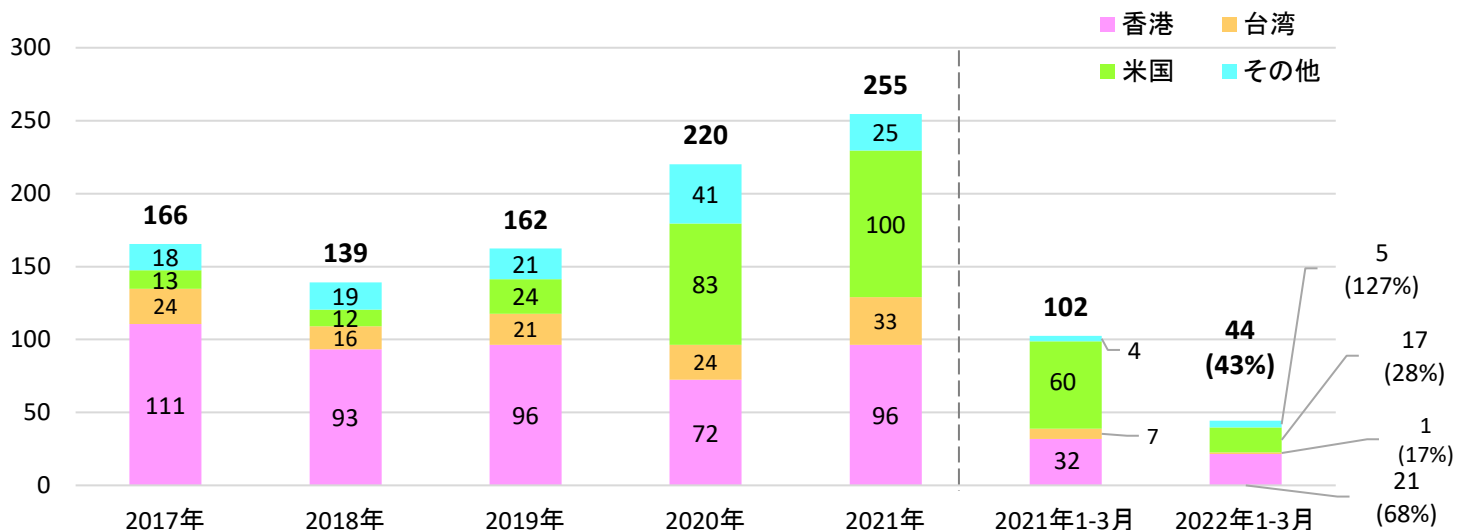


※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 乾しいたけの3月末までの輸出額は44百万円で、対前年同期比43%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比68%、台湾は17%、米国は28%となっている。
- 輸出量で見ると3月末までの合計は11トンで、対前年同期比73%となっている。主要な輸出先では、対前年同期比は香港が17%、台湾が22%、米国が112%となっている。

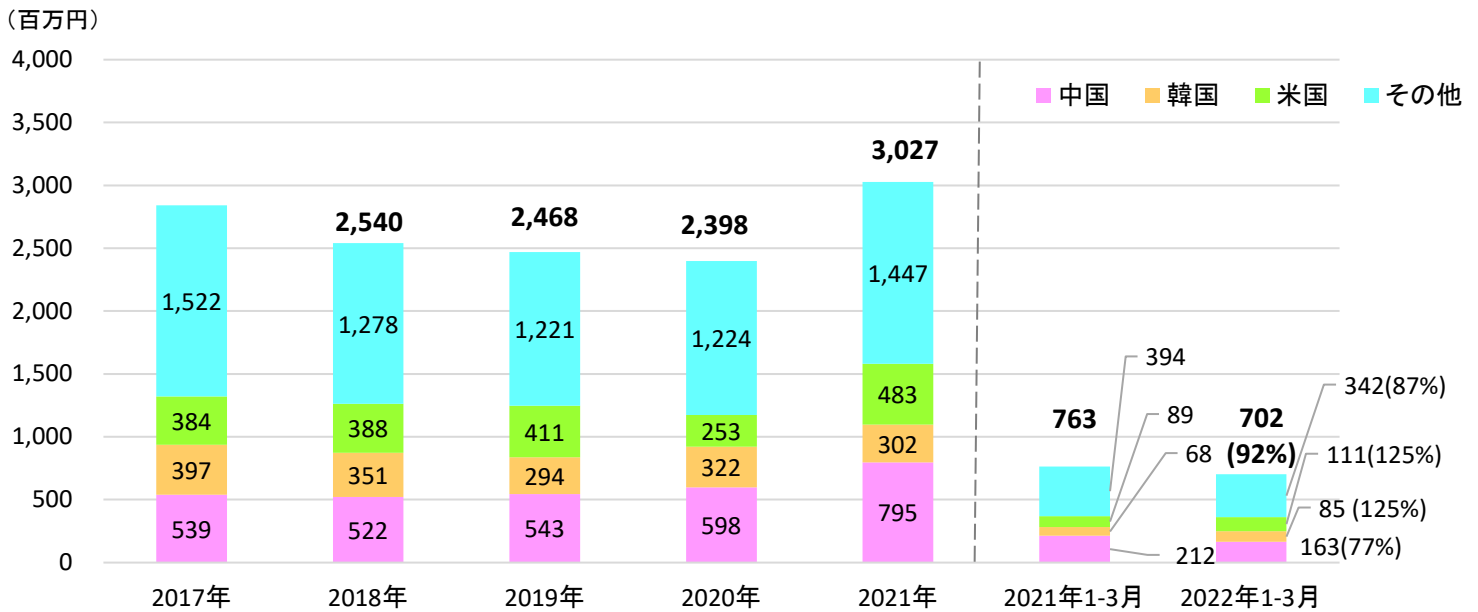
〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）

(百万円)



- きのこ以外の特用林産物の3月末までの輸出額は702百万円で、対前年同期比92%となっている。国別には、中国が対前年同期比77%、韓国が125%、米国が125%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比77%、植物性ろうが18%、テルペン油が137%となっている。
- 輸出量で見ると3月末までの合計は663トンで、対前年同期比90%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比75%、韓国が121%、米国が107%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

- 令和2年のきのご類の卸売量は、226,240トン（前年比4.6%減少）となった。
- 令和2年のきのご類の卸売価額は、生しいたけやえのきだけ等の卸売価格上昇により、106,143,929千円（前年比2.2%増加）となった。

きのご類の卸売量

単位：トン

	H28	H29	H30	R元	R2
生しいたけ	47,880	48,399	49,391	49,121	48,466
なめこ	15,993	15,549	16,143	16,193	16,889
えのきだけ	111,255	117,251	111,238	106,291	98,312
しめじ	75,164	72,518	68,505	65,619	62,573
合計	250,292	253,717	245,277	237,224	226,240

きのご類の卸売価額

単位：千円

	H28	H29	H30	R元	R2
生しいたけ	45,972,664	46,171,290	44,690,633	43,515,380	43,780,628
なめこ	7,049,789	6,914,944	7,348,774	7,248,066	7,430,921
えのきだけ	27,160,745	25,534,311	26,329,886	24,221,698	26,244,760
しめじ	32,380,595	31,033,202	30,829,573	28,912,378	28,687,620
合計	112,563,793	109,653,747	109,198,866	103,897,522	106,143,929

きのご類の卸売価格

単位：円/kg

	H28	H29	H30	R元	R2
生しいたけ	960	954	905	886	903
なめこ	441	445	455	448	440
えのきだけ	244	218	237	228	267
しめじ	431	428	450	441	458

資料：青果物卸売市場調査

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報を紹介します。

■ 5月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
しいたけの原産地表示に係るオンライン説明会	5月18日（水） （都道府県担当者対象） 5月24日（火） （流通・市場関係者対象） 5月25日（水） （しいたけ関係団体対象）	オンライン	「食品表示基準Q&A」の改正に伴い、変更となったしいたけの原産地表示ルールに係る説明会です。 主催：林野庁
第4回日本伐木チャンピオンシップ（第4回JLC）	5月21日（土）予選会 5月22日（日）本線	モヤヒルズ（青森県青森市）	林業技術及び安全作業意識の向上、林業の社会的地位向上、林業関係者・NPO等の森づくりへの積極的な参加、新規林業就業者数の拡大等を目的として開催します。 事前申込：不要 主催：日本伐木チャンピオンシップ実行委員会（事務局）全国森林組合連合会 詳細： http://www.ringyou-goods.net/jlc/
第25回「木のある暮らし」作文コンクール	6月1日（水）～9月6日（火）募集期間 10月29日（土）表彰式	オンライン（表彰式）	日々の生活の中にある「木」から地球環境保護の大切さを理解してもらうために小学生を対象とした「木のある暮らし」作文コンクールです。 主催：（一社）日本木造住宅産業協会
第50回全国林業後継者大会しが2022	6月4日（土）	多賀町中央公民館（多賀結いの森）	第 72 回全国植樹祭関連行事として、全国の森林・林業関係者が一堂に会し、森林から受けとる多様な恩恵や魅力と、未来につなげるもりづくりについて語り合い、豊かな森林をみんなで次世代に引き継いでいく想いを全国に発信するために開催します。 主催：第50回全国林業後継者大会滋賀県実行委員会 詳細： https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shinrinhozen/323819.html
建築建材・住宅設備総合展KENTEN2022	6月9日（木）～6月10日（金）	インテックス大阪	住宅・商業施設・ビルに使用される建材や設備、ならびに工法や業務効率改善ソフトなどの展示見本市です。 事前申込：要 入場料：無料 主催：（一社）日本建築材料協会、日本経済新聞社テレビ大阪（順不同） 詳細： https://www.ken-ten.jp/
日本初メガストラクチャーハイブリッド木造ビル「KITOKI」完成見学セミナー	6月10日（金）～6月11日（土）	KABUTO ONE 4F「CONFERENCE ルーム2」	2022年4月21日に竣工した日本初のメガストラクチャーハイブリッド木造ビル「KITOKI」の完成見学セミナーです。 事前申込：要（6月6日まで） 参加費：無料 主催：（一社）日本木造耐火建築協会 詳細： https://mokutaiken.jp/news/news2022042753.html

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■ 5月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
～美しい地球は、私達の心のハーモニーから～雨谷麻世 環境チャリティコンサート	7月13日(水) 10月9日(日) 10月28日(金) 12月21日(水)	はまぎんホール ヴィアマール、吉備津神社、他	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：(特非)太陽の会 (公社)国土緑化推進機構 Mayo Crystal Music
第58回JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2022	8月25(木)～ 27日(土)	幕張メッセ国際展示場	DIY産業の健全な振興・総合的な発展を目指し、国内外のDIY・ホームセンター関連商品を一堂に展示します。 主催：(一社)日本DIY・ホームセンター協会 詳細： https://diy-show.com/
第20回日本炭化学会研究発表会	9月14日(水)～ 16日(金)	北九州国際会議場およびオンライン	炭化による資源の有効利用についての研究討論や情報交換が行われます。 事前申込：要(7月15日まで) 参加費：有料 主催：日本炭化学会 詳細： http://www.wcrs.jp/conference.html

コラム 森林の役割などを学べる小学生向けコンテンツ「うんこドリル 森とくらし」を作りました

林野庁では、森林の役割、林業や木材利用の意義などについて広報する子供向けのコンテンツを充実させるため、「うんこドリル」と連携した小冊子「うんこドリル 森とくらし」を作成しました。

うんこ先生が森の中を歩きながら、うんこいぬ、うんこねこのキャラクターに5つの問題を出題し、その答えを解説していくストーリー。問題には、森林の公益的機能、世界と我が国の森林の現状、林業や木材利用の意義、森林の循環利用の重要性が扱われており、小学生を対象として、森林とくらしの関係を学ぶことができる内容となっています。



「うんこドリル 森とくらし」は以下のウェブサイトから、ダウンロードするなどしてご覧いただけます。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/unkodrill/moritokurashi.html>

お知らせ

もり
森林を守り
もり
森林を活かす



原画：千葉美沙希さん

ご協力をお願いいたします

緑の募金

「緑の募金」は、身近な地域の森づくりをはじめ、国内外の森づくりや人づくりなどに大切に活用されています。



緑の募金

ご協力をお願いします

春の新緑シーズン(1月~5月)と秋の紅葉シーズン(9月~10月)の年2回
家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金などによって行われています。

緑の募金に関するお問い合わせはこちらまで

公益社団法人 国土緑化推進機構 0120-110-381
ホームページ <https://www.green.or.jp> 電子メールアドレス bokin@green.or.jp

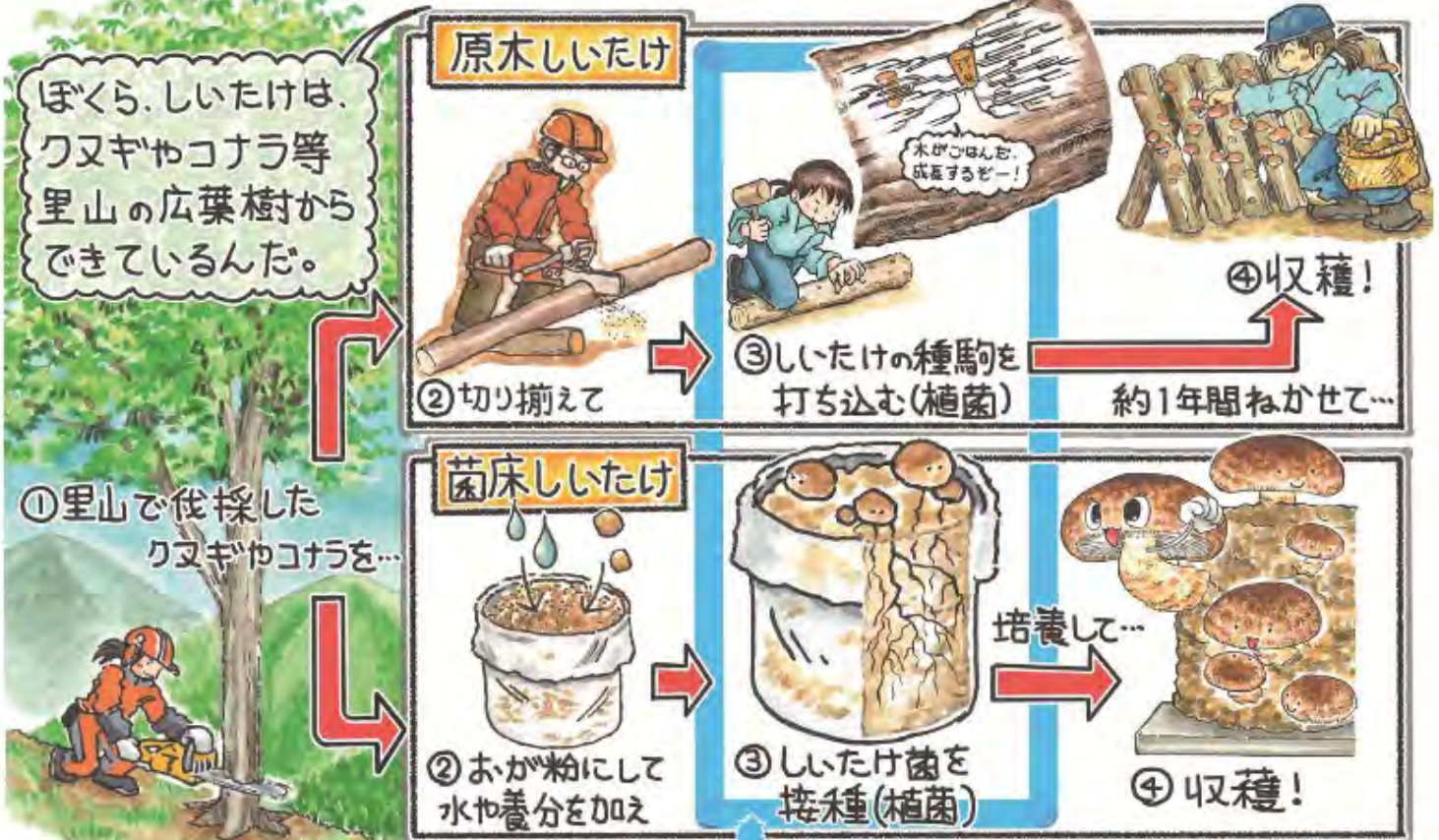


しいたけからの大事なお話

しいたけのふるさがわかりやすくなりました!!



やあ!
ぼく
しいたけ



ぼくら、しいたけは、クヌギやコナラ等里山の広葉樹からできているんだ。



令和4年3月30日から、ぼくのふるさとの表示は、**原産地=植菌地** になったんだよ。

バババーン

名称	〇〇しいたけ
原産地(植菌地)	☆☆県

*表示は一例であり、収穫地は任意で表示することができます。
*〇〇には栽培方法(原木・菌床)が入ります。
*「食品表示基準Q&A」第13次改正において、しいたけは菌糸が培地の中に伸張するまでの培養初期段階の環境が子実体の形成に大きな影響を及ぼすと考えられるため、原木又は菌床培地に種菌を植え付けた場所(植菌地)を原産地とすることとされました。

ちなみに、原産地に××国、収穫地に△△県となっている場合は、海外で植菌された菌床から育ったしいたけを、△△県で収穫したということなんだ。



里山の広葉樹は伐ったあと、切り株から新芽が出て15~20年で再生します。定期的に若返ることで、健全な森林が維持できます。



しいたけを選ぶときは、ぜひ、原産地表示を見てね

2022年3月11日

木材業景況調査結果

第450回（令和4年2月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

2月は、販売量・仕入量については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。販売価格については、流通部門では上昇、製造部門で変わらなかった。仕入価格については、流通部門・製造部門とも上昇した。

3月は、販売量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加の見通し、仕入量については、流通部門・製造部門とも増加の見通しとなった。また、販売価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通し、仕入価格については、流通部門・製造部門とも強含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門・製造部門とも強含み予想となった。また、建材も強含み予想である。今回もすべての部門で強含み予想となっている。

引き続き合板不足は深刻である。一方、プレカット工場では人手不足が顕在化しており、副資材高騰もあって工場のコストは上がっている。さらに、配送運賃についても、運転手不足と燃料の高騰でコストアップとなっており、ロシア材の認証停止、輸出禁止措置等海外情勢の不透明化もあって今後の動きが懸念される。

景況調査

令和4年2月分集計表 () 内は実数

モニター数131 回答89 回収率68%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加25% (22)	変わらず49% (44)	減少26% (23)
仕入量	増加25% (22)	変わらず51% (45)	減少25% (22)
販売価格	上昇33% (29)	変わらず62% (55)	下降 6% (5)
仕入価格	上昇39% (35)	変わらず55% (49)	下降 6% (5)

来月の見通し

販売量	増加19% (17)	変わらず73% (65)	減少 8% (7)
仕入量	増加21% (19)	変わらず69% (61)	減少10% (9)
販売価格	強含み24% (21)	保ち合い70% (62)	弱含み 7% (6)
仕入価格	強含み29% (26)	保ち合い65% (58)	弱含み 6% (5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	49% (32)	38% (25)	12% (8)
南洋材	44% (25)	49% (28)	7% (4)
北洋材(欧州材を含む)	48% (30)	41% (26)	11% (7)
国産材	27% (23)	62% (52)	11% (9)
建 材	56% (35)	37% (23)	6% (4)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	21% (13)	58% (36)	21% (13)

〔製造部門〕

モニター数126 回答数94 回収率75%

当月の状況

販売量	増加20% (19)	変わらず60% (56)	減少20% (19)
仕入量	増加20% (19)	変わらず64% (60)	減少16% (15)
販売価格	上昇11% (10)	変わらず84% (79)	下降 5% (5)
仕入価格	上昇29% (27)	変わらず65% (61)	下降 6% (6)

来月の見通し

販売量	増加34% (32)	変わらず60% (56)	減少 6% (6)
仕入量	増加33% (31)	変わらず61% (57)	減少 6% (6)
販売価格	強含み15% (14)	保ち合い77% (72)	弱含み 8% (7)
仕入価格	強含み25% (23)	保ち合い69% (64)	弱含み 6% (6)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	58% (19)	33% (11)	9% (3)
南洋材	48% (12)	44% (11)	8% (2)
北洋材(欧州材を含む)	37% (11)	57% (17)	7% (2)
国産材	39% (34)	47% (41)	14% (12)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	35% (13)	49% (18)	16% (6)

2022年4月15日

木材業景況調査結果

第451回（令和4年3月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

3月は、販売量については、流通部門で増加、製造部門については変わらなかった。仕入量については、流通部門・製造部門とも増加した。販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも上昇した。前月と比較して販売量・仕入量の増加が目立っている。

4月は、販売量については、流通部門・製造部門とも増加の見通し、仕入量については、流通部門では増加の見通し、製造部門では変わらずの見通しとなった。また、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも強含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門・製造部門とも強含み予想となった。また、建材も強含み予想である。今回もすべての部門で強含み予想となっている。

プレカット工場は地域差があるが、関東のビルダーを中心に上半期は好調な状況が続くものの大工不足、合板不足など不安材料も多い。資材については、ウクライナ情勢の影響もあり国産材への要望がさらに強まっている。

ロシアからの単板が入荷しなくなった東北の合板工場からの引き合いが強くなり、丸太の価格が上昇している。一方で、製材品マーケットは、落ち着いている。現時点では、流通もプレカット工場も十分に在庫があるが、今後のロシア材、欧州材の入荷状況の動向が懸念される。

景況調査

令和4年3月分集計表 ()内は実数

モニター数132 回答88 回収率67%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加26%(23)	変わらず63%(55)	減少11%(10)
仕入量	増加25%(22)	変わらず63%(55)	減少13%(11)
販売価格	上昇31%(27)	変わらず68%(60)	下降 1%(1)
仕入価格	上昇39%(34)	変わらず58%(51)	下降 3%(3)

来月の見通し

販売量	増加24%(21)	変わらず64%(56)	減少13%(11)
仕入量	増加27%(24)	変わらず58%(51)	減少15%(13)
販売価格	強含み44%(39)	保ち合い52%(46)	弱含み 3%(3)
仕入価格	強含み49%(43)	保ち合い49%(43)	弱含み 2%(2)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	60%(40)	37%(25)	3%(2)
南洋材	52%(30)	45%(26)	3%(2)
北洋材(欧州材を含む)	79%(49)	18%(11)	3%(2)
国産材	59%(49)	36%(30)	5%(4)
建 材	69%(44)	30%(19)	2%(1)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	24%(14)	66%(39)	10%(6)

〔製造部門〕

モニター数126 回答数95 回収率75%

当月の状況

販売量	増加22%(21)	変わらず58%(55)	減少20%(19)
仕入量	増加26%(25)	変わらず59%(56)	減少15%(14)
販売価格	上昇25%(24)	変わらず69%(66)	下降 5%(5)
仕入価格	上昇36%(34)	変わらず58%(55)	下降 6%(6)

来月の見通し

販売量	増加27%(26)	変わらず61%(58)	減少12%(11)
仕入量	増加22%(21)	変わらず63%(60)	減少15%(14)
販売価格	強含み36%(34)	保ち合い61%(58)	弱含み 3%(3)
仕入価格	強含み43%(41)	保ち合い52%(49)	弱含み 5%(5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	65%(22)	29%(10)	6%(2)
南洋材	67%(16)	29%(7)	4%(1)
北洋材(欧州材を含む)	72%(21)	17%(5)	10%(3)
国産材	49%(44)	45%(40)	6%(5)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	34%(13)	45%(17)	21%(8)

2022年5月12日

木材業景況調査結果

第452回（令和4年4月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

4月は、販売量については、流通部門で減少、製造部門については増加した。仕入量については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも上昇した。特に流通部門で販売量の減少が目立っている。

5月は、販売量、仕入量については、流通部門では変わらずの見通し、製造部門では増加の見通しとなった。また、販売価格については、流通部門では強含み、製造部門では変わらずの見通し、仕入価格については、流通部門・製造部門とも強含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門・製造部門とも強含み予想となった。また、建材も強含み予想である。今回もすべての部門で強含み予想となっている。

引き続き関東、中京のビルダー中心に受注は好調だが、東北、関西地方では受注の減少が見られるなど地域差が出てきている。大手ビルダーは、どこも今期の着工目標を前期比プラスとしており、今後も安定した受注が見込めるものと思われる。また、大手ハウスメーカーも現在の受注状況はあまり良くないが、好調であった昨年度の受注材を抱えているため、今のところ加工依頼は好調。また、首都圏等では、昨年材料不足から着工を見送った非住宅物件の見積もり依頼が好調。引き続き、輸入資材の供給に不安がある中、国産構造材の引き合いは増加している。そのような中で、運賃、電気料金、人件費等材料費以外のコスト高の影響が懸念される。

景況調査

令和4年4月分集計表 ()内は実数

モニター数133 回答86 回収率65%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加19% (16)	変わらず50% (43)	減少31% (27)
仕入量	増加21% (18)	変わらず52% (45)	減少27% (23)
販売価格	上昇37% (32)	変わらず58% (50)	下降 5% (4)
仕入価格	上昇47% (40)	変わらず50% (43)	下降 3% (3)

来月の見通し

販売量	増加19% (16)	変わらず59% (50)	減少22% (19)
仕入量	増加15% (13)	変わらず61% (52)	減少24% (20)
販売価格	強含み42% (36)	保ち合い54% (46)	弱含み 4% (3)
仕入価格	強含み52% (44)	保ち合い46% (39)	弱含み 2% (2)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	71% (45)	19% (12)	10% (6)
南洋材	67% (37)	29% (16)	4% (2)
北洋材(欧州材を含む)	80% (49)	15% (9)	5% (3)
国産材	56% (45)	39% (31)	5% (4)
建 材	69% (41)	27% (16)	3% (2)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	26% (15)	61% (35)	12% (7)

〔製造部門〕

モニター数126 回答数80 回収率63%

当月の状況

販売量	増加29% (23)	変わらず59% (47)	減少13% (10)
仕入量	増加20% (16)	変わらず65% (52)	減少15% (12)
販売価格	上昇31% (25)	変わらず63% (50)	下降 6% (5)
仕入価格	上昇35% (28)	変わらず56% (45)	下降 9% (7)

来月の見通し

販売量	増加30% (24)	変わらず56% (45)	減少14% (11)
仕入量	増加23% (18)	変わらず65% (52)	減少13% (10)
販売価格	強含み25% (20)	保ち合い74% (59)	弱含み 1% (1)
仕入価格	強含み39% (31)	保ち合い56% (45)	弱含み 5% (4)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	69% (18)	19% (5)	12% (3)
南洋材	52% (11)	43% (9)	5% (1)
北洋材(欧州材を含む)	68% (17)	24% (6)	8% (2)
国産材	59% (45)	34% (26)	7% (5)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	42% (14)	48% (16)	9% (3)